第１号議案 令和４年度事業報告および令和４年度決算書類の承認について

社会福祉法人　仙台市手をつなぐ育成会

事　業　報　告　書

Ⅰ　全体概況

１．概　況

「新型コロナウイルス感染症」は感染症法上、５類移行して名称も「コロナ２０１９」に変更になりますが、決して収束に至った訳でもなく、利用者支援におきまして、何ら安心できる環境に戻ったようには思えません。法人への影響も、これまでは徹底した感染症対策が功を成してきておりましたが、この一年は変異株による急激な感染拡大により、利用者・職員の１／３が罹患し、利用控えの影響もさることながら、法人内事業所の大半が蔓延防止の観点により数日から半月の休業を余儀なく致しました。このことによる給付費収入は昨年度より微増ではあったものの、当初予算からマイナス約６千万円減という大きな影響となりました。

更にはホープすずかけに労働基準監督署による休憩時間の未取得調査並びに指導が実施され、法人としましては全職員を対象に聞き取り調査を行い、半年に遡って未取得分１，４００万円余りの超過勤務手当の支払いを行いました。

これまでも職員全員が休憩時間を取得出来るように努めてまいりましたが、支援の度合いが高い事業所においては、サービスの低下を懸念し、困難と考えてきましたが今回の指導により事務処理の簡略化や効率化を徹底し、ほぼ取得の日常化に達することが出来、労働基準監督署からも承認を得ることができました。

この他、給付費の減額変更による就労継続事業の経営は大変厳しいものとなりました。そもそも厚生労働省の一般就労に向けて３年間で１．２３倍にするという目標値が根底にあり、当法人のように支援区分の高い方々の多い事業所においては、大変困難な給付体系となっていました。これらの影響を受け「ワークスもくれん事業」につきまして、感染症対策や安心安全な環境整備、工賃増額を目指せる作業環境整備の困難さ等から、事業廃止という苦渋の決断に至りました。利用者の皆様には多大なご不安とご迷惑をお掛けすることとなりましたが、法人内事業所をはじめ皆様のご希望に沿う場での新たなスタートを切っていただくことが出来、安堵しております。

更に仙台市による障害支援受給者証の誤記載による給付費の返金請求の通知が５事業所に届き、これまでにない逼迫した経営状況となりました。

また、最優先課題として取り組んでまいりました「日中サービス支援型グループホーム」整備につきましては、最終的にオーナーが翻意する事態となり、見通しの立たない状況となってしまいました。これにより家庭状況から入所施設や企業のグループホームの入居を進める方も続出し、これ以上期待してお待ちいただくことはご家族の負担を大きくすると判断し、法人による整備を断念する決断をいたしました。しかし法人利用者の暮らしの場を求めるニーズは家族環境から急務となっており、「日中サービス支援型グループホーム」を１５０ヵ所以上全国展開している企業「ソーシャル・インクルー株式会社」の資本力と、当法人の長年にわたる知的障害者支援のノウハウという利点を活かし合う連携を図っていくことで合意を得、今後、これまで以上に利用事業所と相談事業所が協力し合い、利用者本位の充実した「くらしの場」を進めて参ることとなりました。

職員の労働環境につきましては、前出のとおり休憩時間の完全取得と長時間労働の抑制に努めてまいりましたが、新型コロナによる日中支援事業所の休業時、グループホームにおいては感染拡大を抑制する意図から対外交流停止による、限定対応した職員の長時間労働が発生することとなりました。応援体制を始めとした、ＢＣＰについて大きな課題が残り、令和５年度義務化となる「感染症や災害への対応力強化の取組」について、緊急に取り組まねばなりません。ここ数年間、全ての事業所職員は自らの感染へのリスクを負いながらも、丁寧な利用者支援に努めてくれたことにあらためて感謝したいと思います。

また年末年始（１２／２９～１／３）の期間、業務に従事した職員への慰労に応える「年末年始手当」を創設し、６事業所２８８回／１０９名の職員へ支払いをいたしました。

２． 令和４年度事業の経過について

１．経営組織活動
（１） 評議員会　　１回　６/２２
（２） 理事会　　４回　４/１３　６/ ６　１０/２８　３/１６
（３） 監事会　　１回　５/２４
（４） 経営会議　　１２回　１/毎月
（５） 事業別会議　１２回　１/毎月　１２回
（６） 評議員・選任解任委員会　０回
（７） 施設長会議　０回

２．内部統制の構築
（１） 内部監査―給与プロセスに関する業務（令和３年度未実施８事業所）について新型コロナウイルス感染状況から全て中止
（２） コンプライアンス委員会―２回実施（１０/３１　２/１６）臨時（２/２）
ハラスメント関連・労基関連の検証
・虐待関連報告（１回）結果的には誤解であったことが判明し、仙台市へも訂正報告いたしましたが、該当職員への聴き取り調査が行われ、回答待ちの状況にあります。
（３）虐待防止委員会
前期… ５月２４日、８月２３日
後期…１１月２２日、２月２１日
〈セルフチェック〉５月、７月、１０月、１月に全事業所職員を対象に実施。
〈関連研修会〉１月１９日メンタルヘルス研修
講師：ＮＰＯ法人Ｓｗｉｔｃｈ小野彩香 氏
・事業所毎に「虐待防止委員会」と「身体拘束適正化委員会」を実施計画に沿って開催いたし、取り組み状況については法人委員会で報告会をいたしました。
・障害福祉サービス事業所における虐待件数は毎年最多を更新している状況にあり、原因として教育、知識、介護技術等に関する問題、職員のストレスや感情コントロールの問題、倫理観や理念の欠如と言われており、相談ダイヤルの活用等、メンタルヘルス対策や階層別研修における支援力向上に努めました。
（４）施設運営委員会―各事業所において年２回実施
（５）安全活動委員会―Ｚｏｏｍで２回実施
・昨年度から引き続き、事故を未然に防ぐ取組として、「ヒヤリハット」の重要性を各現場に周知徹底しました。件数調査を行い、その結果をまとめて主任会議において報告いたしました。

３．具体的な取り組み
（１）勤怠管理システムの実効性
休憩時間の完全取得を図る為、Ｘ´ｓｉｏｎによる出退勤打刻に加え、休憩時間取得時の外出再入打刻の徹底に努めました。
（２）経営企画室：みらい図
経営基盤の安定化に向け、事業の見直し・将来構想・課題の整理及び改善策について協議検討を７回実施いたしました。
「異業種社会福祉法人との連携から学ぶ」ことについてはコロナ禍の影響が続き、具体化を進めることはできませんでした。
（３）地域生活のニーズに応えていく支援体制の再構築
・日中サービス支援型グループホーム開設
前出のとおり、３年にわたり検討してきましたが、地域の差別偏見が根強く、残念ながら先方の都合により始動することができませんでした。希望する方々をこれ以上期待させて、待たせ続けさせることは大切な時間を踏みにじると考え、整備計画自体を凍結する判断をいたしました。
既に法人利用者が入居し、１５０ヵ所を越えて全国展開している企業「ソーシャル・インクルー株式会社」責任者の方と面会し、今後連携していくことの合意を得ました。
・仙台ふきのとう・やまぼうし移転
予定通り、地下鉄台原駅近隣に建て貸し方式の２グループホーム合築が完成し、８月末に鍵の引き渡しがあり、再スタートいたしました。

（４）人財育成の強化に向けての取組
特定処遇改善加算と法人の資格取得報奨金制度の効果からか、国家資格取得者が増えており、支援力の向上に繋がるものと期待します。
（５）ＨＡＣＣＰに基づく衛生管理については、給食はじめ食品製造に関わる全ての事業所で徹底に努め、事故無く安全に活動することができました。
（６）安全衛生活動を推進し、労災を無くすよう努めることについては、残念ながら昨年度も多発しておりましたが、それを越える結果となりました。
凍結路での転倒等、通勤途中の４件に加え、業務中の２４件の怪我についても、不注意によるところが大きく、職員自身の意識向上の必要性、更には利用者による他害行為による被害等、支援のあり方について職場全体での安全衛生管理に努めていきたいと考えます。
　また、これまで無かった新型コロナ罹患による療養休暇９件も特筆すべき状況と考えます。
「産後パパ育休」の導入により、対象となる３名全員が取得し、職場全体で支える仕組みが始められました。
（７）「家族会」に対する協力と連携につきましては、新型コロナ感染予防の観点から多くの企画はありませんでしたが、東北ブロック大会の本人部会の企画並びに当日の本人参加企画への職員派遣協力をいたしました。
　家族会主催の研修会に助言者２名を派遣いたしました。
（８）職員懇親事業の開催
新型コロナウイルス感染予防の観点より全ての企画を中止いたしました。
残念ながら新人職員はじめ 他事業所職員同士の直接的な交流を図ることは出来ませんでした。
（９）就労継続事業並びにおり～ぶ４事業所の経営改善
おり～ぶ関連では全ての事業所において、専門職員を配置し、加算評価を図り、前年比１，５００万円のプラスとなりました。
（１０）ワークスもくれん・とちのきの将来構想の検討開始
　ワークスもくれんにつきましては、別添記載のとおりの事由により事業を廃止し、利用者は法人内くるみの木及び工房かやの実を中心に移行してもらうこととなりました。
　とちのきにつきましては、仙台市と協議の場を設け、将来構想の具体化を確認いたしましたが、未だに概要を含め、日程の見通しが立たない状況にあることが判明しました。しかし今後も、移転にあたっての場所と予算について相談できる環境を依頼いたしました。

４．組織機能の充実
（１）法人本部事務局の強化
必要に応じて、随時Ｚｏｏｍを活用して、各事業所事務担当職員と情報共有し、適時適切な業務遂行が出来ていました。給与改定に向けた整備、更には１０月から開始するインボイス制度に対応すべく準備をいたしました。
（２）部門間の連携強化
これまで以上に他事業にも関心を持ち、相互理解を図ることで連携強化に努めたいと考えてまいりましたが、コロナの影響により出入りを最小限にするなど、交流自体が進まずにいました。
（３）関係機関、施設その他の社会資源との連携についてはこれまで同様努めました。

５．研修体制の充実
人財育成部会を中心として、年間計画に基づき各階層別研修を概ね三回程度のシリーズで感染状況に応じリモートや対面方式で、それぞれのテーマに沿って実施いたしました。

６．防災・援助対策の徹底
「感染症や災害への対応力強化の取組」
それぞれの事業所において、毎年度ＢＣＰについては社会情勢を見極めながら、見直しに努め、昨年度より「新型コロナウイルス」をはじめとした感染症対応につきましても、クラスターの発生等あらゆる状況を想定したマニュアルを整備し、初期対応の重要性に重きを置いた検討を重ねています。

７．地域における公益的な取組を実施する責務

大半の事業がコロナ禍の影響により中止いたしました。

（１） スポーツ・レクリエーション事業

新型コロナの感染が収まらない状況が続いていたこともありましたが、現在の形となって２０年が経過したこともあり、利用者やそのご家族の高齢化による参加そのものが困難になってきている状況を踏まえ、１年をかけて見直しの協議をいたしました。法人が一堂に会する貴重な機会であり、曜日や時間帯、内容について変更を加えながら、基本的には継続していくことにいたしました。

（２） フットソフトボールチームの運営

岩手県石鳥谷スポーツ公園に於いて、全国大会選抜「北海道・東北ブロック大会」が開催され出場いたしました。全国大会出場は叶いませんでしたが、選手は奮闘いたしました。秋期は感染が再拡大した時期となり、恒例の「親善交流大会」は前年に続き中止いたしました。

チーム結成から２０年を超え、メンバーの年齢も高くなり、体力・運動能力や技能の衰え等、幾度も存続について課題には上がるものの、社会人選手の拠所として重要な役割であると再確認し、今後も継続して運営してまいります。

（３） 学生向け福祉講座の開催は新型コロナ感染を避けるため、計画しませんでした。

（４） 福祉ショップの運営（エスパル内ゆめの森・生協幸町店はぁと）コロナの影響による来客数の減少対策として、ＳＮＳによる情報発信やバーゲンの企画等、最善の感染予防と集客努力をしながら、事業継続をいたしました。

（５） 小中学校児童・生徒を対象とした各事業所の作業体験講座の開催は感染予防の観点により、大半が見送りとなりましたが、大野田はぎの苑の「染め教室」計画はいたしましたが、コロナの影響により実施することは出来ませんでした。同様に工房けやきの「木工教室」や「運動教室」等いずれの事業所につきましても、感染状況から実施には至りませんでした。

（６） 障害のある方向けのおしゃべりサロンの開催

コロナ禍の影響により２回だけの開催に止まりましたが、それだけに日頃の想いを語り合う貴重な時間となりました。

３．施設・事業における取り組み

事業所ごとに生活支援・作業支援・余暇活動支援など数項目を設置し、それぞれの計画・実績・課題ごとの検証を行い、その結果の詳細を各事業報告書に集約しました。本報告書には特筆すべき事項のみ掲載します。

◆第二種社会福祉事業◆
◇障害福祉サービス事業（生活介護）

	作業支援	生活支援
大野田はぎの苑	○下請け 発注が大きく増加することはありませんでしたが、引き続き依頼を受けた箸入れ作業、健康診断用採尿キットの作成作業等を継続しました。各々の作業能力に合わせて作業提供を行うことで、生産性のある作業を多くの利用者様に行っていただけるよう工夫を行いました。 課題として、新たな作業の依頼があっても、利用者様が実際にできることと、依頼内容に要する技量の差が大きく、作業内容を精査する必要があると感じました。令和５年度は､実際の作業能力と大きな差がない作業を模索･導入し、安定的に提供をしていくことを目指していきます。また、定期的に作業の発注をいただく業者様から、引き続き発注を継続していただけるよう、丁寧で正確な作業を継続してまいります。 リサイクル作業として、古紙、段ボール回収を行いました。定期的に回収を行うことで、運搬作業が新しい活動として定着しつつあるので、令和５年度も継続してまいります。 ○染め・機織り 感染対策を行ったうえで積極的に販売会に参加しました。また、注文販売のチラシ作成、企業向けカタログへの掲載、支援学校文化祭でのセット販売等、製品募集があった際のプレゼン等、製品が多くの人の目に触れるよう活動をしました。染め、機織り製品ともに年間を通して安定的な注文があり、意欲的に生産活動を行うことができました。 また、お客様から製品のバリエーションや色合い、材質等について､ご提案をいただくこともありましたので、製品づくりに生かしてまいります。 令和５年度は、新製品や季節商品の開発を行うとともに、需要の高い製品を中心に販売方法や宣伝方法等についても検討を行っていきます。 ○個別活動 利用者様各々に適した作業の提供につとめました。個別活動の作業で作製している、プラバンマグネット、フォトフレーム、マスクチェーン、リース等は引き続き販売会でも好評でした。手に取っていただきやすい販売時のラッピング等も改善しました。引き続き新製品開発に努めるとともに、利用者様各々の能力を活かした活動提供を行ってまいります。 個別の対応や情緒的・身体的な支援を要する利用者様に対し、環境設定、席配置、人間関係等についての配慮を令和５年度も継続するとともに、利用者様が選択できる作業を増やせるよう検討してまいります。	○食事提供 感染症対策を引き続き行い、アクリル板の設置や席の分散等、密にならない環境作りに努めました。 食形態や食事中の姿勢について、職員間で情報共有を行い、利用者様それぞれの状態に適した食事提供を行いました。 食事中の咽こみや窒息等に備え、職員で情報共有を行い、安全な食提供を目指しました。 ○健康活動 利用者様の年齢に合わせ、実施内容を検討しました。青年期の利用者様には散歩の距離を長くし、歩行ペースを速くすることで運動量を確保しています。壮年期の利用者様にはストレッチやボール運動等、無理なく継続ができる活動を提供し身体能力の維持を目指しました。また、個々に病院等で実施を推奨されているプログラムがある方は、個別で運動活動を実施しました。 利用者様の年齢層が幅広いため、年齢により提供内容に変化をもたせることをすすめていき、身体状況に合わせた活動を模索していきます。 ○健康管理 体調の管理、感染症対策に主に取り組みました。家庭と連携し、日々の健康状態の把握に努め、検温、加湿、換気、手洗い、消毒等を実施し、感染症が蔓延しない環境づくりに努めました。また、個々の状況に合わせて新型コロナウイルスワクチンの接種の支援を行いました。 新型コロナウイルス感染症の蔓延により１１月に４日間、１２月に３日間、施設を休所しました。 引き続き、ご家庭の協力を仰ぎながら利用者様の健康や生活の維持に努めてまいります。 ○送迎サービス 定期送迎を６便運行しました。その他，必要に応じて臨時送迎も運行しています。感染症対策として乗車人数を減らし、便数を増やすとともに、引き続き、乗車前の検温、手指消毒を実施しました。 添乗職員と家族で利用者様の状態について情報共有を行い、今後も安全に乗車していただけるよう取り組んでいきます。 送迎のニーズは年々増加傾向にあり、乗車人数やルートの調整が引き続き課題となっています。 ○地域交流 『染め教室』を大野田児童館利用者、大野田児童館子育て支援クラブ、町内会、大野田小学校向けに実施準備をしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、全て中止となりました。 『はぎまつり』は、規模を縮小し平日開催しました。大野田児童館にご協力いただき、児童によるダンス、手話ソングを録画したものを上映しました。 機会や方法は限られていましたが、可能な限り地域交流を継続することができました。

大野田はぎの苑		○その他 ＱＣ手法を用いて対応が困難な利用者様の支援について取り組みました。次年度も利用者支援の質の向上を目指して、手法を活用していきます。 普通救命講習を職員が受講し、救命活動時の行動について学びました。講習会の場を２回設けていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となったため、仙台市防災安全協会の実施する講習等も活用しました。 ○公益的な取り組み 『染め教室』を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりました。 大野田児童館主催の『クリーン作戦』に参加予定でしたが、時間が合わず、参加することが難しい現状でした。令和５年度は、利用者様が参加可能な時間帯での開催を大野田児童館と検討する予定です。
	作業支援	生活支援
工房しらかば	【全体】 新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で年間９日間の施設閉所と、自宅待機やグループホーム待機を余儀なくされ、ご家庭の負担や施設経営に大きく影響が出る年となりました。また、突然の余命宣告を受け他界した利用者もおり、改めて日々の健康観察と環境衛生の徹底を痛感した１年となりました。 ○ 食品加工(ベーカリー) 令和３年度に引き続き、週３日の製造であったが、菓子類の詰め合わせの注文が多くあり、地域販売ではのぼりを見て地域の方が購入に来るなど、地域貢献につながる販売となりました。 ○ 環境整備 各利用者への的確なスケジュール通達の成果により、清掃現場への到着と準備が早くなったことで、現場でも余裕をもって清掃業務に取り組むことができました。 リサイクル回収の現場を増やし、回収率を上げることができ、売上にもつながることができました。 ○ 機織り 全体的に集中して作業に取り組むことができましたが、個別に対応が必要な方に対しては過度になりすぎず、意欲的に取り組めるよう声掛けを行いました。 工芸展はコロナウイルス感染拡大の為しらかば関係者中心にお知らせをして施設内で実施しました。令和３年度より多くの方が来場しました。 売り上げアップの為販売訓練の初売りにも製品を出品しました。また保護者様の紹介により外部の販売に委託で商品を販売しました。 ○ 下請け加工 驍品（箸入れ全般）については、夏以降はコロナの感染拡大の影響は受けつつも、箸の下請け先がしらかばのみになっているとのこと、受注が増えて利用者の作業提供につながりました。年末からは新たに「人押し君」（ポンプ封入）の作業受注が始まり、利用者の個々の能力を判断しながら作業提供を行いました。 ＫＡＹＡ（箸作業）は変わらず月３回程度の受注で安定している状況でした。 ベーカリー所属利用者の作業として月・火はシェイカーボトル加工作業から箱折り作業に変え、途切れることなく作業提供できました。 いずれの作業においても利用者の個々の能力に応じて作業を行いました。	○ 衛生・健康支援 ６月に希望者のみで複十字健診センターで健康診断を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として、利用者・職員は毎日の検温と体調の把握、定時消毒や利用者降所後館内全体の消毒、空気清浄機を増やした感染症対策の強化に取り組みました。併せて、ゾーニングを意識した職員配置を行い、感染症を蔓延させない取り組みを行いました。新型コロナウイルスワクチン接種促進のため付き添いが必要となる利用者への職員の対応と、主治医を持たない利用者に対し嘱託医から病院の紹介により接種を進めました。 ○ 給食支援 利用者個々の状態に応じた食事形態や、疾病に応じた配慮食（個別食・ダイエット食等）の提供を随時行いました。また、月１回給食会議を開催して、支援職員と厨房職員間で食に関する課題を検討し利用者の状況を周知しました。 新型コロナウイルス感染対策の一環として、密な状態を避けるため、各作業班での給食提供の他、複数名時間をずらして提供することで、更に密な状態を避ける取組みを行いました。また、食事提供における職員配置について、ゾーニングを意識した配置を行いました。 ○レクリエーション活動 令和４年度は新型コロナウイルス感染の影響により外部講師を制限しながら活動を提供しました。また、デジタル機器を活用してレクリエーション活動（ダンスや健康増進運動）を提供しました。また、散歩など室内運動にも令和３年度よりも多く取り組んで健康増進に努めました。 ○ 地域貢献 中山市民センターより数年ぶりに機織り展示の依頼があったことや、街道市が開催されたことにより、徐々にコロナ前の交流ができるようになりました。 ○ 送迎サービス 運転に関わる職員にアルコールチェックを実施し、公用車１台増台に伴い、９月より６台６コースで送迎サービスを行いました。 ○安全管理 職員向け救命講習を実施しました。受講人数に限りがあったため、防災安全協会主催の研修に申し込み職員全員が受講することができました。
こぶし	○４月に新規利用者様が入所され、４４名の方が利用されています。 ○新型コロナウイルス感染防止について、令和３年度は罹患者が出ませんでしたが、令和４年度は職員、利用者様、ご家族様に罹患者が出た事で施設閉所することがあり、関係各所にご迷惑とご心配をおかけしてしまいまし	

<table>
<tr><td>こぶし</td><td colspan="2">た。令和５年５月より感染症法上の扱いが２類から５類に変更となりますが、引き続き利用者様、職員、来客者の検温と手指消毒、居室全体のオゾン消毒、定時の換気などを実施いたします。
〇健康管理について、定期健康診断を１０月に実施。健診結果をご家庭と共通認識することが出来ました。その結果を受け嘱託医による内科検診を２月に実施し、健康状態の傾向について助言をいただきました。
〇給食について、新型コロナウイルス感染防止の為、アクリル板を設置して食事を召し上がっていただいております。利用者様の特性や状態に合わせ、食事形態や量、食材除去等の再確認と対応を行っております。食堂の座席を定期的に見直し、席を固定することで、安全な動線確保に繋がっております。
〇日中活動では、軽運動プログラムを取り入れ、カードやシールを使用することで軽運動等の活動に取り組まれる方が増えております。今後も充実した活動時間の提供を目指します。
毎週金曜日をレクリエーションの日として、計画的に実施しております。
リサイクル活動を開始しました。ご家庭よりアルミ缶提供を受け、ニーズに合わせた声掛けを行い、缶つぶしを行っていただいております。
〇生産活動では、安定した作業提供ができましたが、新型コロナウイルス感染状況次第のバザー参加となり、以前より販売の機会提供は少なくなりました。次年度は外出、販売機会提供を増やせるよう努めてまいります。
〇受注について、定期的にバケツシール貼り作業が入ると共に加工作業受注もあり、令和３年度より売り上げを伸ばすことが出来ました。
〇行事について、こぶし外部での実施することが出来ました。旅行会や年忘れ会では久しぶりのバス利用に喜びの感想を多くいただきました。新年会、年度末慰労会は館内で、アルバム作成やクイズ大会などを織り交ぜながら実施いたしました。
〇送迎について、令和３年度に引き続き４コースでの送迎を実施中です。天候不良やご家庭の事情による臨時送迎等に対応しております。リース契約終了（２０２４年２月）に伴い新たな福祉車両を令和５年度購入いたします。
〇公益的な取り組み
令和４年度、鹿野連合町内会の催事開催出来ませんでした。今後は災害時等の共助を意識した地域連携や鹿野復興住宅の皆様にとって身近な存在になれるよう努めてまいります。</td></tr>
<tr><td></td><td>生活支援</td><td>作業支援</td></tr>
<tr><td>工房けやき</td><td>利用者および保護者の高齢化や家庭状況の変化などから、生活の場をグループホームへ移行する事案や身体状況の変化が著しく近い将来の住まいの場や、サービスの導入の検討が必要な事案が増加してきました。相談支援事業との連携により、事業所見学などを行いながら利用者ご本人とご家族の想いに寄り添いながら今後も支援していきます。
【給食支援】
給食時は、新型コロナウイルス感染防止のため、提供時間帯を３部制にし、パーテーションを設置、消毒および換気の徹底をしながら支援を行いました。ご利用者の摂食状況の変化に合わせて配慮食を提供しました。今後も個別対応の必要な方が増加して来ることが予想されますが、栄養士や他専門職種と連携を図りながら提供方法を検討していきます。

【送迎サービス】
利用者の身体状況の変化や加齢、保護者の高齢化に伴い、送迎利用希望者も増加傾向にあります。また、急な家庭の都合や保護者の怪我などの理由から、臨時的な送迎の利用があり、対応するケースがありました。

【行事】
新型コロナウイルス感染拡大により、急きょ予定していた年忘れ会は所内での行事として実施しましたが、日帰り旅行会は５月と６月に大型バスを利用して「仙台うみの杜水族館」の見学と「キリンビール仙台工場」のレストランでの食事を楽しんでいただくことができました。その他季節行事や「けやき夏フェス」についても感染防止対策を講じながら実施しました。

【土曜開所】
年間５日開所しました。昼食にはお弁当を注文し、内容は工作やレクリエーション、ニュースポーツを行いました。ご利用者のみなさんも作業以外の活動でリフレッシュでき、楽しんでいる様子がみられました。</td><td>新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、作業班ごとに環境整備や個別対応が必要な方への支援を行いました。流行期については対面での販売の機会が大きく減少しましたが、令和３年度に比べ、新たな販売会への参加の実績を作り収入を確保することができました。その反面で、ネット販売の売り上げが伸びず、令和５年度は定期的な商品の入れ替えや売れ筋の製品をピックアップするなど、販売方法の戦略を検討していきます。
〇木工
販路拡大として、新たに道の駅「村田」「花山」へ委託販売を行いました。結果毎月の売り上げがあり収入の増加へ繋げることができました。また、八木山動物園からの受注が増え、コロナ禍においても外出の機会が一般的に増えてきたことが要因であると考えられます。特注では、宮城県・仙台市からの依頼で表彰楯の製作や「アイシティ」のコンタクトレンズ店舗で配布されるノベルティの製作を請け負い収入の増加となりました。
作業においては糸鋸での入浴雑貨の切り出しに携わる利用者の確保が課題となっています。
〇手芸
販売訓練等事業での毎月の売り上げが大部分を占めました。毎週の納品に対して準備を安定して行うことで、売り上げの維持・増加へと繋がっています。その他では保護者やバザーなどのリピーターとなったお客様からの受注が多くありました。また、下請けとしてランドセルカバーの紐通し・袋詰めの作業を行い、幅広い作業提供ができました。作業においては、利用者様の希望やスキルアップができるように作業工程を工夫したり、利用者様同士のトラブルにおいても、その都度環境整備や見直しを行い再発防止に取り組みました。
〇エコ
令和４年度もアルミ缶の買い取り価格が高値で推移したため、予定よりも少ない納品量でしたが、目標の収入額達成することができました。複数の作業を提供することで準備に時間がかかってしまうことが課題となっています。「吸い取るっちゃ～」は多くの利用者が関わることで生産数が伸びました。
〇クロネコヤマトＤＭ便
利用者様の施設外での活動としてニーズがあり、運動</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">工房けやき</td><td></td><td>の機会や地域の中での活動となっています。配刊数は減少していますが、令和５年度も活動の機会として提供していきます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">○健康管理
　嘱託医による内科検診を１１月に実施しました。その他、毎日の利用者の検温実施、館内消毒、看護師による月１回の体重測定や血圧測定など、利用者の健康管理を行いました。
○虐待防止に関する取り組み
　月１回のチェックリスト実施については職員各自の支援の振り返りを行う機会となり、丁寧な支援を行う意識付けができました。また、虐待防止の取り組みとしてテーマを選定し、「丁寧な支援と声掛けを行う」ことを職員間で共有しながら支援を行いました。また、身体拘束適正化委員会を実施し、やむを得ず身体拘束を実施する際の適正な支援の方法や解除に向けての検討も行うことで、支援者のスキルアップの重要性を学ぶ必要性を感じています。
○公益的な取り組み
　例年の地域との交流として「東中田こども会」と共催で「地域工芸教室」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。そのため、積雪時に地域のバス停周辺や歩道の除雪作業を行いました。</td></tr>
<tr><td></td><td>生活支援</td><td>作業支援</td></tr>
<tr><td>とちのき</td><td>○基本的生活習慣の支援
　令和４年度は、他法人の日中支援型グループホームへ生活を移行した方が複数名おり、その都度相談員やグループホームの職員等の他事業所との連携が今まで以上に必要な年度となりました。
　それらを含め、利用者一人一人の状況について、日々のミーティングや定期的な会議で職員同士が共通認識を持ち、問題の解決に向け話し合い、アーチルＯＴ、ＰＴに食事やリハビリ（マッサージ）等の活動について相談し、日々の支援を見直しました。
　また、事業所内の環境整備を行い、利用者が活動しやすいように物品の配置を変え、更に年度途中から活動を班体制にし、少人数でより充実した内容の活動提供（個別活動の充実、作業内容を明確に分けての実施）が幅広く行えるようになっています。
○年間行事
　外出を伴う行事は、今まで同様に新型コロナウイルス感染対策として、事業所内で活動できる内容に変更し実施しました。旅行会やなつまつりも事業所内の各部屋を使用して実施し、状況によって短時間ずつ何日かに分けて行うこともありました。年忘れ会については、年に一度のお楽しみとして、感染対策を講じながらロイヤルパークホテルで行うことが出来ました。
○スポーツ、余暇活動支援
　新型コロナウイルスの影響で、ご家庭から運動不足や体重の増加を懸念する声が多数上がり、普段の活動や行事の中でダンスや体操的な運動要素を伴う活動を実施しています。
○安全対策
　毎日運転前の健康チェック（体調面、アルコール検査等）を行いました。また公用車・送迎担当と運転手で、送迎ルートや運転技術の確認、情報共有を随時行っています。
　令和４年度は軽微な交通事故の他、送迎の待機中庁舎前に車を駐車していた際に取り締まりを受けてしまうことがあり、送迎車の駐車方法や送迎時間の再構築が必要となりました。
○健康管理
　コロナウイルス対策を継続的に実施し、事業所内の換気や消毒の他、常時マスク着用の促進、物品の購入等も徹底して行いましたが、利用者そのご家族、職員も複数名感染者が出てしまい、臨時休所等の対応を取らざるを得ない状況となりました。今後もコロナウイルスを含む感染症対策を引き続き徹底していきます。
○食事
　ご家庭からのご要望を伺いながら栄養士の指導の下、利用者の身体的状況や嗜好を考慮した配慮食を含め、食事の提供を行いました。また月に２回の外注での提供も継続しました。今後も利用者の状況を把握し、随時内容</td><td>○手芸・アート作業
　フェルトボールを使用した季節の製品作り（ストラップ等）を、毎日取り組むことが出来た一方で、織り製品が滞り、新製品を増やすことが出来ませんでした。職員が改めて作業技術の向上や作業の進め方を共有した上で利用者へ作業を提供することで、製品の質を上げることを進めていきます。また新たな販売先も模索していきます。
○リサイクル作業
　ご家庭からアルミ缶をご寄付いただき、継続して潰し方等の作業を提供することが出来ました。段ボールの回収や腰等のシュレッダー作業も毎日行い、定期的にリサイクル業者へ運搬・納品する等、活動内容を幅広く粉えるようになりました。
　また長年取り組んできたエコポット作成は、機械の老朽化により終了し、上記の作業へと移行しています。
○個別活動
　高齢化や利用者個々人の体調や障害特性などに応じて足湯やマッサージ、ビーズ通し、パズル、紙ちぎり等を比較的静かなスペースで取り組み、気持ちの安定を図りました。
○公益的な取組み
　令和４年度も近隣の公園等でのゴミ拾いは、新型コロナウイルス感染を考慮し、実施しませんでした。今後は地域との関わりの機会を増やし、地域に貢献できることを更に模索します。</td></tr>
</table>

とちのき	や食事の方法を検討します。 ○非常災害時への防災支援対策 　地震や火事が発生した事を想定した訓練を行い、近隣の公園まで是認で歩いて避難をしました。また災害用備蓄品の再整備を行う等、今後起こりうる災害に備えていきます。	
	令和４年度は新規利用者を４月に１名、５月に１名を迎え、２２名が在籍となりました。３月末で他法人への施設間異動で１名が退所となり、令和５年４月は２１名在籍となります。利用者、および家族の高齢化に伴い日中支援型のホームへ入居した方が３名おり、その他にも利用者の加齢等による体調の変化が顕著なケースが増えてきており、ニーズに沿った他機関との連携が必要となってきています。また令和４年度もこの数年同様に、新型コロナウイルスの感染対策として外出を伴う活動を出来るだけ控え、事業所内中心の活動や支援を提供しました	

☆障害福祉サービス事業（生活介護・就労継続Ｂ型）

	生活介護	就労継続支援Ｂ型
ホープすずかけ	４月に新規利用者１名（生活介護１名）が入所したことで、生活介護５２名、就労継続Ｂ型１０名、計６２名でスタートしました。年度途中に、ご本人の体調不良や家庭環境の変化により、生活介護１名と就労継続支援Ｂ型１名の計２名が退所となりました。 　新型コロナウイルスの感染により、休所を年間７回行ったことで、集団感染は防ぐことができました。しかし、出席率は、令和３年度より６％減となりました。 　６月に仙台労働基準監督署の調査が入り、休憩時間の取得の改善措置を指導されました。ＩＱＣの手法などを用いて、確実な取得に努めました。約１年かかり、仙台労働基準監督署から了承を得ることができました。 当事業所も１５年を経過したことで、修繕するところが増えています。令和３年度は室外機、令和４年度は室内機を変えました。公用車においても、１台購入しました。今後も、大規模や軽微な修繕箇所が増える見込みです。	
	○ビーズ作業 　大きいサイズのビーズを用いることで、利用者の作業に集中できる時間の拡大や作品の種類の幅を広げることができました。令和４年度末より、干支のストラップやキーホルダーを販売し、新規のお客様を獲得することができました。 　しかし、加齢に伴い、作業に取り組む時間が減少している方も出てきています。そのため、作業内容の見直しが必要になっています。 ○コーヒー作業 　注文に応じて製品作りに努めました。コロナ禍により販売の機会は、令和３年度と同様に減少傾向にありました。そのため、季節に応じたセール販売を行い、限定品制作に努めました。 　世界情勢による物価高上昇をうけ、原材料の高騰や材料不足となり、製品の価格変更を行いました。しかし、１２月ごろから仕入不足が深刻化しており、材料が入荷できない状況が続いているため、令和５年度からは販売商品をドリップコーヒーのみとします。 ○アート作業 　フェルトボール製作、紙ちぎり、ちぎり絵の作製を行いました。オリジナルカレンダーは卓上の物を制作し、全て完売となりました。また、干支の商品をメインとしたフェルトボール制作を行い、利用者と配色や形を決めて製品化できました。 ○リサイクル作業 　一年を通して、アルミ缶潰し、古紙搬出など個々の障害像に合わせながら､作業を提供することができました。年度途中から、作業場所を変えることで、集中して取り組むことができました。 ○個別 　機能訓練に加えて、園芸作業（野菜づくり）やアロマテラピーなど、曜日ごと活動に変化をつけて取り組みました。利用者個々の状態に合わせて、時間帯を分けながら計画的に取り組みました。	○全体 　利用者個々の達成感を大切にしながら、作業提供・個別支援を行いました。利用者それぞれが得意とする作業項目を提供しました。そのため、自ら力を発揮できる場が増え、自発的かつ意欲的に取り組めるようになってきています。 ○下請け 　利用者個々の能力向上を目指しながらプロテイン計量、袋詰めを中心に、ヨシケイシート拭き、テプラ解体作業、ポスティングを行いました。コロナ禍により、一時的に下請け作業が滞る状況がありました。その後は、安定して受注が入り、継続的に取り組みことができました。
	○販売 　新型コロナウイルス感染の影響により販売活動が限られたが、お中元やお歳暮は例年同様実施しました。 ○食事提供 　利用者の個々の嗜好・嚥下や咀嚼等の身体状態に応じ、看護師、栄養士、アーチルＰＴ等の意見を参考に、配慮食提供を行いました。併せてグループホームスタッフとの情報共有に努めました。 ○健康管理 　年に一度の健康診断と併せ、嘱託医による内科検診を実施し、日々看護師によるバイタルチェックを行い、健康	

すずかけ	状態を把握しました。感染症対策としてインフルエンザ予防接種（任意）の実施と併せ、毎朝の検温、手洗い・ウイルスブロックを行ったが例年よりも実施時期が遅れ利用者とその家族、職員に蔓延する結果となり１２月中２日の休所に至りました。職員からの感染の拡がりの反省も踏まえ、以後、職員の健康管理の意識を高め毎朝の体温チェック、ウイルスブロックの対応をとりインフルエンザが終息した後も継続し実施していきます。 〇防災対策 　毎月１日実施の災害伝言ダイヤルの模擬テストを継続します。避難訓練においては初動対応を重視し、各部屋から最短で避難できる行動や防災グッズの必要性を検討できました。 　伝言ダイヤルに加え、メールグループを新たに作成します。	
	生活介護	就労継続支援Ｂ型
ワ―キングギルド花梨	４月より新規利用者１名（生活介護）が入所し、利用者は合計４４名となりました。生活介護及び就労継続支援Ｂ型事業共に利用者一人ひとりの想いを大切に、活動、作業の充実化を図り、安定した支援を提供することができました。また、利用者自らが意思決定できるよう、選択する楽しみが実感できる活動の提供に努めました。 〇行事 　新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、生活介護、就労継続支援Ｂ型共に旅行会、茶会（年２回）を中止しました。感染予防を徹底しながら、忘年会や選択行事「じぶんでえらぶ季節の行事」（年４回）を実施しました。その他、自治会主催のお茶会や季節行事は少人数で開催することで楽しむことができました。 〇健康 　健康診断・内科検診、看護師によるバイタルチェックを実施し、利用者が健康に過ごせるよう配慮しました。また、感染症予防のため、毎朝の検温、食前の手洗い支援の徹底と利用者降所後、施設内の消毒、オゾン空気清浄機を使用し感染症予防に取り組みました。その効果もあり、所内でインフルエンザや他感染症も起こらず、元気に過ごすことができました。 〇給食 　利用者個々に合わせた食事の提供、「軟菜食」や「アレルギー対応食」「減塩対応食」「糖尿病対応食（マンナン低カロリー食）」などの代替え食を提供しました。また、季節を感じられるメニューの提供も実施しました。 〇防災・安全 　火災や地震、水害を想定した避難訓練を実施しました。また、災害伝言ダイヤルの体験を毎月実施しました。当年度も様々な震災を想定した訓練を実施すると共にＢＣＰ（事業継続計画）の見直しや更新を図っていきます。 〇送迎サービス 　４コース実施しました。安全運転に努めました。 〇公益的な取り組み 　毎日利用者降所時に合わせ、バス停までゴミ拾いに取り組みました。	
	＜生活支援＞ 〇日中活動 外出・ウォーキング・エクササイズ・創作・園芸・ＤＶＤ鑑賞や個別活動を実施した。また、月２回、外部講師による「音楽教室」も行いました。 〇体力、運動機能維持 健康増進センター職員の指導のもと「運動教室」を開催しました。令和４年度は、若林体育館の「シニアエクササイズ」には感染予防の観点から参加せず、所内で利用者の健康増進を図る取り組みを行いました。その他、ダンスの時間等、体を動かす機会を積極的に設けました。 〈作業支援＞ 〇木工～１年を通して、箸置き・干支マスコット（寅）の製作を中心に行いました。 〇手芸～新たな取り組みとして、レジン製品を製作しました。季節に合わせた製品を販売し、ご好評をいただきました。 〇下請け～６社からの受託がありました。コロナ禍ではあったが、途切れることなく仕事が入り、一年中コンスタントに取り組むことができました。贈答用ハム商品の受託販売も行いました。 〇リサイクル～新聞紙・段ボール・アルミ缶などを仕分をし、リサイクル業者に納品しました。缶つぶしやシュレッダー作業は利用者が意欲的に取り組むことができました。	〈生活支援＞ 　利用者一人ひとりが「働く」ことを意識できるよう、また社会性を身につけることができるよう配慮しました。更に個々のスキルアップと工賃アップを目標とし、技術向上のための内部研修を実施しました。 　支援学校の実習生を積極的に受け入れたが、新規利用者の確保に至りませんでした。利用者の高齢化による作業量の低下も見られるようになっており、今後も新規利用者の獲得に向けて取り組んでいきます。 ＜作業支援＞ 〇他事業所への配食サービスに伴う作業と施設内給食提供作業に取り組みました。 〇施設内惣菜販売を実施しました。クリスマスの時期は外部施設へ販路を広げ、たくさんの方に届けることができました。 〇日々の清掃の他、土曜開所にて定期的な大掃除を実施し、清潔な環境作りを行いました。

◇障害福祉サービス事業（就労継続支援Ｂ型）

	作業支援	生活支援
かやの実	〇ベーカリー作業 ・個別支援計画に沿って、利用者が一つひとつ技術を習得できるよう支援を行いました。販売先は新規契約で１か所増えたが、その他の販路拡大にはつながらず、売上げを大幅に伸ばすことは難しかった。今後も販路拡大と	〇相談援助 　利用者支援においては、長期在宅者への定期的な訪問を実施し、医療機関や相談支援事業所等と連携して個別支援に取り組みました。また利用者の緊急対応や、体調の変化に併せて通院同行をするなど医療機関と連携し取

工房かやの実	ともに、材料費の価格高騰等の把握、収支のバランスを常時意識し、支出を可能な限り抑えることでも利益増をめざしていきます。 ○受託作業 　作業室３か所の配置を検討、実施し、利用者個々の特性に合わせた配慮やマッチング等に考慮し、作業を提供することで情緒安定に繋がり、作業効率を上げることが出来ました。タオルたたみの受注量については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に左右され作業量に変動があったが、途切れることはありませんでした。また、紙器加工等の作業についても出来る限り業者の要望に応えつつ、ミスを減らし確実に仕事を行いました。年度末から新規含め取引先を検討中であり、工賃向上に向けて作業の安定受注ができるようにしていきます。 ○一般就労支援 　令和４年度は一般就労へ結びつかなかったが、一般就労の希望がある方へは就労支援センターから送られてくる求人票の確認を行いました。今後も随時求人票の確認をしていきます。 ○所内における活動提供 　ベーカリー作業・受託作業の他に清掃、厨房での調理・食器洗いを行いました。利用者と作業の気持ちの確認を行った上で得意とする仕事を見出し、作業プログラムを立てました。また、作業技術だけではなく、社会性や対人関係のマナー等についても適時習得に取り組みました。 ○施設外就労 ＜児童相談所清掃業務＞ 　施設外就労として、４名の利用者が児童相談所の清掃業務に取り組みました。一般就労へのステップアップの場としての意義もあり、就労に対する意欲を育んでいます。令和４年度は児童相談所の大規模改修工事に伴い、清掃業務の内容が随時変更されておりますが、清掃技術の習得と意識の向上を目指し柔軟に取り組んでいます。 　また、令和５年度より施設外就労として、「みやぎ生協共同購入セットセンター」が加わり、５名の利用者が業務に取り組む予定です。	り組みました。 ○行事・余暇活動 　行事については、日帰り旅行会を実施、大型バスで塩釜・松島方面へ出掛け、買い物や食事を楽しみました。忘年会はロイヤルパークホテルにて会食や余興で１年の労をねぎらいました。その他、年９回、土曜日に余暇活動支援（かやレク）の提供を行いました。内容としては、創作活動、縁日、ハーバリウム作り等を企画提供し楽しんでいただくことができました。 ○避難訓練 　総合避難訓練と地震発生後の火災を想定した避難訓練を実施した。また消防局職員を招き、パートスタッフ含め職員が普通救命講習を受講し、緊急時対応が出来るよう学ぶ機会を設けました。 ○地域交流・地域貢献 　ベーカリー教室として、菅間地区子ども会の皆さんとクレープ作りを行いました。 ○事業継続計画（ＢＣＰ） 　定期的な事業継続計画の見直しや倉庫内にある備蓄品等の確認や適時購入、入替えを行い、職員間での意識付けを図りました。 ○公益的な取り組み 　泉中央地域包括支援センター主催で、認知症の方々を対象とした認知症カフェ「こもれびカフェ」を４月は中止となったが年５回実施しました。場所の提供のみではあるが、地域の高齢者の方々には楽しんでいただきました。また、菅間町内会として「泉中央夏祭り」に参加し水風船のブースを担当し、子どもたちや地域の皆様に喜んでいただきました。
	作業支援	生活支援
くるみの木	４月に新規利用者が１名入り利用者２７人でスタートし、８月には相談支援事業所をとおして一般就労を希望する方が１名加わり２８名となりました。また、利用者１名が、病気によって９月に他界される悲しい出来事もありました。厳しい経営状況が続いており、給付費収入については、各学校や相談支援事業所への連絡や開所日を月曜日から土曜日の他、日曜日を月１回レクリエーション等余暇活動の提供日として開所するなど取り組みましたが、それによる利用は増える一方、新型コロナウイルスの感染や病気、けがによる長期欠席も相次ぎ、令和３年度をわずかに上回る程度で大きな成果を上げることが出来ませんでした。令和５年度は新規利用者９名を迎え収入を増やし支出減に取り組みます。感染対策により窮屈な中ではありましたが、ご家庭のご協力も得ながら予防に努めつつ、ナイスハートバザールに出店するなどくるみの木全体に以前の活気が徐々に戻ってきました。 ○防災・安全対策 防災機器の定期的な点検を行い不備がないか確認を行いました。避難訓練を利用者職員全員で行い、災害に備えました。ＢＣＰの見直しを職員間で行いました。また、全職員を対象に普通救命講習を実施しました。 ○感染症対策 マニュアルを作成し、定期的に職員間で確認しました。朝の検温や体調確認、食事や更衣室の着替えを交代制にするなど日々の予防を行いました。 ○虐待防止についての取り組み 毎月職員に対してチェックリストを用いて意識づけを図り、虐待防止委員会を月１回開催し虐待の防止に取り組みました。身体拘束等適正化委員会を半年に１回開催し現状の確認と検証を行い、研修会を年２回実施しました。 ○安全活動委員会の取り組み 日々、ミーティングの中でヒヤリハットはなかったか確認し、職員会議にて１か月の振り返りを行うことによって、事故の防止に取り組みました。 ○コンプライアンス施策についての取り組み ベーカリー室内の事故や怪我が起きないように、また、快適で安全な支援を行うために、環境衛生に取り組みました。職員利用者の整理整頓や清掃についての意識改革から始め大幅に室内の環境が改善されました。 ○公益的な取り組み ・裏山本丁町内会に対し、防災倉庫の貸出しました。	

<table>
<tr><td rowspan="2">くるみの木</td><td colspan="2">・町内会の依頼を受け新しい掲示板を敷地内に設置することで、町内会の方々がより掲示物を見やすくなりました。
・地域交流室を裏山本丁町内会の班長会の際に貸出しました。
・宮町地域包括懇談会は、令和４年度は新型コロナウイルスの関係により未実施となりました。</td></tr>
<tr><td>〇ベーカリー
・新規の保育所の受注先が３件増え、利用者職員共に力を合わせ作業に励みました。収入も過去最高となりましたが支出は光熱水費が上がり大きな影響を受け次年度の課題となりました。
・個別支援計画に沿って、スケジュールを組んで作業提供を行い、お一人お一人に技術の向上が見られました。
・ハサップの考えを取り入れた食品衛生管理について、マニュアルを作り取り組みました。
・衛生面について、日々利用者・職員の意識を高め、朝作業前に各自チェックシートを記入し朝礼にて互いの衛生面の確認を行いました。毎月の害虫駆除の業者による点検や衛生管理のアドバイスにより、清潔な作業環境作りが実施できました。
・新型コロナウイルスの影響を鑑み、市役所、区役所への定期的な販売は見合わせました。
・日常の注文について、仙台市内の保育所・保育園の給食用パンやおやつ、他法人事業所給食用パン、法人各事業所給食用パンの対応について、アレルギー対応を優先し、卵・乳なしや他原材料の調整や代替策等各希望に応え、安全で安心できる食の提供を継続しました。
〇環境整備班
・午前は、白衣の洗濯、午後は所内の清掃や給食の片付け、受注表の整理やポイントカードづくりなどの事務作業等行いました。ベーカリーを支える縁の下の力持ちとして一人一人得意分野を生かし作業に取り組みました。</td><td>〇個別相談
・ご高齢の保護者の家庭や単身生活の方、GH 利用者の方など、急な病気等による通院や行政の手続きなど日常生活の困りごとについて、必要時居宅サービスで補えない部分を、個別に相談に応じ支援しました。
〇健康管理
健康診断（年１回）を実施しました。再検査となった方についてはその後の検査結果を確認するなど病状の把握を行いました。嘱託医による内科検診を実施し、健康診断の結果をもとに健康状態の確認を行いました。個別に通院同行を行い、健康管理における支援を行いました。
〇行事
（旅行会）近場ではありましたが３年ぶりに日帰りの旅行会を行い、利用者の皆さん大変楽しまれていました。
（季節行事）お盆前に、所内で夏祭りを行いました。
（忘年会）ファーストフードを取り寄せ、所内でカラオケ大会を行い、大いに盛り上がりました。
（決起集会）２月に、仙台駅周辺の飲食店で３年ぶりのナイスハートバザールに向け決起集会を開催しました。
〇休日レク
１０月から月１回日曜日に休日の余暇活動支援として「休日レク」を行いました。ニュースポーツやパフェづくりなど様々な企画に取り組みました。
〇日常生活支援
利用者個々の様々な状態像に合わせたタイムスケジュールや作業の提供を行い、大きな病気を抱えている方に対して常に体の状態を見極めながらマンツーマンで対応しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ワークスもくれん</td><td>作業支援</td><td>生活支援</td></tr>
<tr><td colspan="2">令和５年３月３１日をもちまして、「ワークスもくれん」事業を廃止いたしました。利用者の活動場所が作業室一室のみであり、作業の種類にも制限がある状況が続いていました。また、コロナ禍で企業からの受注量や提供できる作業内容にも影響がありました。活動場所以外でも、手洗い場が限られトイレが少ないこと、体調不良時に休憩する場所がない状況は、コロナ感染対策上も十分とは言えないだけでなく、日常的に環境衛生上も課題となっておりました。また、年々高齢化を迎えた利用者も増え、今後の安心安全な環境整備が必要となりますが、転居や新築は困難です。「就労継続支援Ｂ型事業」の給付費は大変厳しい改定が続き、現況と今後の経営見込み等、様々な観点より法人として検討しましたが、事業を廃止すると判断しました。
利用者の施設移行は「くるみの木」や「工房かやの実」を提案し、他にも利用者のニーズに応じて相談支援事業所に協力いただき、移行事業所を決定しました。下請け作業も法人内の事業所に引き継ぎました。
お世話になりました関係協力機関とご理解いただいた生活を支えるご家族や支援機関に感謝いたします。新たな事業所に移った利用者の皆さんの活躍にも期待しております。</td></tr>
<tr><td>〇箱折り作業
年間通してコンスタントに作業に取組みましたが、収入は令和３年度を下回りました。高い品質を保つ必要があり利用者を限定している分、担当した方は意識を高く持って取り組んでいました。
〇ねじ組み立て作業
自前でねじを準備し訓練として日々取組んでおり、意欲は高くなってましたが受注量が激減しました。
〇青果加工パッケージシール接着作業
作業訓練として自前で準備したシール貼りの成果もあり、担当する利用者は増えました。
〇施設外就労［コープ富谷共同購入物流センター内成田セットセンター］
担当利用者が減っていることから、シフトの方も専従に近い担当日とりました。
〇外部清掃〔調理室食器洗浄業務、清掃業務、ガラスクリーニング］
コロナの影響で令和３年度契約終了となった事業所から再度依頼があり、年度後半から再開しました。</td><td>〇生活支援
施設間移行に関しては、生活支援の事業所や相談支援事業所と連携し、本人の意向を尊重した事業所選択ができました。
〇昼食支援
ワーキングギルド花梨による週３回の配食サービスを提供しています。「食」を楽しみつつ、栄養面から健康への配慮を行っています。
〇健康管理
ワクチン接種に限らず検査や予防接種に職員が同行することを伝え、安心して医療機関にかかることが出来る環境としました。
〇防災及び安全管理
日々の活動において「ヒヤリハット」報告を提出し、安全対策を確認しました。
〇公益的な取組と地域貢献活動
仙台市より認定を受けた「仙台まち美化サポーター」と併せて、「海ごみゼロウィーク」に参加しています。海岸のゴミ拾いも行いました。事業所として「北なごむ町</td></tr>
</table>

もくれん	○その他下請け作業〔ラベル貼り・みやぎセルプ協〕 単発で入る牛タンラベル貼りの受注は増えました。みやぎセルプ協からは２年続けてヘルプマーク作成の依頼があり取組みました。 ※今までの取り組みが認められ、上記全ての作業が法人内で引継ぐことになりました。	内会」に所属しており、班長として活動しました。 ○虐待防止およびコンプライアンス施策 事業所内虐待防止委員会を設置しました。定期的に虐待防止に対するセルフチェックを行い、都度振り返りを職員全員で行うことで支援スキルの向上に繋げています。

◇障害福祉サービス事業（就労継続支援Ｂ型・Ａ型）

	就労継続支援Ｂ型（クリーンプラザ）	就労継続支援Ａ型（クリーンこづる）
コキア	○コロナ禍、公共施設における活動であることを念頭に、本人及び一般利用者に対しても安心した利用ができるよう、感染予防対策の徹底に取り組みました。利用者と職員併せて１０名の罹患者がでたものの、蔓延を防ぎ全ての清掃事業所において穴をあけることなく、１年を通して受託作業を遂行することができました。 ○障害者虐待防止法の理念に則り、倫理綱領と行動規範の周知徹底を通して利用者対応の適正化に努めました。コンプライアンス施策を虐待防止に定め、内部研修として一人現場での対応を課す嘱託職員に向けた講和など、自身の経験値や常識観に偏らない当法人職員としての心得について理解の浸透を図りました。 ○事業所虐待防止委員会と身体拘束等適正化委員会を定期的に開催し、チェックリストにより各々の支援実態を顧みる機会を持つことで適正な対応に努め、虐待を発生させず身体拘束を要さない対応につなげています。 ○コロナ前と比べると充実したサービスとは言い難いものの、日帰り旅行会や調理実習など、利用者の日々の労をねぎらう行事を実施することができました。作業中心のコキアにあって、利用者の笑顔に触れる機会を持てたことは職員にとっても励みとなりました。 ○コロナ禍にあっても活動の場を日々継続して提供できたことで、令和４年度も月々の工賃に加え特別工賃も支払うことができました。Ｂ型においては次年度、宮城県環境放射線監視センターとの新規受託契約を結んだことで工賃と給付費単価のアップを目指せる状況になりました。 ○給付費収入において、Ａ型については令和３年度末で退所した利用者の補充が５月までかなわなかった事に加え、コロナ感染者と濃厚接触者の発生もあって当初予算に届きませんでした。Ｂ型については３カ月に及ぶ利用者の入院と数名の利用者が休みがちとなったことで、前年度に比べ予測外の厳しい収入状況となりました。 ○B 型利用者１名を、仙台市ひとまち交流財団へ就職させることができました。あらかじめ予測できていた募集であったため、本人の意志を確認した後、就職先で求められる清掃スキルの習得を図り、日々の活動の中で準備をしてきたことが実現につながりました。 ○懸念される利用者間の摩擦については、個々の特性に応じた作業動線とシフトの調整によって安心安全な環境を設定することで最小限に抑えることができました。 ○公共施設での活動である限り、公共マナーの向上は常に求められる課題として取り組んできました。事前に利用者の状態を把握し日々の活動環境を検証し適宜職員が介在することで、来館者からのクレームもありませんでした。 ○受託業務においては、新型コロナウイルスの感染状況に影響なく業務計画通りに遂行できました。令和５年度も全ての受託事業所の契約更新を果し、加えて新たに宮城県環境放射線監視センターと契約を結びました。 ○利用者の命を守る知識を得る取り組みとして、引き続き救命講習を実施しました。 ○公益的取り組みについては、仕様書で定められた作業区域外に範囲を広げて清掃を行い、公共の場の環境整備に日々努めました。	
	〈就労支援〉感染症対策への意識を定着させ、衛生面の配慮を最大限に保ちながらも、すべての現場において仕様書通りに作業を全うしました。日々の清掃作業を通して安心と安全を基調とした作業の場を提供するよう、ワックス清掃や階段清掃、車や自転車の往来がある場所での掃き清掃など､危険個所を職員全体で情報共有しながら、取り組みました。大規模改修工事が始まった博物館においては大型車両の往来があり、危険回避の意識付けを一層徹底しました。工事期間は午前のみの契約となった為活動場所の提供と工賃の確保として、午後からはプラザにて作業を行いました。加齢による身体能力の衰えから負傷などを未然に防ぎ、支援計画の策定通りに作業支援が進められているか確認を徹底するなど、現場担当者との密な連絡調整を行うことで、作業中の事故を防ぐことができました。利用者１名、一般就労を果しました。 〈生活支援〉コロナ禍において利用者の日々の健康状態の把握、マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒を徹底しました。生活状況に応じて、通院付き添い、服薬の管理、衣服等の買い物の付き添いなどを行いました。利用者１名の母親が急逝したことで、ご家族及び相談事業所と連携を図り、法人内グループホームへの入居が決まりました。生活が安定したことから、それまで週１日の利用だったところ、３～４日に増やすことができました。なかなか登所できない利用者から体力と気力を理由に退所の意向があり、３月末で退所となりました。 〈健康管理〉健康診断を実施しました。新型コロナウイル	〈就労支援〉雇用作業員としての期待を伝えながら社会人の自覚を持って作業に取り組めるよう努めました。日々作業種目を変えて取り組むことで、各々の作業内容を認識しあい､作業全体の流れを把握できるよう努めました。また利用者・職員が連携し臨機に対応することで、互いに補完しあい協力する場面が見られるようになっています。以前から問題視されていた作業場内の不快な臭いに対しては、水槽の水を抜き水槽及び水槽の下を除菌剤で洗浄することを継続して行った結果改善され、安心安全な作業環境を提供できています。洗浄機の新規入れ替えが行われ洗浄能力が上がったことでさらに効率化を図りながら取り組んでいきます。 〈生活支援〉新規利用者について、他利用者と協力しながら業務に携わったことで問題なく業務に携われています。休憩時間には職員を介しつつ同じ話題を楽しむ様子が見られ、より良い人間関係を築けています。作業・休憩時間の双方で作業動線に配慮した結果、利用者間のトラブルはほとんど見られなくなりました。加齢とともに体力の低下が見られる利用者について、ご本人と話し合い負担がかからないような流れを組んだ結果、笑顔で作業に取り組めています｡コロナ禍での日常において､日々の健康状態を把握し、安心して生活を送れるよう衛生面の声掛けや助言を徹底しました。また通勤の際や休日の過ごし方について人混みを避けるなど感染症対策について話す機会を設け意識を高めました。ワクチン接種については、家庭状況に応じて職員が付き添い順調に接種を

コキア	ス感染症対策により、職員付き添いのもと結核予防会・興生館において少人数グループで受診しました。嘱託医による内科健診については、新型コロナウイルス感染症対策により実施しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策として、日々の体温測定や健康状態の把握、手洗いとうがいの徹底、アルコール消毒を継続しました。福祉プラザでは管理課のご厚意により昼食時に研修室を借用し密にならない状況で食事を摂れています。 <防災管理>福祉プラザ主催の防災訓練に参加しました。コロナ禍を鑑み各入居団体から１名の参加に限定されたため、利用者はコキア控室前から倉庫まで避難する形で参加しました。その他受託事業所では、利用者・職員の全員が参加しました。	進めることができました。 <健康管理>新型コロナウイルス感染防止対策として、体温測定や健康状態の把握、作業終了ごとの手洗い、うがい、手指アルコール消毒を徹底し、感染防止に努めました。健康診断を実施しました。利用者２名については職員が付き添いました。嘱託医による内科健診については、嘱託医の意向により感染防止を鑑みて未実施としました。 <防災管理>環境整備公社での避難訓練がないため、独自で有事（地震）を想定した避難訓練、消化訓練、通報訓練を実施しました。全員が積極的に消火訓練（水消火器操作）に取り組みました。

◇障害福祉サービス事業（共同生活援助事業）

仙台ふきのとう	○グループホームの利用状況と利用者の現状 高齢化や状態像の変化に伴い、他事業者の日中支援型グループホームに移行した方が３名、家庭の事情や一人暮らしの実現等で退所した方が５名いました。そのため、利用率は大幅に減少しました。また、グループホーム内で利用者のコロナ感染が拡がり、対応するスタッフを限定し、感染拡大の防止に努めました。それに伴い、職員の超過勤務の増加が見られました。収入が減少している一方、人件費等に係る支出は増えており、令和３年度と比べ、経営状況は更に悪化しました。令和５年度は、経営状況の改善に力を入れていきます。また、利用者の高齢化や状態像の変化に留意し、利用者一人ひとりが豊かな生活を送ることができるよう、サービスの質の向上を目指していきます。 ○虐待防止の取り組み 令和３年度に虐待事件が発生し、仙台市の指導に基づき、改善計画書を作成しました。この計画書に沿って、１年を通し、研修、指導を実施しました。令和３年度はグループホーム連絡会を十分に実施することができず、情報共有やパート職員のフォローアップが不十分であったことを踏まえ、２カ月に１回グループホーム連絡会を実施し、各グループホームでの課題の検討、パート職員のフォローアップ、不適切な支援がなされていないかの検証等に力を入れることができました。グループホームはパート職員を中心とした現場であること、一人体制の現場も多いことなどから、不適切な支援や虐待が発見しづらいことも課題となっています。令和５年度も定期的に研修や課題検討、グループワークを実施し、虐待防止に努めていきます。 ○グループホーム仙台ふきのとう・やまぼうしの移転 令和４年９月に高松にあったグループホーム仙台ふきのとうとやまぼうしが台原に移転しました。移転に際しては、町内会で住民向けに説明会、内覧会を実施し、ご理解をいただきました。 ○日中支援型グループホームについて 日中支援型グループホームの開設に向けて準備を進めてきましたが、最終的にオーナーとの契約成立には至りませんでした。最近では企業による事業所開設も進んできていることから、法人による整備を凍結し、グループホームの経営基盤の見直しと相談支援事業所を軸として利用者ニーズを支える方向に転向していきます。 <令和５年度重点目標> １．サービスの質の向上と豊かな生活の実現 ２．人権の尊重と虐待防止の徹底 ３．情報共有の徹底と連携強化 ４．事故防止と防犯、防災への取り組み ５．事業継続に向けた経営改善への取り組み

◇生活介護事業（仙台市委託事業）

	生活支援	日中活動支援
太白障害者福祉センター	○生活支援全体 仙台市太白区を中心とした「障害者の地域福祉の拠点」として、障害の重度化・多様化にも応じられるよう関係機関と連携を図りながら、特性やニーズに合わせた個別支援、ケアマネジメントの展開に努めました。利用者各自の「サービス等利用計画」における当事業所の役割を意識した個別支援計画を作成し、個々の特性や必要な支援を把握した上でサービス提供を行いました。また、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者一人ひとりが安心して生活できるよう情報提供を行いながら支援をしました。 ○日常生活動作・身体機能に関する支援 新型コロナウイルス感染拡大の影響で長期欠席の医療的ケア利用者が複数名おり、電話やメールで状況確認を行い、利用再開をスムーズに行えるよう支援しました。加齢や障害特性による身体機能の低下、変形が見られる利用者もいました。身体機能や体力維持を目指し、必要に応じて専門職からの助言を仰ぎ、個別に機能訓練を実	○日中活動支援全体 新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら活動を提供しました。個別支援計画に基づき、個々の目的や障害特性、身体機能に合わせて日中活動を計画し、日々の健康状態や身体状況について、看護師、ＰＴ、ＳＴ、ＯＴ等専門職の助言を仰ぎ、連携を図りながら活動に取り組みました。 ○創作・手芸活動 手芸、描画、貼り絵アート、ちぎり絵、ビーズ細工、スキルビーズ、季節の壁面創作（利用者全員で作成）等を実施しました。壁面創作は、作り上げる喜びや達成感、皆でひとつの作品を作る楽しさを感じられるよう支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染予防の観点から外出を控えていたため、その完成した壁画創作を眺めながら毎月のお茶会で季節感を味わいました。さらに創作したものの一部は、ウェルフェアや太白区民まつりなどでセンター紹介のコーナーに展示もしました。 ○レクリエーション

太白障害者福祉センター	施しました。身体の状態が悪化して入院した利用者については、病院のワーカーや相談支援員等の関係機関と連携し身体状況の変化に合わせて退院後の生活をスムーズに開始できるように支援しました。 ○新規利用・移行に関する支援 年度内における新規利用者１名、利用終了者４名。利用終了者の内訳は、グループホーム利用に伴う他事業所への移行１名、障害者支援施設入所が１名、併用利用先への完全移行２名となっています。一方で、令和４年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で他事業所の見学を実施できなかったので、令和５年度は利用者やご家族の思いを確認しながら移行の支援を進めていきます。 ○サービスの情報提供や相談に関する支援 個別支援計画書に関する個別面談は、前期は書面・電話で、後期は書面・電話、センターでの面談、家庭訪問の中から選択していただきました。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、ご家族と対面でゆっくりとお話をする機会を確保することは難しい状況にありましたが、送迎時や電話で確認を取りながら、センターと家庭との情報共有に努めました。さらには相談事業所、併用事業所との連携も図り、ケア会議への参加などで情報共有を図りました。 ○送迎・入浴・給食サービス 業務委託法人である（社福）仙台市障害者福祉協会と連携を図りながら送迎（添乗）・入浴・給食サービスを提供しました。 ○家族交流会 新型コロナウイルス感染予防の観点から交流行事は中止としました。	利用者の希望を確認しながら、スポーツ・レクリエーション活動を提供しました。ウォーキング、ボウリング、魚釣りゲーム、玉入れ、的当て、風船バレー、棒体操などを実施しました。必要に応じてＰＴの助言を仰ぎ、介助や身体的な支援の方法などを確認しました。集団活動を通して、他者への関心や関わりを持てるよう配慮し、利用者同士の交流を深めることもできました。 ○外出 新型コロナウイルス感染予防の観点からショッピングモールでのウインドーショッピングは控え、身体状況やその日の体調に合わせて、近隣の公園の散策等を中心に実施しました。体力維持・向上を目的とし、ウォーキング等の軽運動もニーズに合わせて個別に提供しました。 ○季節行事 季節の茶話会（月１回）、夏祭り（８月）、年忘れ会（１２月）、退所者を送る会（３月）を実施しました。年忘れ会では、外部団体を呼んでの演奏会を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、内部だけでの企画となりました。 ○音楽活動 日常的に、好きなＣＤを聴きながらリラックスして過ごしたり、カラオケを歌ったりして音楽を楽しみました。また、８月の夏祭りでは盆踊り、１２月の年忘れ会ではクリスマスソングに合わせて楽器を鳴らしたり踊ったりする機会を作り、事前練習をして集団で活動する楽しさを感じられるように配慮しました。 ○社会体験活動 グループ体験企画と称して、小グループでやりたいことを企画して実施する体験行事を、意思決定支援の一環として年２回実施する計画を立てていましたが、利用者の人数や状況からグループでの企画は難しかったため、職員が提案した企画の中から、利用者が選択して制作をするというものになりました。前期は「フラワーボックス作り」、後期は「ハロウィンライト作り」を、利用者がそれぞれ材料や色、形を選びながら制作をしました。 ○災害時対策・防災計画 センター全体で地震・火災を想定した避難訓練を年２回実施しました。その中では、車椅子利用者のために滑り台を用いた避難、入浴時を想定した避難など様々な状況を想定して訓練を行いました。 福祉避難所設置業務やセンター全体のＢＣＰについては引き続き、（社福）仙台市障害者福祉協会と確認しながら進めていきます。
	生活支援	日中活動支援
宮城野障害者福祉センター	○事業全体 仙台市の運営方針である『地域におけるリハビリテーション推進の拠点として、より高度化・専門化した支援を目指す』こと、また『あらゆる障害に対応できる重層的な相談支援を行いながら、質の高いケアマネジメントを提供していく』ことを基に事業を行いました。 令和４年度から仙台市障害者福祉センターに関する条例及び実施要綱が改正され、利用対象の拡大（知的障害の方の他に、重症心身障害の方、難病の方、医療的ケアを必要とする方を対象とする事が明文化）や、利用定員の変更（一日あたり概ね９名程度→８名程度）等の見直しがなされ、これまで以上に区圏域の拠点施設として、先導的な取り組みや既存の制度・サービスでは対応しきれないニーズに応じる補完的役割を担う事が求められることになりました。 その中で、仙台市北部発達相談支援センター（以下、北部アーチル）との協働事業を実施し、『行動上に難しさのある方への移行支援』をテーマに、北部アーチルのスーパーバイザーから助言をいただきながら、行動観察、分析等を行い、強度行動障害の状態にある方への支援の	○活動支援全般 個別支援計画に基づき、個々のニーズや障害特性にあった日中活動を提供しました。個室対応やパーテーション設置等、安心して活動出来る環境を整備すると共に、行動観察と丁寧な意思決定支援の中で意向を確認しながら展開しました。日常的な感染防止対策と日々の健康チェックを十分に行った上でコロナ情勢を考慮した活動を実施しました。 ○外出 それぞれの個別支援計画に沿い、近隣の散策や幸町地区の大型店舗への買い物等に出掛けました。また、仙障協と協議・確認を行い、センター公用車を育成会職員が運転できることとなり、水の森公園や初詣（東照宮）、利府イオン等、遠方への外出も実施しました。 ○スポーツ・レクリエーション 感染防止対策を講じながら、ダンス、エアポリン、ボウリング、楽器演奏、ＤＶＤ鑑賞等、これまで行ってきた活動を中心に、更に利用者が取組みやすいようにツールを改良したり、環境を調整する等配慮し実施しました。また、土曜日に当センターで開催された「ふれあいコン

宮城野障害者福祉センター	改善を図りました。この取り組みについて、年度末に開催されたアーチル主催の研修会にて実践報告しています。令和５年度も協働事業を行う予定であり、各利用者を移行支援における三段階（導入期、活動期、移行期）に分類し、それぞれのステージにおいて必要な支援を整理し、その実践を通じて移行支援の更なる充実に繋げていきます。 ○新規受入れ及び移行支援 令和４年度は新たに２名の方を受入れ、十分なアセスメントに基づき、各々のニーズが充足できるよう支援しました。その他、複数の方から利用希望がありましたが、様々な理由で契約に至らないケースも少なくなく、現在、障福サービスに繋がっていない在宅の方々の課題の困難さや、障福センター事業の限界を感じることもありました。 一方、改めて当センターの『移行事業所としての役割』を利用者、ご家族とも確認し、相談支援事業所等、関係機関とも連携を図りながら移行支援を行いました。見学や実習の同行も行い、その結果、２名が他事業所へ移行されました。一方、残念ながら市調整会議で漏れた方や、行動上の難しさから移行が思うように進まない方もおり、移行支援の重要度が増している状況です。上記、北部アーチルとの協働事業も交えながらご本人やご家族がより安心し、希望に沿う移行ができるよう支援してまいります。 ○健康管理・新型コロナ対応 日々、感染症対策や体調管理に努めました。毎朝のバイタルチェックの他、ご家族と連携して健康状態の把握に努めました。また、活動スペースにおいても加湿や小まめな換気、消毒等の環境整備を行いました。しかし、オミクロン株の強い感染力もあり、年間を通して、数名の利用者・職員が罹患し、１月には１日のみ臨時休所することがありました。幸いにして、それ以上感染拡大することはありませんでした。 一方、例年同様、嘱託医による内科健診（６月）や健康診断（10～11 月で希望者のみ。隣接する中嶋病院への同行）を実施。また、要医療的ケアの方が利用される際には、事前に全職員が抗原検査を行うと共に、（社福）仙台市障害者福祉協会（以下、仙障協）の看護師やご家族と連携を図りながら、医療的ケアを提供しました。 ○食事支援 これまで同様、ご家族及び仙障協栄養士等と連携を図り、それぞれに合った食形態や環境で提供できるよう努めました。今後も摂食に不安のある方に対しても安心・安全に食事ができるよう、食事介助のスキルを向上させ、丁寧な支援を行ってまいります。 ○虐待防止 毎月の職員会議内で虐待防止委員会を開催し、チェックリストの実施や内部研修（年７回※身体拘束等適正化の研修含む）を行い、各職員の知識、倫理観の向上に努めました。年間の取り組みとしては、前年度に続き『チェックリストの中から各職員が自身の“重点目標”を設定し、改善に取り組む』を実施。定期的にその達成度を振り返りました。 ○安全活動 市内４つある障福センター共通の書式である「インシデント・アクシデントレポート」を活用し、支援中に起こり得るヒヤリ・ハット事例及び改善案の確認等を行いました。積極的に取り組み、４センターにおいて最も多くのレポート報告実績に繋がり、毎月の会議内で確認することで職員の意識も高まりました。強度行動障害の方による他害行為から労災案件（２件）もありましたが、幸い大事には至らず、今後も利用者、職員が安全に活動	サート」に参加する機会もありました。 ○創作・手芸 毎月「創作週間」を設け、季節感を味わえるようなテーマを設けて実施しました。利用者それぞれが得意とする工程に携わり共同作品を完成させたり、１人ひとりが個性を活かした作品を製作できるよう支援しました。また、ウェルフェアや障害者週間等での作品展示を目標にすることで創作意欲にも繋がりました。 ○調理 令和３年度に引き続き、新型コロナ感染状況を鑑み、調理活動は自粛しましたが、１２月の年忘れ会の際に限定的に実施。お菓子（たこ焼き風フレンチトースト）作りを行いました。利用者からのニーズも高いことから今後の状況を注視しつつ、十分な対策の検討を経て再開の判断をしていきます。 ○園芸 センター入口の場所を活用し、観葉植物（ビオラ、パンジー等）を植え、水やりや雑草取りを行い育てました。 ○季節行事 運動会（６月）、夏祭り（７月）、仙台七夕見学（８月）年忘れ会（１２月）、新年会（１月）、慰労会（３月）を実施しました。中でも年忘れ会では、午前中に久々の調理活動を行い、午後には事前撮影した各利用者の出し物（楽器演奏、ダンス等）の動画を上映しながら、お茶会を楽しむという内容で、非常に好評でした。 ○日常生活動作（ＡＤＬ）・身体機能訓練 本人の状態の変化に留意し、個別支援計画にリハビリ項目を入れている方に対しては、ＰＴやＯＴ等、専門職と連携を図りながら、身体機能維持のための運動や日常生活動作の確認を行いました。 ○センター内事業における連携 毎朝のミーティングの他、三団体会議や自立訓練・生活介護連絡会を月１回開催する等、仙障協や（社福）ゆうゆう舎との情報共有、連携に努めました。また、センター内部研修として、各法人持ち回りで、三障害の特性について学び合う機会を実施したり、送迎・入浴・給食各事業においてもそれぞれ定例会議を開催することでタイムリーな情報共有を行いました。今後も密に連絡・確認を行い、センターとしてのサービスの質の向上に努めてまいります。 ○災害時対策・防災計画 ＢＣＰの更新を図ると共に、センター全体での避難訓練を年２回実施しました。消防署や防災機器業者からの指導を受け、有事の際の機器の取扱い等を確認しました。また、センターは災害発生時に福祉避難所となるので、その設置訓練も実施しています。 ○職員研修 職員会議や支援会議の機会を活かした内部研修や上記センター内研修を定期的に実施しました。また、外部研修についても、コロナ禍以降のオンライン研修のメリットを活かすと共に、年度後半に徐々に解禁された集合研修にも複数回参加しました。７月には上級救命講習を受講しました。今後も職員の専門性（知識・技術・倫理観）の向上を図ってまいります。 ○ご家族との連携・相談支援 日々の連絡帳や送迎時のやり取りを主として、必要時には電話連絡や訪問支援を行う等、状況に合わせた連携を心掛けました。移行を前に不安を吐露するご家族からの相談にも丁寧に対応しました。また、毎月『お便り』を発行し、活動の様子やセンターからの情報を伝えられるよう工夫しました。 個別支援計画の評価面談については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、対面形式のみとせず、書面と

宮城野	できるよう、取り組んでまいります。 ○コンプライアンス施策活動 「個人情報の取扱いの向上」に取り組みました。当センターは仙台市の委託事業である為、市条例の遵守も求められることから、市主催の研修を受講した個人情報保護責任者が内部研修を行い、全職員の意識の向上を図りました。また、定期的にチェックリストにて自身の取扱いを振り返る等、改善に努めました。年度末に実施された市担当課による個人情報保護関連の実地指導でも、概ね好評を得ました。	電話でのやりとりも選択できるよう提示しました。 　利用回数の少ない方（要医療的ケア）に対し、関係構築や医療的ケアの情報共有を進めるため、定期的に訪問支援を実施しました。 今後も各ケースに応じたご家族との連携を行っていきます。

◇サポートはぎ

指定特定指定一般相談支援事業・障害児相談支援事業 障害児等療育支援事業	【仙台市委託相談事業・指定特定(指定一般)相談支援・障害児相談支援】 　軽度の知的障害や発達障害のある方の金銭面や人間関係、就労等に関する困りごとの相談は継続的にありました。要因としては、家庭や教育現場などの療育環境や機会、虐待経験等による精神的な影響などから、２次障害的に生活面での困りごとに繋がっているケースが多く見られています。また、新型コロナウイルスの影響でタイムリーな支援が難しい場合もあり、そういった要因により困り感が悪化するケースも見られていました。 　新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、ケースごとの状況に合わせて訪問などの機会を減らすなどの対応を行いました。 　年々新規相談の件数が増えており、それに伴いケースの年齢層や障害種別も多様化しています。特に障害児や精神疾患ケースの相談が多くなっています。 　障害児（０才～成人前）に関しては、医療的ケアがあるケースや医療的ケアがあっても活発に動くことが可能なケース、強度行動障害のように特性が強くみられるケースや発達障害の影響で不登校のケースなど、多岐にわたる相談がある一方で、成人と比べて利用できるサービスが少ないことや、関わる機関が限られていることもあり、多職種連携を進めていくことが難しい状況があります。 　精神疾患に関しては、双極性障害や人格障害などの緊急性や支援者への攻撃性の高いケースが増えており、より専門性の高いスキルが求められています。 　ご家族の高齢化等の理由もあり、住まいに関する相談は年間を通して途切れることはありませんでしたが、介助や支援を多く必要とする方を受け入れてくれるグループホームを始めとした、生活の場が少ない状況は続いております。令和４年度については、ソーシャルインクルーホームを始めとした幾つかの日中支援型のグループホームが新規オープンする機会に恵まれ、生活の場の移行を例年よりも多く進めることが出来ました。入所施設についても施設側との連携を密に図ることで、少ないながらも入所が出来たケースもありました。 実績としては、相談事業全体のケースとしては３２名（令和３年度比＋１５名）の方々をグループホームや入所施設への生活の場の移行を進めることができ、法人内のケースに限っても２４名の方が生活の場を移行され、新たな生活をスタートしています。 《令和５年度に向けて》 　委託相談のケースは困難かつ多様な内容が多く、新規ケースは更に増えていく可能性が高いため、意思決定支援やエンパワーメント等の基本を踏まえつつ、相談支援専門員個人のアセスメント力やファシリテーション技術、コーディネート力の向上などを図ることで、より質の高い相談支援を行っていきます。また、相談支援専門員の抱え込みなどによるバーンアウトやマンネリ化の予防など、事業所内でのフォローアップ体制を整えていきます。今後も関係機関との連携を図りながらチームアプローチを確立していき、多職種連携による支援体制を構築できるように取り組みます。 【公益的な取り組み】 　太白区自立支援協議会に運営事務局として参加しており、相談支援部会や実務者ネットワーク会議などの運営を行っています。新型コロナウイルスの影響を考慮し、規模を縮小しての開催やオンライン会議など、感染対策をして実施しています。また、太白区と連携して地域のコミュニティとの繋がりを強めていけるよう、アウトリーチでの関わりを積極的に取り組んでいます。 　太白区自立支援協議会からの代表として、仙台市自立支援協議会評価研修部会へ委託相談として唯一の主任相談支援専門員の派遣や、仙台市からの委嘱により仙台市医療的ケア児者等地域支援連絡会作業部会への医療的ケア児等コーディネーターの派遣も行い、仙台市における障害福祉に関わる人材育成の仕組み作りや課題解決への取り組みへ参画しています。 《令和５年度に向けて》 　太白区自立支援協議会の運営の他、地域のコミュニティをはじめとした関係機関との関わりを、継続して取り組んでいきます。地域の課題抽出の部分では、事業所としても地域としても課題があるため、普段のケースワークも活用しながら取り組んでいきます。また、主任相談支援専門員や医療的ケア児等コーディネーターなど、より専門性の高い人材が配置されている事業所として、圏域における人材育成や地域作りについても積極的に取り組んでいきます。 【訪問療育相談事業】 　嘱託の心理士により月１回の事業を行います。発達障害者や軽度知的のケースへの訪問療育を行い、定期的な面談による社会性の向上、不安の軽減を図っています。 《令和５年度に向けて》

相談	嘱託心理士の定期的な訪問を実施し、ケースの生き辛さや不安の軽減を図っていきます。 【外来療育相談事業】 各家庭で主治医への相談を行なっているため、実績には至りませんでした。 《令和５年度に向けて》 継続的な事業の実施を行い、委託ケース（本人・家族）の安定を図っていきます。 【療育技術指導事業】 他の機関と事業内容が重複しているため、事業実績には至りませんでした。 内部での技術指導は適時行い、その内容を相談員が事業所やご家庭に伝えています。 《令和５年度に向けて》 事業内容や実施方法を検討し、専門職からの助言を発信していきます。
短期入所事業	【総　括】 ・コロナ禍３年目となった令和４年度では、職員や利用者の新型コロナウイルスの陽性反応・濃厚接触が散見され、各々が陽性者にならないよう、感染対策を施しながらの運営となりました。特にクラスター（独自の状況判断）の発生により職員の出勤停止や利用予定のキャンセルをお願いするなど、感染拡大を防止しながらも陽性になった長期利用の方や過ごす場所がないなどの緊急的な利用が必要な方のみ、ゾーニングを実施しながらサービス提供を行う期間もありました。 ・年間を通して、家族の入院・手術や一時的に生活の場がないなどの緊急的な依頼、在宅の方が社会復帰に向けた一歩を踏み出すための依頼、保護者の就労や将来に備えて等の理由による児童ケースの依頼など、問い合わせが多数ありました。現在の契約数や利用状況を加味して今すぐに利用が必要な緊急的なニーズのみ契約を締結して、サービス提供を実施いたしました。 ・仙台市短期入所事業所等連絡協議会の定期的な連絡会において、食材料費や光熱費の高騰を受けて、利用者負担金を上げざるを得ない状況であることやすでに値上げを実施しているなどの経営における情報交換が行われました。当事業所でも事業費からの支出分を補うために、値上げの検討を進めている所になります。また、研修会がオンラインで実施され、支援職員同士が日々感じていることなどを話し合う場・事例検討などが開催され、活発な意見交換が行われました。 【利用状況】 ・令和４年度の合計宿泊数は１，１１８泊となりました。延べ利用者数は、法人内成人が１，０３７名、法人外成人６８７名、学齢期児童が１２０名、就学前幼児が１０名となりました。 ・緊急的なケースとレスパイト的なケースなど様々な理由の依頼を、人的資源を加味しながら利用を調整してまいりました。しかし利用申し込みを断らざるを得ない現状もあるため、基本的には新規契約は停止している状況となります。ただし、保護者の逝去・入院・主たる介護者が不在になる等の緊急的なニーズの場合は、随時契約を結んでおります。また、ご家族の状況により長期的な利用になっていたケースが利用を終えたこともあり、今まで調整することができなかったニーズに応えることが可能な見通しとなります。 ・既契約者による入院や手術に伴う依頼、一時的に主たる介護者が不在となるための依頼、ご家族のレスパイト的な依頼が多い中で、新規契約の問い合わせでは、特に児童を抱える保護者の就労による問い合わせが増加しています。仙台市短期入所事業所等連絡協議会の中でも複数の事業所から話題にあがるなど、時代の変化に伴い依頼内容も多様化しており、様々なニーズに応えられるよう環境を整える必要性を肌で感じております。 【その他】 ・引き続き、法人のコンプライアンス施策、安全活動委員会及び虐待防止委員会の取組みとして『ヒヤリハット・ニヤリホット・ツイカット・不適切報告』の事例報告及びそれを基にした検討会を実施いたしました。 ・公用車の走行距離が２０万ｋｍを越え、毎年のように故障・修理が発生しているため、日本財団の助成金に申請しておりますが今回は選外となり、引き続き助成金を申請したいと考えております。 【令和５年度に向けて・今後の課題】 ・令和５年５月８日から新型コロナウイルスが５類相当に引き下げられることから、感染者が再拡大することが予測されます。これまで同様、緊急時・非常時の『止められないサービス』の一つとして、対策を十分に講じながら運営してまいります。 ・ご本人・保護者の高齢化による利用ニーズはこれから益々増えてくることが予想されるため、パート支援職員の確保も含め、緊急時・非常時に確実に応えられるような体制整備が必要である。新型コロナウイルスの５類相当への引き下げに伴い、徐々に人々の交流も戻りつつあるため、学生の勧誘活動の機会増加を促し、人材確保問題の解消に繋げてまいります。 ・当事業所自体が築１５年以上を経過するため、設備の不具合も出てきており、令和４年度は２階キッチンの漏水により、２階リビングの床張り替えを実施いたしました。今後、修繕に向けての確認や備えを計画的に実施してまいります。

◇ヘルパーステーションコスモス

ヘルパ―ステ―ションコスモス	【移動支援】 　令和４年度も新型コロナウイルスの影響を受け、宮城県において８月下旬には第７波となり「みやぎＢＡ．５強化宣言」（８/５～８/３１）が、１１月中旬には第８波となり「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」（１１/３０～２/１３）が発令され、該当月の実施を中止またはキャンセルが見られ、当初予算には達成したものの、事業経営に影響が出てしまいました。サービス提供については、スタッフ数名が罹患することが発生しましたが、事業所を休止することはありませんでした。 令和５年度も利用者はもちろん、ヘルパーの安全を最優先に、Ｗｉｔｈコロナ（新型コロナウイルスとの併存）を念頭に、今後のサービス提供のあり方について模索していきます。 【居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護】 　今まで利用していた利用者が日中支援型グループホームへの入居が決まり、数件が契約終了となりました。引き続き、利用者や介護者の高齢化対策として、一般在宅利用者への入浴介助及び通院等介助の新規契約を計画的に進め、契約数とサービス提供量の増加させることで新型コロナによる影響があったものの、予算達成に近づけることが出来ました。令和５年度もサポートはぎ相談事業との連絡を密にしながら、今後も各利用者、ご家族のニーズに柔軟に応えられるよう、支援スタッフの資質向上と、登録ヘルパーの確保に努め、安心して過ごせる支援体制を構築していきます。 【登録・パートヘルパー】 令和４年度、家庭の事情により登録ヘルパー３名業務嘱託契約が終了となりました。登録ヘルパーが担当していた利用者には、職員が同行の形で引継ぎを受け、安心して利用していただけるよう対応しました。登録ヘルパーからの支援活動相談についても、随時の打ち合わせや支援同行、さらにメールなどを活用しながら対応をしていきます。 ≪令和５年度に向けて≫ ・利用者ニーズに対応できるよう、継続してヘルパーの確保に努めていきます。 ・年２回以上のヘルパー向け研修を実施し、支援者の資質向上に努めていきます。 ・定期的なモニタリングを行い現状把握し、より適切なサービス提供に努めていきます。 ・居宅介護事業中心に利用者ならびに介護者の高齢化対策に取り組んでいきます。

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業

おり―ぶ上野山	令和４年度の利用契約児童数は児童発達支援２名、放課後等デイサービス３２名、合計３４名と令和３年度よりも４名増でした。幸いに、当事業所への利用問い合わせは年央でも数件あり、曜日で受け入れ可能な限り契約を結び、事業収入増に努めました。日々の利用実績１１名を目標設定として、定期利用曜日以外でも利用希望がある場合は可能な限り受入れ、また利用キャンセルなどで事前に定員に空きがある日についても、月の支給量日数に至っていない利用児に誘い掛けを行うなどし、利用していただいたことで収益に繋げました。結果、日々の平均利用人数は令和３年度よりも０．２ポイント減の１０．４名でしたが、専門職員(心理担当職員)配置加算と年央による個別サポート加算Ｉを支給された利用児童が増加したこともあり、３６５万円の増収となりました。 　８月と１１月に新型コロナウイルス感染症の罹患者が増加し、やむを得ず臨時休所とした日が合計８日ありました。令和４年度における事業所内の罹患者は、利用児・職員の総数のうち約７割が罹患するという結果となり、細やかな感染対策はしていたものの、利用児童の直接支援をしながら感染防止に努める難しさを痛感しました。 　支援技術向上や職員の資質向上を目的に「おり～ぶ合同内部研修」を実施したほか、より良い支援に繋がるべく資格取得のための外部講習への参加、「命を預かっている」ことを意識した上で上野山児童館職員と合同で行っている救命救急講習への参加も積極的に行いました。虐待防止への取り組みとしては、虐待防止チェックリストを定期的に全職員が実施する等、知識や技術の習得と日々の支援方法の振り返りを行い研鑽に励みました。 　ご家族様からのニーズに応え、ケガにより在宅療養中の利用児童に対しリモート(ＺＯＯＭ)による療育支援も実施しました。支援計画の個別面談につきましては、従来の対面とリモートのハイブリッド型にしたことで、ご家族様の希望にも沿うことができました。 ＜令和５年度の展望＞ （１）利用児本人とその家族が安心して豊かな毎日を過ごせるよう、それぞれのニーズや生活環境を把握し、ライフステージを意識しながら利用児本人の特性や発達段階に合わせた適切な支援を行います。家庭や学校、その他の関係機関との連携を図りながら良質なサービスを提供します。 （２）安定した事業所経営に繋げるべく、より一層のサービス利用ニーズに応えられるよう送迎車両を増台し、多方面への送迎サービスと療育支援の拡大を図ります。また、サービス内容や提供時間等、利用児及び家族のニーズに対応できるよう、臨機応変に提供します。 （３）ＯＪＴやＯＦＦ－ＪＴで支援技術と知識を習得するほか、より障がい特性への理解と適切な対応ができるよう、資格取得に向けた外部研修への受講も積極的に行い、職員一人ひとりが児童や障がい分野の専門性を高めます。 （４）併設している上野山児童館との合同救命救急講習に参加し、全職員がＡＥＤの操作のみならず、状況と状態を察知したのちの「咄嗟の判断」と「命を守る知識とスキル」を習得します。 （５）事業所に虐待防止委員会を設置し、虐待防止マネージャーを中心に全職員が権利擁護の意識を高め、適切に支援が図られているか相互にチェックし、虐待が決して行われない環境づくりを徹底します。 （６）子どもの成長を見守り育んでいける地域を目指し、上野山児童館と連携を図りながら地域の人達との交流行事へ参加します。 （７）Ｅメール等のツールを利用し、全ご家庭へタイムラグなく情報提供を行うほか、利用児や家族のニーズにあわせオンラインによる療育支援や個別面談等も行いながら、情報の共有と連携を図ります。また事業所評価を実施し、家族の意向を把握、公表しながら開かれた事業展開を行います。

おり―ぶ五橋	令和３年度からの継続利用者２２名（児童発達支援事業２名・放課後等デイサービス事業２０名）、新規利用契約者４名（放課後等デイサービス事業４名）の合計２６名で当年度事業開始しました。年度途中は１名（放課後等デイサービス事業）が家庭の都合により利用契約終了しましたが、年度途中で３名と新規利用を結び、年度終了時の利用契約者数は２８名でした。６年生は１名でしたが、卒業後の移行先として、おり～ぶ太白の利用を勧める営業活動を行いその１名の利用児のおり～ぶ太白への移行につなげることができました。１月からは令和５年度の利用問い合わせが相次ぎ、３名との契約の確約を得ました。働く親御さんたちのニーズに応え、長期休暇期間には朝早い時間から夜までお預かりする姿勢が好評でした。職員体制等の課題はありますが、今後も親子とも喜んでいただけるような受け入れを行い、顧客満足度と売り上げの両方を上昇させたいと考えております。 令和４年度は、コロナウイルスによる影響が大きく、濃厚接触者や検査対象者が出るたびに、個人情報に留意しつつ各家庭へ情報提供を行うことにより利用の判断をしていただきました。ですが、令和３年度と比べると利用キャンセルは少なくなりました。ただし、罹患して休む利用児が増え、８月にはクラスターが発生し、１０日間の事業所の休所を余儀なくされ、１００万円以上の減収となりました。その際に利用児・職員とも約半数が罹患したため、その後はクラスターが発生することなく、安定した運営を続けることができました。 売り上げについて職員全体で確認することにより、目標値や危機感を共有することを目指しました。予算達成か否かだけでなく、令和３年度との売り上げ比較に特に重点を置きました。心理士加算対象の職員を配置したことにより、令和３年度の給付費を大幅に上回る令和３年度比３４０万円プラスの売り上げを達成しました。今後も毎年「前年度を超えるんだ」という意識の醸成を図っていきたいと考えます。 令和４年度も消毒、換気、マスク着用の声がけ等を引き続き行うことにより感染予防に取り組みました。そんな中、外出行事を一部再開し「楽しかった」という感想をいただきました。 当年度も多くの保育士実習を受け入れ福祉人材の育成の一役を担いました。コロナウイルスの影響で保育士実習を受け入れない事業所が多い中の受け入れだったため、学生や学校から感謝されました。 おり～ぶ全体で行っている「内部研修」に参加し権利擁護への意識を深めることができた。また、片平消防署の協力を得て「救命救急講習」を行い、命を守るための行動を学びました。 また、支援の質の向上を目指しプライバシーに配慮した支援（さん付けの呼称の徹底、利用児の荷物を開ける際の本人への許可取り）の定着を目指し一定の成果を得ました。コンプライアンス施策としては休憩時間の確実な確保に取り組みました。休憩の取りづらい土曜日や長期休み中も休憩を取れるよう今後も取り組みを継続していきます。 おり～ぶ五橋としては、４事業所が加盟している「放課後ケアネットワーク仙台」を担当し、執行部の一員となり、会議への参加・啓発事業に今後も取り組んでまいります。 今後も地域の障害のあるお子さんのサードプレイス（第三の快適空間）としての役割を果たしつつ、保護者の大変さを少しでも和らげられるような事業所となるべくサービスを提供してまいります。
おり―ぶ太白	おり～ぶ太白としての４年目は、五橋・上野山の卒業児６名と、新規小１児３名を迎え、３７名登録となりました。利用児増に伴い送迎先の学校も増えたため、軽自動車を購入し、公用車４台で日々の送迎を行いました。 利用受入れは、一日あたり平均１１．８名と、昨年度より一日あたり約２．５名増えました。利用児同士の関係性が多く構築され、友人との出会いを喜ぶ場面が増えました。人数の多さと併せて、支援学級に通う児童が増えたことで、過ごし方はより多岐に渡り、外出や公園など、屋外での活動がさらに増えました。 新型コロナウイルス対策として、日々の体調管理と、手指・室内・物品・車内の消毒を確実に行いました。令和３年度より頻度は減りましたが、急な休校や学級閉鎖になった際は、朝からの受入れを行いました。複数名の感染により、やむなく１２月の一日のみ休所しましたが、その他は通常開所することができました。 給付費は、心理指導担当職員配置による加算取得と、利用増により、令和３年度より１，０００万円以上多い収入を得ることができました。 町内会に場所を提供しての地域貢献活動は、コロナ禍による町内会活動の自粛が継続していたため、実施には至りませんでした。 おり～ぶ内部研修を以下の通り実施しました。※会場は全ており～ぶ太白 第一回　　７月　８日「権利擁護について」 講師 宮城県障害者権利擁護センター 鈴木所長 第二回　１１月２８日「強度行動障害研修（基礎編）／事例検討」 講師 仙台市第二自閉症児者相談センター なないろ 門田センター長・三浦相談員 第三回　１２月　６日「救命救急講習」 講師 太白消防署救命係 高橋氏
おり―ぶ鈎取	令和３年度からの継続利用児２３名、上野山からの移行利用児５名、新規利用児１名の登録者２８名でスタートしました。令和３年度以上に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が随所に感じられる中、感染防止対策をとりつつ日々の活動～創作活動やレクリエーション、音楽活動、ソーシャルスキルトレーニングなど～を実施し、安心して過ごせるサードプレイスとしての役割を果たせるよう支援にあたりました。外出活動や調理活動は令和５年度も感染リスクを考慮し実施には至りませんでしたが、所内でできる工作や実験などの活動に工夫を凝らし、年明けからは少しずつ短時間の買い物活動を復活させ、社会経験の機会を作りました。 職員の専門性を高めるため推進してきた「強度行動障害支援者養成研修」は常勤職員全員が受講済みとなり、支援全体で障害理解を深めてきましたが、送迎時の利用児事故や支援中の労災が発生してしまい課題を認識することとなりました。改めて相談支援センター職員を招きスーパービジョンを受けることで、利用児が安心して過ごせる支援の検討や室内環境整備にも目を向け取り組んできました。 また、おり～ぶ全体の取組みとして毎年実施してきた「茶話会」は、オンラインを活用して先輩保護者と職員が話し合う様子を利用児保護者へ配信するものとしました。視聴した保護者からは大変好評をいただき、今後の茶話会実施に向けこれまでより多くの保護者に参加いただける方法が確立できたものと考えます。 収入においては、施設入所や送迎範囲外への引っ越しなど年度途中での利用終了や、新型コロナウイルス感染症

おり―ぶ鈎取	の感染及び濃厚接触者該当のため自宅待機となったことによる利用キャンセルも目立ち、当初見込みの利用獲得には至りませんでした。また、予定していた人員配置ができず新たな加算取得に至らなかったことは、当初予算を達成できなかった大きな要因となりました。 　一方で感染症発生等による収入へのダメージは大きいものでしたが、今後義務化となる「感染症や災害への対応力強化の取組み」を再考する上では、机上のＢＣＰ（事業継続計画）ではなく、行動するものとしてこれまで以上に職員各々が意識するようになりました。 　令和５年度は、対象を小学生からに拡大しより多くの新規利用児獲得を目指すこと、有事にも必要な対策をとり事業継続することで利用率が落ち込まないよう工夫を凝らすことを全体で意識しサービスを提供していきます。

◆公益事業

◇サポートはぎ

診療所	【利用状況】 ・主に障害支援区分認定に係わる医師意見書の作成や年金に係わる医師の診断書などの依頼を状況に応じて受け付け、その都度作成を行いました。また、診療外来は依頼により、その都度実施いたしました。 【翌年度に向けて】 ・障害支援区分認定の医師意見書作成を中心に行い、必要に応じて診断書依頼も受け付けてまいります。 医師との連絡を密にし、診断書の作成依頼や診療相談に応えられる体制を整えてまいります。
日中一時支援事業	【総　括】 ・コロナ禍３年目となった令和４年度では、職員や利用者の新型コロナウイルスの陽性反応・濃厚接触が散見され、各々が陽性者にならないよう、感染対策を施しながらの運営となりました。特にクラスター（独自の状況判断）の発生により職員の出勤停止や利用予定のキャンセルをお願いするなど、感染拡大を防止しながらも陽性になった長期利用の方や過ごす場所がないなどの緊急的な利用が必要な方のみ、ゾーニングを実施しながらサービス提供を行う期間もありました。 ・年間を通して、家族の入院・手術や一時的に生活の場がないなどの緊急的な依頼、在宅の方が社会復帰に向けた一歩を踏み出すための依頼、保護者の就労や将来に備えて等の理由による児童ケースの依頼など、問い合わせが多数ありました。現在の契約数や利用状況を加味して今すぐに利用が必要な緊急的なニーズのみ契約を締結して、サービス提供を実施いたしました。 ・短期入所と同じく、食材料費や光熱費の高騰を受けて、利用者負担金を上げざるを得ない状況であることやすでに値上げを実施しているなど他事業所間で情報共有を行っており、当事業所でも事業費からの支出分を補うために、値上げの検討を進めている所になります。 【利用状況】 ・令和４年度の延べ利用者数は法人内が９９２名、法人外７２１名、学齢が８８名、未就学児４名となりました。利用時間内訳は４時間未満の方が１，２６６名、４時間以上８時間未満が４８９名、８時間以上１３２名となりました。 ・短期入所に付随する依頼や土日祝日におけるご家族のレスパイト的な依頼・就労に伴う依頼が主な利用となりました。また、在宅の方が社会復帰に向けた一歩を踏み出すための依頼があり、利用につながるケースもありました。 ・就学時は放課後等デイサービスの利用により、夕方の時間に利用できるサービスがあったものの、卒業すると帰宅時間が１～２時間程度早まり、その他家族（祖父や祖母）が面倒を見ていたが、老化に伴う体力低下等や正規就労が困難になるなどの課題があり、日中一時支援事業に徐々に注目が集まっている状況となっております。しかし、夕方の時間は短期入所を利用する方により定員に達することや送迎等により人的資源が足りないこともあり、日中一時支援事業のみでは放課後等デイサービスの代替えとなるキャパシティーにはならないことが考えられます。 【令和５年度に向けて・今後の課題】 ・令和５年５月８日から新型コロナウイルスが５類相当に引き下げられることから、感染者が再拡大することが予測されます。これまで同様、緊急時・非常時の『止められないサービス』の一つとして、対策を十分に講じながら運営してまいります。 ・当事業所自体が築１５年以上を経過するため、設備の不具合も出てきており、令和４年度は２階キッチンの漏水により、２階リビングの床張り替えを実施いたしました。今後、修繕に向けての確認や備えを計画的に実施してまいります。
環境業務受託事業	環境整備員指導業務 障害者雇用の就労先において清掃業務の指導を行い職場定着に努めました。 ・仙台市戦災復興記念館（支援職員１名、大規模改修工事を終え１２月より指導業務再開） ・仙台市広瀬文化センター（支援職員１名） ・仙台市４市民センター（支援職員１名）

Ⅱ個別概況
１．経営組織活動
（１）評議員会　　１回
◇令和４年　６月２２日（第７５回）
報告事項１　令和３年度事業報告
第１号議案　令和３年度決算に係る書類等の承認
＜１＞令和３年度計算書類及び財産目録
＜２＞基本財産である固定資産の増加及び減少
＜３＞監事監査報告書
報告事項２　①令和４年度事業計画及び当初予算
②社会福祉充実残額の算定
（２）理事会　　４回
◇令和４年　４月１３日（第１５１回）省略理事会
第１号議案　共同生活援助　仙台ふきのとう　グループホームの建物賃貸借契約
◇令和４年　６月　６日（第１５２回）
第１号議案　令和３年度事業報告
第２号議案　令和３年度決算に係る書類等の承認
＜１＞令和３年度計算関係書類及び財産目録
＜２＞基本財産である固定資産の増加及び減少
＜３＞純資産「その他の積立金」の積立
＜４＞監事監査報告
第３号議案　育児休業・介護休業規程の廃止
第４号議案　育児休業・介護休業等に関する規程の制定
第５号議案　諸規程の一部改正
①組織運営規程
②経理規程
③職員給与規程
④雇用職員（障害者）就業規則
第６号議案　定時評議員会の招集
◇令和４年１０月２８日（第１５３回）
第１号議案　補正予算（令和４年１０月）
第２号議案　障害福祉サービス事業就労継続支援（Ｂ型）ワークスもくれんの廃止
第３号議案　諸規程の一部改正
①経理規程
②職員就業規則
③職員給与規程
④嘱託職員の就業条件に関する規程
⑤パート就業規則
⑥雇用職員（障害者）就業規則
⑦障害福祉サービス事業指定介護サービス包括型共同生活援助事業仙台ふきのとう運営規程
◇令和５年　３月１６日（第１５４回）
第１号議案
＜１＞補正予算（令和５年３月）
＜２＞純資産「その他の積立金」の積立て
第２号議案　令和５年度事業計画
令和５年度収支予算
第３号議案　施設長等の任免
第４号議案　障害福祉サービス事業就労継続支援事業（Ｂ型）ワークスもくれん運営規程の廃止
第５号議案　諸規程の一部改正
①理事職務権限規程
②組織運営規程
③経理規程
④職員就業規則
⑤職員給与規程
⑥嘱託職員の就業条件に関する規程
⑦パート就業規則
⑧雇用職員（障害者）就業規則
⑨障害福祉サービス事業就労継続支援事業（Ｂ型）くるみの木運営規程
⑩指定介護サービス包括型共同生活援助事業所仙台ふきのとう運営規程
（３）監事監査　１回　令和４年５月２４日
（４）評議員選任・解任委員会　　０回
（５）事業別会議　１２回
就労継続支援事業（４/２８、５/２６、６/３０、７/２８、８/２５、９/２９，１０/２７、１１/２４、１２/２６、１/２６、２/２７、３/２４）

児童発達支援・放課後等デイサービス事業（4/２８、5/２６、6/２６、7/２９、8/３１、9/２８、１０/２６、１１/３０、１２/２６、1/２６、2/２７、3/２７）

地域生活支援事業（4/２７、5/２３、6/３０、7/２８、8/２５、9/２９、１０/２６、１１/２９、１２/２３、1/３１、2/２８、3/２３）

生活介護事業（4/２６、5/２５、6/２８、7/２６、8/２３、9/２７、１０/２５、１１/２８、１２/２７、1/２４、2/２４、3/２３）

（6）経営会議　１２回（4/２１、5/２０、6/２２、7/２２、8/１９、9/１２、１０/１３、１１/２２、１２/２１、1/２０、2/２１、3/１６）

（7）苦情解決申し出（別表１）

（8）施設運営委員会

それぞれ各２回程度開催し、運営や利用者理解の広がり、施設の自主製品の販路拡大など貴重な助言を得ました。

２．行事の開催

①第５７回「成人を祝う会」の開催（仙台サンプラザホテル　令和５年１月１４日(土)）

※民法改正により、成人年齢が２０歳から１８歳に変わったが、「成人（せいじん）を祝う会」を「成人（はたち）を祝う会」と名称を変更し、対象者は今まで同様２０歳になる方としました。

参加者　成人対象者６名、付添者１１名、来賓・一般・理事・管理者２７名　実委等１７名　計６１名

※仙台市　健康福祉局長　加藤邦治 様　　さとう音楽事務所　さとう宗幸 様

②次回　第５８回「成人を祝う会」予定:令和６年１月１３日(土)　於:仙台サンプラザホテル

３．部会

（1）販売業務訓練等事業

令和３年度に引き続き新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大の影響で予定していた販売訓練事業主催の催しは実施できませんでした。前半はエスパル仙台の来客数も少なくゆめの森の売り上げにも影響していましたが、後半は館全体で来客数も増えゆめの森の売り上げも回復しました。一方、みやぎ生協店内に店舗を構えるはぁとは、年間通して売り上げは伸びませんでした。両店舗の商品の売れ行きも傾向が異なるため、店舗間での情報共有と商品の移動を行い販売しました。また、エスパル仙台及び法人のＳＮＳを活用した商品掲載により販売促進に力を入れました。

販売訓練については、就労系事業所に直接連絡を入れ販売訓練事業について説明を行い、訓練生の獲得に努めました。結果、興味を持つ事業所もあり、来年度の実習に繋げました。

・店舗…エスパル仙台店「ゆめの森」、みやぎ生協セラビ幸町店「はぁと」
・訓練修了者…０名
・支援スタッフ…コーディネーター１名、パート８名、ボランティア数３５名
・販売額…ゆめの森　３６３万円、はぁと１８８万円　　合計５５１万円

（2）給食部会

・法人内給食に関する管理・運営、栄養士による献立作成、給食の提供、利用者それぞれの身体状況に合わせた調理方法により、やわらか食やソフト食など食べやすい形態にして提供しました。
・栄養士による給食会議・献立作成（給食会議：毎月１回)。
・食材費の価格高騰を踏まえ各月の１食当たりの食材費平均単価を事業所ごとに計上し、情報共有と自己負担額の検討をしました。
・新型コロナウイルス感染症予防等の衛生指導。
・食事に関するアンケート（間食について、給食に対しての意見、感想)、給食だより３９号の発行。
・グループホーム職員、世話人向け研修の実施
・給食担当者全体会議・全体研修　※新型コロナウイルス感染症予防のため中止。(アンケートのみ実施)

（3）スポーツ・レクリエーション部会

令和４年度においても新型コロナウイルス感染症等の制限により予定していた事業を実施できない状況が続きました。

①　スポーツ・レクリエーションフェスティバルについて

※新型コロナウイルス感染拡大により中止としました。

②　スポ・レク企画行事（月１回土曜日開催予定)

・３回（６月２５日、７月２３日、１０月２２日）実施　会場：福祉プラザ プラザホール

※新型コロナウイルス感染拡大により他の企画予定は中止としました。

③　フットソフトボール競技全体会（月１回日曜日開催)

大野田小学校グラウンド（５月１５日、１０月１６日）開催

フットソフトボール競技強化練習会

宮城教育大学附属支援学校グラウンド５回開催。

北海道・東北ブロック大会出場（６月１９日)。岩手県にて開催。

岩手県チームと対戦、敗退。　尚、当日は雷雨により初戦を終えた時点で大会が終了となる。

東北地区親善交流フットソフトボール大会（中止）

（4）生活支援部会

テーマ「福祉のまちづくりの推進」

①くらしの場検討委員会；「将来の生活についての意識調査」の結果について、「ご家族の中でも情報（現在の法制度の状況や障がい福祉を取り巻く環境など）の量、質、内容に差がある」と考察をしました。直接ご本人やご家族に対して情報提供をする機会が多い法人内職員に対して、くらしの場についてのガイドブ

ックのようなものを作成して、現場からの情報提供等の向上をめざしました。
②健康管理検討委員会；利用者の健康を守るため、健康管理に対する職員の意識の向上に努めること、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の医療機関へスムーズに繋げられるようにすることを目的に活動しました。
③命を支える食検討委員会；「もぐもぐ通信」や児童向けの「もぐもぐ通信 for おり～ぶ」の発行を通し、グループホームや各施設、地域に向けた食に関する情報発信を行いました。コロナ禍ということもあり、対面での研修会ではなくアーカイブ方式での法人内職員向け研修会を行いました。
④豊かな余暇検討委員会；一般就労されている方を対象とした「おしゃべりサロン」について、当年度は２回（７月、２月）のみ実施することが出来ました。会食を伴わず、徹底した感染対策を取り、メンバー同士の交流とコミュニケーションを目的に行いました。今後も想いを受け止めながら孤立防止や心労の軽減を図っていきたいと思います。
（５）人財育成部会
法人内集合研修として、階層別研修及びブラザー・シスター制度担当者研修を実施しました。
※階層別研修
一級職員（全９回/各３回）全てリモート開催
「行動障害のある方への支援」
二級職員（全９回/各３回）①対面開催　②③リモート開催
「行動障害のある方への支援～チーアプローチ」
副主任（全６回/各２回）①対面開催　②③リモート開催
「チームリーダーとしてのリーダーシップ」
パート職員（動画視聴形式）
「利用者の権利擁護について～豊かな人生の自己実現のために」

※ブラザー・シスター制度担当者研修（全６回/各２回）対面／リモート併催
①「ブラザー・シスター制度担当者の役割」Ｒ３年度末に個別実施
②③④「導入期～自立期～活躍期の関わり方」

４．その他
（１）社会の啓発
①宮城県特別支援教育研究会への助成
②報道機関への情報提供活動
③法人ホームページの運用
（２）関係団体との連絡活動
①仙台市手をつなぐ育成会・家族会との緊密な連携による活動展開
②仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、宮城県知的障害者福祉協会、宮城県社会福祉法人経営者協議会、認定特定非営利活動法人　災害福祉広域支援ネットワークサンダーバード　など関係団体の行う社会福祉諸活動との緊密な連携による活動展開
（３）大会等参加活動
第５７回仙台市社会福祉大会共済（仙台市民会館　令和４年８月３１日）
（４）寄付金寄贈者（順不同・敬称略）〈物品寄付を含む〉
庄子清典、仙台市手をつなぐ育成会家族会、丸武建設株式会社武和会、大篭陽子、一般社団法人仙台建設業協会、斎藤博子、榊原紘、大友久子、市川成勝、町田祐佐、ワーキングギルド花梨保護者会、裏山本丁町内会、七十七愛の募金会、郷内はるい、工房しらかば保護者会、なかやま商店街振興組合、服部修、安彦和子、久保田知恵、こぶし保護者会、仙台いずみライオンズクラブ、とちのき保護者会、大野田町内会、西大野田町内会、大野田はぎの苑保護者会

別表１

苦情解決申し出

※問い合わせ相談など，窓口や電話の初期応対により解決した案件を除く。

施設名	受付日	苦情概要	苦情改善の概要	第三者委員	解決確認日	適正化委員会付議
工房けやき	令和４年１０月１３日	保護者より、以前にも伝えていたが、降所後に本人の下着が汚れており、着替えも渡していたのに職員から着替えがないと回答され、結果ロッカーに入っていたということがあったり、身だしなみが不十分、上履きを履いたまま降所させようとするなど対応が大雑把であると感じることがあった。改めて欲しい。	保護者がお迎えの際に主任と担当職員より、不快な思いをさせてしまったことをお詫び申し上げる。また、ご利用者様に対しての身体的な介助については丁寧に行いながら、日々報告をさせていただくことを伝え、ご了承いただいた。	不参加	令和４年１０月１３日	なし
ワ―キンググギルド花梨	令和４年１１月１７日	ご家族から、昨日配布されたプリントのコロナの状況の内容が欠席の為伝えられないまま当日を迎え、一緒になった保護者から内容を聞いた。わかっていれば本来なら欠席させるところだが登所させてしまった。との苦情が登所時にあり、そのまま利用せず帰宅した。	施設長不在であったため外出先からご自宅に連絡し欠席者に対しては後に連絡を入れ情報共有することになっていたが徹底されなかったこと。また、様々な疾病を抱える利用者、ご家族にとってはコロナについての情報は命に関わる重大なものである認識が不足していたことを重ねて謝罪し今後間違いを繰り返すことがないようにしていくことを約束し了承いただいた。	不参加	令和４年１１月１７日	なし
工房しらかば	令和５年１月１１日	十数年前、同じ作業班で活動していた利用者とトラブルになり、精神的な苦痛を得たとして、作業班を移動し普段も接点を持たないよう配慮していた方と、保護者の同意を得ずに作業班で活動する日があることに対し、連絡帳にて苦情が寄せられる。主訴としては、以前の出来事は非常に苦痛を強いられ、その後は接点を持たないよう配慮していたのに、なんですぐに伝えてくれなかったのか、相手の保護者も同じ作業班となることを許したのか、今回のことは非常に残念でこのままでは家庭崩壊につながる、第三者委員に申し出るかも悩んでいる、ということであった。	１１日夕方、ケース担当より今回の件に至った経緯と、ご本人の様子、作業班が同じなのは週２回で、部屋は別々で作業を行っていることを説明する。翌日、連絡帳にて保護者より、今回の件についてなぜ早く伝えて頂けなったのか非常に残念、との記載があったことから、同日施設長より保護者に連絡を入れ、改めてこれまでの経緯と今後の対応について説明し謝罪する。今後についても同じ作業種目であっても、作業空間は別々に確保するなどの配慮を行いながら活動することでご理解していただく。	不参加	令和５年１月１２日	なし
工房けやき	令和５年１月２５日	保護者より、降所時に本人の携帯電話から連絡があり、本日急遽少し早めの降所時間となったとのことで、迎えに来たが事業所や担当職員からの連絡が一切なかった。このご時世で何があるかわからないのに、一体どう考えているのか。早めに降所となる旨を本人の電話をするタイミングで代わって説明するなどあって然るべきである。と話があった。	当日夕方に施設長、主任でご自宅へ訪問し説明不足であったことと、対応が不十分であった旨を謝罪し、ご了承いただく。実際は該当利用者は早帰りではなかったが、ご本人への説明と保護者への説明の双方で不十分であったことが要因であったため、以後徹底していくことをお伝えした。	不参加	令和５年１月２５日	なし
ホ―プすずかけ	令和５年２月１日	１月３１日(火)に特定費用である利用者負担金の領収書を発行した内容が、１２月の内容であった。 本来１１月分の発行となる為、正しい領収書を発行すると共に、訂正文を出してほしいとの苦情が入った。	直ちに１月３１日(火)に発行した領収書を確認した。謝罪文書と共に１１月分の領収書を各ご家庭に配付し対応することで、了承を得た。	不参加	令和５年２月１日	なし

【事業所名　：大野田はぎの苑　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	40	52	4	3	入所施設へ移行、介護保険施設へ移行、死亡	40.5	4.6	241	45.9	5 ： 1	5 ： 1	3.0 ： 1
令和4年度	40	50	0	2	日中支援型GHへ移行、死亡	40.9	4.7	237	44.9	5 ： 1	5 ： 1	3.2 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者 介護保険
令和3年度	男	0	0	0	2	13	10	4	29	24	2	3	3	5	7	6	6	2	0	0	0	29	0
	女	0	0	0	2	7	9	5	23	22	1	0	0	6	4	5	5	3	0	0	0	23	0
	計	0	0	0	4	20	19	9	52	46	3	3	3	11	11	11	11	5	0	0	0	52	0
	延利用数	0	0	0	952	4625	3684	1824	11085														
令和4年度	男	0	0	0	1	12	9	5	27	25	2	0	0	8	7	5	6	1	0	0	0	27	0
	女	0	0	0	1	8	8	6	23	22	1	0	0	6	4	5	5	3	0	0	0	23	0
	計	0	0	0	2	20	17	11	50	47	3	0	0	14	11	10	11	4	0	0	0	50	0
	延利用数	0	0	0	606	4169	3522	2348	10645														

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	29	1	2	2	2	2	2	3	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5,220,000	2	5,397,740
	女	23		3	2	1	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7		2	
	計	52	1	5	4	3	3	3	6	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14		4	
令和4年度	男	27	1	2	2	2	2	2	3	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4,860,000	5	9,823,666
	女	23		3	2	1	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		5	
	計	50	1	5	4	3	3	3	6	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13		10	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	9,279	469	719	228		10,695	2,996,560	3,327,214
令和4年度	8,135	692	668	226		9,721	2,724,680	3,024,203

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
6	6	4	11,476	Ⅰ	2,499,128
6	6	4	10,853	Ⅰ	2,363,457

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	4	0	0	5	0	0		無	Ⅰ	無	Ⅰ
	女	11	1	1	7	1	1	転職				
	計	15	1	1	12	1	1					
令和4年度	男	4	0	0	5	1	1		無	Ⅰ	無	Ⅱ
	女	10	1	0	7	0	1					
	計	14	1	0	12	1	2					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	5	4	1	1	3	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0		専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	27
	非	2	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 17 人） 総時間数（ 606.0 h）															4	1	1	3	1		
令和4年度	正	3	5	1	2	3	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0		専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	26
	非	2	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 16 人） 総時間数（ 564.0 h）															4	1	1	3	1		

【事業所名　：工房しらかば　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	40	54	2	1	介護保険に移行	41.2	4.8	248	48.3	5 ： 1	5 ： 1	2.5 ： 1
令和4年度	40	52	0	1	死亡	42.7	4.8	241	46.1	5 ： 1	5 ： 1	2.5 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者 介護保険
令和3年度	男	0	0	0	2	10	11	7	30	24	6	0	0	8	7	5	9	0	0	0	1	30	0
	女	0	0	0	1	7	9	7	24	13	10	0	1	5	4	6	3	2	1	1	0	23	0
	計	0	0	0	3	17	20	14	54	37	16	0	1	13	11	11	12	2	1	1	1	53	0
	延利用数	0	0	0	705	3746	4841	2674	11966														
令和4年度	男	0	0	0	2	10	12	6	30	23	6	0	0	8	6	5	9	0	0	0	1	29	0
	女	0	0	0	1	6	8	7	22	13	10	0	0	6	4	5	3	2	2	1	0	23	0
	計	0	0	0	3	16	20	13	52	36	16	0	0	14	10	10	12	2	2	1	1	52	0
	延利用数	0	0	0	772	2905	4731	2705	11113														

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	28	7	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	900,000	13	13,755,824
	女	17	2	5	1	1	0	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2		12	
	計	45	9	7	1	1	1	3	1	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3		25	
令和4年度	男	27	7	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,800,000	14	10,370,829
	女	16	2	5	1	1	0	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3		11	
	計	43	9	7	1	1	1	3	1	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5		25	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	7,461	691	698	137	2,848	11,835	3,313,800	3,675,024
令和4年度	5,969	754	643	0	3,507	10,960	3,068,800	3,382,590

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
5	5	5	13,425	(Ⅰ)・Ⅱ	6,821,645
6	6	6	13,807	(Ⅰ)・Ⅱ	7,015,750

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	6	1	1	7	1	0	自己都合により	無	Ⅰ	無	Ⅱ
	女	7	2	0	14	2	2					
	計	13	3	1	21	3	2					
令和4年度	男	7	0	2	10	1	0	自己都合により	無	Ⅰ	無	Ⅱ
	女	7	2	0	13	1	1					
	計	14	2	2	23	2	1					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	5	2	0	3	2	0	5	2	0	2	0	0	0	2	0		専・兼	(専)・兼		(専)・兼	(専)・兼		36
	非	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	(専)・兼	(専)・兼		(専)・兼				
	計	実人数（ 23 人） 総時間数（ 769.5 h）															4	1	1	5	1	1		
令和4年度	正	4	3	0	1	2	0	7	2	2	1	0	0	0	0	0		専・兼	専・(兼)		(専)・兼	(専)・兼		37
	非	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	(専)・兼	(専)・兼		(専)・兼				
	計	実人数（ 22 人） 総時間数（ 725.3 h）															6	1	1	5	1	1		

【事業所名　：こぶし　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	35	44	1	1	ご家庭の都合	38.4	4.3	243	38.1	5 ： 1	5 ： 1	3.8 ： 1
令和4年度	35	44	1	0		39.8	4	245	38.3	5 ： 1	5 ： 1	3.4 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者 介護保険
令和3年度	男	0	0	0	4	9	6	3	22	13	9	0	0	8	5	6	3	0	0	0	0	22	0
	女	0	0	0	5	9	5	3	22	13	9	0	0	5	4	6	5	0	0	0	2	22	2
	計	0	0	0	9	18	11	6	44	26	18	0	0	13	9	12	8	0	0	0	2	44	2
	延利用数	0	0	0	1983	3745	2269	1237	9234														
令和4年度	男	0	0	0	4	9	6	3	22	11	9	2	0	8	5	6	3	0	0	0	0	22	0
	女	0	0	0	5	10	4	3	22	13	8	1	0	5	4	6	5	0	0	0	2	22	2
	計	0	0	0	9	19	10	6	44	24	17	3	0	13	9	12	8	0	0	0	2	44	2
	延利用数	0	0	0	1729	4301	1971	1376	9377														

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	16	6	4	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	3	2,880,000	9	7,080,720
	女	14	8	5	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5		3	
	計	30	14	9	0	0	0	0	2	5	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	8		12	
令和4年度	男	18	4	4	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4	2,580,000	6	5,114,898
	女	15	7	5	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4		4	
	計	33	11	9	0	0	0	0	3	3	0	1	1	1	0	2	1	1	0	0	0	8		10	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	7,436	1,109	0	0	0	8,545	2,404,640	2,658,349
令和4年度	5,760	2,060	0	0	0	7,820	2,203,880	2,432,802

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
4	4	3	9,333	Ⅰ	2,032,447
5	4	2	8,818	Ⅰ	1,920,295

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	5	1	0	3	0	1		無	Ⅰ	無	Ⅱ
	女	4	0	0	9	1	1					
	計	9	1	0	12	1	2					
令和4年度	男	5	0	0	2	0	1		無	Ⅰ	無	Ⅱ
	女	5	0	0	8	0	2					
	計	10	0	0	10	0	3					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	2	4	0	0	4	0	3	2	2	0	0	0	0	1	0		専・兼	専・(兼)		(専)・兼	(専)・兼	21
	非	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	(専)・兼	(専)・兼		(専)・兼			
	計	実人数（ 12 人） 総時間数（ 396.0 h）															3	1	1	2	1	1	
令和4年度	正	1	4	1	1	3	0	3	1	2	1	0	0	0	2	0		専・兼	専・(兼)		(専)・兼	(専)・兼	21
	非	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	(専)・兼	(専)・兼		(専)・兼			
	計	実人数（ 13 人） 総時間数（ 456.0 h）															2	1	1	2	1	1	

【事業所名　：　工房けやき　／　事業名　：　生活介護】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	36	43	1	1	死亡	38.7	4.6	244	38.2	5 ： 1	1.7 ： 1	3.6 ： 1
令和4年度	36	41	0	2	他事業所移行	39.2	4.7	245	35.4	5 ： 1	1.7 ： 1	3.4 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者 介護保険
令和3年度	男	0	0	0	2	9	9	4	24	18	5	1	1	8	4	8	2	1	0	0	0	24	0
	女	0	0	0	1	8	6	4	19	9	10	0	0	3	4	8	4	0	0	0	0	19	0
	計	0	0	0	3	17	15	8	43	27	15	1	1	11	8	16	6	1	0	0	0	43	0
	延利用数	0	0	0	611	4268	2987	1422	9288														
令和4年度	男	0	0	0	2	9	9	4	24	18	5	0	0	9	3	9	1	0	1	0	0	23	0
	女	0	0	0	1	8	6	4	19	9	9	0	0	2	4	6	6	0	0	0	0	18	0
	計	0	0	0	3	17	15	8	43	27	14	0	0	11	7	15	7	0	1	0	0	41	0
	延利用数	0	0	0	583	3764	2397	1915	8659														

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	21	3	3	2	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2,880,000	3	1,778,866
	女	14	5	1	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4		1	
	計	35	8	4	2	1	1	4	2	5	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8		4	
令和4年度	男	20	3	2	2	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3,780,000	3	2,021,524
	女	13	5	1	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4		1	
	計	33	8	3	2	1	1	4	2	5	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	11		4	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	6,109	1,822	455	0	0	8,386	2,348,360	2,608,885
令和4年度	5,796	1,785	427	0	0	8,008	2,242,520	2,491,289

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
3	3	2（支援P兼）	9,497	Ⅰ	2,068,162
3	3	2（支援P兼）	9,343	Ⅰ	2,034,625

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	5	0	0	1	0	0		無	Ⅰ	無	Ⅰ
	女	4	0	0	6	0	0					
	計	9	0	0	7	0	0					
令和4年度	男	5	0	0	1	0	0		無	Ⅰ	無	Ⅰ
	女	4	1	2	6	0	1	一身上の都合				
	計	9	1	2	7	0	1					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	2	2	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0		専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	16
	非	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 12 人） 総時間数（ 421.0 h）															4	1	1	1	1	1	
令和4年度	正	2	1	1	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0		専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	16
	非	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 12 人） 総時間数（ 416.5 h）															4	1	1	1	1	1	

【事業所名　：とちのき　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	20	20	1	1	他事業所へ移動	36.9	5	246	16.8	3 ： 1	2 ： 1	1.4 ： 1
令和4年度	20	22	2	1	他事業所へ移動	37.9	5.3	240	19.3	3 ： 1	2 ： 1	1.6 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和3年度	男	0	0	0	0	3	2	8	13	11	1	1	1	3	7	1	1	0	0	0	0	13	0	
	女	0	0	0	0	2	2	3	7	7	0	0	0	1	1	2	3	0	0	0	0	7	0	
	計	0	0	0	0	5	4	11	20	18	1	1	1	4	8	3	4	0	0	0	0	20	0	
	延利用数	0	0	0	0	1293	841	2183	4317															
令和4年度	男	0	0	0	0	2	4	8	14	13	1	0	0	4	8	1	1	0	0	0	0	14	0	
	女	0	0	0	0	3	2	3	8	8	0	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	8	0	
	計	0	0	0	0	5	6	11	22	21	1	0	0	5	9	3	5	0	0	0	0	22	0	
	延利用数	0	0	0	0	1252	1057	2318	4627															

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	11	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1,440,000	6	6,408,649
	女	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2		1	
	計	19	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	5		7	
令和4年度	男	13	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2,100,000	5	3,694,643
	女	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		2	
	計	21	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6		7	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	1,958	852	404	0	0	3,214	904,440	999,875
令和4年度	1,796	1,264	364	0	0	3,424	940,020	1,065,206

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
4	4	3	7,706	Ⅰ	3,915,649
4	4	3	8,435	Ⅰ	4,286,076

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	4	0	0	4	0	0		Ⅰ	Ⅱ	無	Ⅱ
	女	6	1	1	6	0	2	私事により				
	計	10	1	1	10	0	2					
令和4年度	男	3	0	0	4	0	1		Ⅰ	Ⅱ	無	Ⅱ
	女	7	1	1	4	1	2	私事により				
	計	10	1	1	8	1	3					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	1	2	0	1	2	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0		専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	20
	非	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 15 人） 総時間数（ 470.6 h）															3	1	0	0	1	1	
令和4年度	正	2	2	0	2	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0		専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	18
	非	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 13 人） 総時間数（ 468.8 h）															3	1	0	0	1		

【事業所名　：　ホープすずかけ　　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	40	50	2	1	介護保険へ移行	39.0	6	241	47.1	3 ： 1	1.7 ： 1	1.7 ： 1
令和4年度	40	52	2	0	介護保険へ移行	40.0	5.5	246	46.0	3 ： 1	1.7 ： 1	1.6 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者 介護保険
令和３年度	男	0	0	0	0	5	8	24	37	37	0	0	0	7	15	6	7	2	0	0	0	37	0
	女	0	0	0	0	1	3	9	13	12	0	1	1	0	7	1	3	0	1	0	0	13	0
	計	0	0	0	0	6	11	33	50	49	0	1	1	7	22	7	10	2	1	0	0	50	0
	延利用数	0	0	0	0	1492	2417	7439	11348														
令和4年度	男	0	0	0	0	4	9	26	39	36	2	1	1	7	16	3	10	1	1	0	0	39	0
	女	0	0	0	0	1	4	8	13	13	0	0	0	1	6	2	3	1	0	0	0	13	0
	計	0	0	0	0	5	13	34	52	49	2	1	1	8	22	5	13	2	1	0	0	52	0
	延利用数	0	0	0	0	1307	2863	7122	11292														

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和３年度	男	35	2	11	0	1	0	3	3	2	0	0	6	0	0	0	1	0	1	1	0	11	4,830,000	18	16,850,213
	女	13	0	5	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	7		4	
	計	48	2	16	0	1	0	4	4	4	0	0	7	0	1	0	2	0	1	1	0	18		22	
令和4年度	男	36	3	11	0	1	0	3	3	2	0	0	6	0	0	0	1	0	1	1	0	12	5,580,000	21	11,390,107
	女	13	0	5	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	6		4	
	計	49	3	16	0	1	0	4	4	4	0	0	7	0	1	0	2	0	1	1	0	18		25	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	7,309	1,582	2,069	0	0	10,960	3,068,525	3,409,656
令和4年度	7,089	1,718	1,975	0	0	10,850	3,038,000	3,375,435

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
11	11	6	19,197	Ⅰ・Ⅱ	9,620,425
11	11	6	18,887	Ⅰ・Ⅱ	9,597,051

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和３年度	男	15	3	1	6	1	1	健康不調のため	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
	女	10	1	0	21	1	3					
	計	25	4	1	27	2	4					
令和4年度	男	14	1	0	6	0	0		Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
	女	9	3	1	21	1	1	一身上の都合により				
	計	23	4	1	27	1	1					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	9	3	0	1	3	3	7	0	0	0	0	0	0	3	1		専・兼	専・(兼)		(専)・(兼)	(専)・(兼)	52
	非	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5	4	専・(兼)	専・(兼)		専・(兼)			
	計	実人数（ 37 人）						総時間数（ 1947.0 h）									6	1	1	5	1	1	
令和4年度	正	9	4	0	3	6	2	6	0	0	0	0	0	0	1	1		専・兼	専・(兼)		専・(兼)	専・(兼)	51
	非	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	6	4	専・(兼)	専・(兼)		専・(兼)			
	計	実人数（ 37 人）						総時間数（ 1158.5 h）									6	1	1	4	1	1	

【事業所名　：　ホープすずかけ　　／　事業名　：　就労継続事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和３年度	10	11	1	1	事業所変更	35.1	3.0	241	2,368	9.9	10 ： 1	7.5 ： 1	4.0 ： 1
令和4年度	10	9	0	1	事業所変更	35.3	3.0	246	2,019	8.5	10 ： 1	7.5 ： 1	3.4 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和３年度	男	2	0	0	3	6	0	0	11	5	4	2	0	4	4	1	1	1	0	0	0	11	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2	0	0	3	6	0	0	11	5	4	2	0	4	4	1	1	1	0	0	0	11	0	
令和4年度	男	1	0	1	3	4	0	0	9	5	4	0	0	3	4	1	0	0	1	0	0	9	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	1	0	1	3	4	0	0	9	5	4	0	0	3	4	1	0	0	1	0	0	9	0	

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時間
令和3年度	男	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,813	6.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
令和4年度	男	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,056	6.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	2,130	236	0	0	0	2,366	662,480	733,933
令和4年度	1,806	221	0	0	0	2,042	571,760	633,428

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
2	3	2	2,172	Ⅰ	471,628
2	3	2	2,141	Ⅰ	464,897

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置加算	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加算
令和３年度	男	3	0	0	6	0	0		有	Ⅱ	Ⅰ	無
	女	2	0	0	7	1	1					
	計	5	0	0	13	1	1					
令和4年度	男	2	0	0	6	0	0		有	Ⅱ	Ⅰ	無
	女	2	0	0	7	0	0					
	計	4	0	0	13	0	0					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	強度行動障害支援者基礎・実践研修	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			専・兼	専・(兼)	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	18
	非	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)			
	計	実人数（　5　人）　総時間数（ 101.0 h）														0	6	1	1	3	1	1	
令和4年度	正	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			専・兼	専・(兼)	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	18
	非	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)			
	計	実人数（　4　人）　総時間数（ 101.0 h）														0	6	1	1	4	1	1	

【事業所名　：ワーキングギルド花梨　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	30	37	1	0		38.1	5	238	34.5	5 ： 1	5 ： 1	3.8 ： 1
令和4年度	30	37	1	1	他事業所へ移動	39.1	4.9	240	33.5	5 ： 1	5 ： 1	3.2 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和3年度	男	0	0	0	0	9	9	6	24	14	8	2	1	6	7	9	1	0	0	0	0	24	0	
	女	0	0	0	0	4	6	3	13	9	4	0	0	3	3	3	3	1	0	0	0	13	0	
	計	0	0	0	0	13	15	9	37	23	12	2	1	9	10	12	4	1	0	0	0	37	0	
	延利用数	0	0	0	0	3213	3028	1967	8208															
令和4年度	男	0	0	0	0	8	9	6	23	13	8	2	1	6	6	9	1	0	0	0	0	23	0	
	女	0	0	0	0	4	7	3	14	10	4	0	0	3	3	4	3	1	0	0	0	14	0	
	計	0	0	0	0	12	16	9	37	23	12	2	1	9	9	13	4	1	0	0	0	37	0	
	延利用数	0	0	0	0	2607	3386	2035	8028															

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	16	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2,970,000	3	3,505,963
	女	11	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3		2	
	計	27	9	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7		5	
令和4年度	男	17	6	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2,010,000	8	7,957,460
	女	12	2	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2		2	
	計	29	8	4	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	5		10	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	6,160	904	1,113	0	0	8,177	2,289,560	2,533,280
令和4年度	5,527	876	1,042	0	0	7,445	2,084,600	2,295,918

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
4	4	4	7,028	1	1,530,480
4	4	4	6,975	1	1,518,945

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	4	2	1	2	0	1	進学の為	無	1	無	有
	女	6	1	1	5	0	0	体調不良の為				
	計	10	3	2	7	0	1					
令和4年度	男	4	2	1	3	2	1	体調不良の為	無	1	無	有
	女	8	1	0	4	3	4					
	計	12	3	1	7	5	5					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	5	1	0	0	2	2	2	0	1	0	0	0	0	1	0		専・兼	専・(兼)		専・(兼)	専・(兼)	17
	非	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	専・(兼)	専・(兼)		専・(兼)			
	計	実人数（ 10 人） 総時間数（ 360.0 h）															1	1	1	2	1	1	
令和4年度	正	3	0	0	1	5	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0		専・兼	専・(兼)		専・(兼)	専・(兼)	19
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	専・(兼)	専・(兼)		専・(兼)			
	計	実人数（ 12 人） 総時間数（ 425.0 h）															2	1	1	1	1	1	

【事業所名　：　ワーキングギルド花梨　／　事業名　：　就労継続B型事業　】　　令和５年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和３年度	10	7	0	0		48.4	3.4	239	1,624	6.8	7.5 ： 1	7.5 ： 1	2.5 ： 1
令和４年度	10	7	0	0		49.4	3.4	242	1,568	6.7	7.5 ： 1	7.5 ： 1	2.5 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和３年度	男	0	0	1	1	3	0	0	5	0	5	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	5		0
	女	0	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2		0
	計	0	0	1	2	4	0	0	7	1	6	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	7		0
令和４年度	男	0	0	1	1	3	0	0	5	0	5	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	5		0
	女	0	0	0	1	1	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2		0
	計	0	0	1	2	4	0	0	7	1	7	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	7		0

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時間
令和３年度	男	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	39,352	5.0
	女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
令和４年度	男	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	43,375	5.0
	女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	1,621	0	0	0	0	1,621	453,880	502,207
令和４年度	1,511	0	0	0	0	1,511	423,080	468,712

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
4	1	1	228	1	49,500
4	1	1	223	1	48,422

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置加算	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加算
令和３年度	男	3	1	0	1	0	0		有	無	Ⅰ	無
	女	2	0	1	4	0	1	体調不良の為				
	計	5	1	1	5	0	1					
令和４年度	男	3	0	0	2	1	1		有	無	Ⅰ	無
	女	2	0	0	3	2	3					
	計	5	0	0	5	3	4					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	強度行動障害支援者基礎・実践研修	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	11
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 3 人） 総時間数（ 102.5 h）														1	1	1	1	2	1	1	
令和４年度	正	2	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	11
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 3 人） 総時間数（ 106.2 h）														1	2	1	1	1	1	1	

【事業所名　：　工房かやの実　／　事業名　：　就労継続B型事業　】　　令和５年3月末日時点

１．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	１日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和３年度	40	43	0	2	他施設への異動	38.3	3.2	272	9,371	34.4	7.5 ： 1	6 ： 1	2.4 ： 1
令和４年度	40	45	4	2	他施設への異動	41.1	3.3	276	9,721	35.2	7.5 ： 1	6 ： 1	2.2 ： 1

２．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	険利
令和３年度	男	4	0	2	10	9	0	0	25	9	15	1	0	8	3	11	2	0	2	0	0	26	0
	女	1	0	3	6	7	1	0	18	9	9	0	0	2	2	12	1	0	0	0	0	17	0
	計	5	0	5	16	16	1	0	43	18	24	1	0	10	5	23	3	0	2	0	0	43	0
令和４年度	男	6	0	2	10	10	1	0	29	10	16	3	2	8	1	11	4	0	2	0	0	28	0
	女	1	0	3	7	5	0	0	16	6	9	1	1	1	2	10	3	0	0	0	0	17	0
	計	7	0	5	17	15	1	0	45	16	25	4	3	9	3	21	7	0	2	0	0	45	0

３．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時
令和３年度	男	11	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	360,000	15,399	6.0
	女	10	8	4	3	0	0	0	0	3	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0			
	計	21	22	4	3	0	0	0	0	3	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1			
令和４年度	男	12	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	360,000	15,415	6.0
	女	8	9	4	3	0	0	0	0	3	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0			
	計	20	25	4	3	0	0	0	0	3	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1			

４．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	8,411	0	0	0	0	8,411	2,355,080	2,609,092
令和４年度	8,717	0	0	0	0	8,717	2,440,760	2,704,013

５．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0

６．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加
令和３年度	男	7	1	0	1	0	0		有	Ⅱ	Ⅰ	無
	女	4	2	1	12	1	0	自己都合による退職（転職）				
	計	11	3	1	13	1	0					
令和４年度	男	8	0	0	1	0	0		有	Ⅱ	Ⅰ	無
	女	3	0	3	12	1	2	自己都合による退職（転職）				
	計	11	0	3	13	1	2					

７．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	基礎・実践研修 強度行動障害支援者	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	1	2	0	2	4	0	1	1	2	0	0	0	0	2			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	24
	非	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 17 人） 総時間数（ 581 h）														0	0	1	1	3	1	1	
令和４年度	正	2	2	0	2	5	0	1	3	2	0	0	0	0	2			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	24
	非	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 17 人） 総時間数（ 642 h）														0	0	1	1	3	1	1	

【事業所名　：　くるみの木　／　事業名　：　就労継続B型事業　】　　令和５年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	指定配置	実配置
令和３年度	20	26	1	2	就職活動、施設間移動	39.5	2.1	287	5,403	18.9	10 ： 1	6 ： 1	2.1 ： 1
令和４年度	20	27	2	1	死亡	38.7	2.2	298	5,310	17.9	10 ： 1	6 ： 1	2.3 ： 1

2．状況内訳　　*315÷40=7.875　27÷7.875

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和３年度	男	2	0	7	2	5	0	0	16	3	13	0	0	6	1	7	1	1	0	0	0	16	0	
	女	5	0	0	5	0	0	0	10	1	8	1	1	0	4	4	1	0	0	0	0	10	0	
	計	7	0	7	7	5	0	0	26	4	21	1	1	6	5	11	2	1	0	0	0	26	0	
令和４年度	男	2	0	6	2	5	0	0	15	3	12	0	0	5	2	3	5	0	0	0	0	15	0	
	女	5	0	1	5	0	1	0	12	1	10	1	1	1	4	4	2	0	0	0	0	12	0	
	計	7	0	7	7	5	1	0	27	4	22	1	1	6	6	7	7	0	0	0	0	27	0	

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時間
令和３年度	男	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,963	5.3
	女	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	11	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
令和４年度	男	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,273	5.0
	女	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
	計	12	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	4,436	0	0	0	0	4,436	1,254,120	1,376,044
令和４年度	4,782	0	0	0	0	4,782	1,338,960	1,457,626

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置加算	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加算
令和３年度	男	2	0	0	1	0	0		有	無	Ⅰ	無
	女	6	1	0	6	0	0					
	計	8	1	0	7	0	0					
令和４年度	男	2	0	0	1	0	0		有	無	Ⅰ	無
	女	5	0	0	6	0	0					
	計	7	0	0	7	0	0					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	基礎・実践研修 強度行動障害支援者	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	0	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2			専・兼	専・兼		専・兼	専・兼	15
	非	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	専・兼	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 11 人）							総時間数（ 359.0 h）							0	0	1	1	1	1		
令和４年度	正	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	14
	非	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 10 人）							総時間数（ 315.0 h）							0	0	1	1	1	1		

【事業所名　：　コキア　／　事業名　：　就労継続B型事業　】　　令和５年3月末日時点

１．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和３年度	20	28	5	0		49.2	3.0	359	6,415	17.8	10 ： 1	6 ： 1	2.1 ： 1
令和４年度	20	27	0	2	① 就職(中途)②在宅を希望	50.1	3.0	360	6,184	17.2	10 ： 1	6 ： 1	2.0 ： 1

２．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和３年度	男	10	3	4	5	1	0	0	23	1	23	0	0	2	2	7	9	2	1	0	0	23	0	
	女	0	1	2	2	0	0	0	5	2	2	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	5	0	
	計	10	4	6	7	1	0	0	28	3	25	0	0	2	2	10	9	3	2	0	0	28	0	
令和４年度	男	9	3	4	5	1	0	0	22	1	22	0	0	1	2	7	9	2	1	0	0	22	0	
	女	0	1	2	2	0	0	0	5	2	2	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	5	0	
	計	9	4	6	7	1	0	0	27	3	24	0	0	1	2	10	9	3	2	0	0	27	0	

３．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時間
令和３年度	男	3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37,966	8.0
	女	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	6	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
令和４年度	男	3	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.658	8.0
	女	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	6	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

４．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和４年度	0	0	0	0	0	0	0	0

５．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0

６．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置加算	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加算
令和３年度	男	11	1	1	0	0	0	本人都合による	有	無	Ⅲ	無
	女	1	0	0	0	0	0					
	計	12	1	1	0	0	0					
令和４年度	男	11	0	0	0	0	0		有	無	Ⅲ	無
	女	1	0	0	0	0	0					
	計	12	0	0	0	0	0					

７．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	強度行動障害支援者基礎・実践研修	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	1	1	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	4			兼	専・兼	専・兼	専	専	12
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 9 人）							総時間数（ 344.0 h）							0	0	1	0	0	1	1	
令和４年度	正	1	1	0	0	6	1	0	1	0	0	0	0	0	3			兼	専・兼	専・兼	専	専	12
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 9 人）							総時間数（ 344.0 h）							0	0	1	0	0	1	1	

【事業所名　：　コキア　／　事業名　：　就労継続A型事業　】　　令和５年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	指定配置	実配置
令和３年度	10	8	2	1	定年退職	44.5	2.0	239	1,774	7.4	10 ： 1	7.5 ： 1	5.2 ： 1
令和４年度	10	8	1	0		41.2	2.0	240	1,814	7.7	10 ： 1	7.5 ： 1	5.5 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和３年度	男	5	0	1	2	0	0	0	8	0	8	0	0	1	3	0	3	1	0	0	0	8	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	5	0	1	2	0	0	0	8	0	8	0	0	1	3	0	3	1	0	0	0	8	0	
令和４年度	男	5	0	1	2	0	0	0	8	0	8	0	0	2	3	0	3	0	0	0	0	8	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	5	0	1	2	0	0	0	8	0	8	0	0	2	3	0	3	0	0	0	0	8	0	

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時間
令和３年度	男	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,737	6.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
令和４年度	男	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	124,761	6.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和４年度	0	0	0	0	0	0	0	0

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置加算	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加算
令和３年度	男	5	0	0	0	0	0		無	無	Ⅲ	無
	女	0	0	0	0	0	0					
	計	5	0	0	0	0	0					
令和４年度	男	5	0	0	0	0	0		無	無	Ⅲ	無
	女	0	0	0	0	0	0					
	計	5	0	0	0	0	0					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	強度行動障害支援者基礎・実践研修	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			兼	専・兼	専・兼	専	専	5
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 2 人） 総時間数（ 56.0 h）														0	0	1	0	0	1	1	
令和４年度	正	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			兼	専・兼	専・兼	専	専	5
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 2 人） 総時間数（ 56.0 h）														0	0	1	0	0	1	1	

【事業所名　：　仙台ふきのとう　／　事業名　：　包括型共同生活援助　】　　令和５年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入居者	退居者	退所理由	人員配置	世話人配置状況		生活支援員配置状況	
							必要数	実配置	必要数	実配置
令和３年度	64	64	0	0		4 : 1	14.5	14.6	11.9	17.4
令和４年度	64	57	1	8	GH異動、単身生活、実家戻り	4 : 1	13.6	14.1	11.9	17.9

2．状況内訳

		障害支援区分								年金			年齢区分（歳）									
		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	1級	2級	無	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計
令和３年度	男	1	3	6	6	8	6	9	39	22	16	1	0	2	12	11	7	5	1	1	0	39
	女	0	0	0	3	7	8	7	25	13	11	1	0	1	4	7	8	1	1	1	2	25
	計	1	3	6	9	15	14	16	64	35	27	2	0	3	16	18	15	6	2	2	2	64
令和４年度	男	1	1	7	3	5	6	10	33	22	11	0	0	1	11	6	9	2	4	0	0	33
	女	0	0	0	3	7	9	5	24	12	11	1	0	1	3	8	7	1	0	2	2	24
	計	1	1	7	6	12	15	15	57	34	22	1	0	2	14	14	16	3	4	2	2	57

3．障害の状況

		療育手帳		身体障害者手帳(級)											精神手帳	医療ケア					車椅子利用者	延利用者数	介護保険利用者
		A	B	身体	聴覚	視覚	内部	1	2	3	4	5	6	7		インスリン	人工透析	在宅酸素	胃ろう	その他			
令和３年度	男	21	19	4	1	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	12,893	0
	女	16	8	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	8,235	2
	計	37	27	6	1	0	0	0	3	0	1	2	1	0	2	2	0	1	0	0	2	21,128	2
令和４年度	男	21	12	4	1	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11,790	0
	女	14	10	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	8,050	2
	計	35	22	6	1	0	0	0	3	0	1	2	1	0	1	2	0	1	0	0	2	19,840	2

4．食事提供状況

	延べ食数				
	普通	一口大	柔らか	ペースト	合計
令和３年度	34517	6123	1286	0	41926
令和４年度	29032	8427	2830	0	40289

ホーム名	夜間支援体制加算		福祉専門職員配置加算		重度障害者支援加算		医療連携体制加算	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
ふきのとう	III	III	I	I				
やまぼうし	III	III	I	I				
樫の木	I	I	I	I				
コナラ	I	I	I	I				
緑	III	III	I	I				
松の木	I	I	I	I				
ゆずの木	I	I	I	I				
くりの木	I	I	I	I				
たもの木	I	I	I	I			VII	VII
もちの木	I	I	I	I			VII	VII
楓	III	III	I	I				

6．職員状況

		正規				非正規				正規職員退職理由
		総数	新規	年央退職	年度末退職	総数	新規	年央退職	年度末退職	
令和３年度	男	10	1	0	0	16	1	1	0	
	女	8	0	0	2	55	7	3	1	自己都合
	計	18	1	0	2	71	8	4	1	
令和４年度	男	11	1	0	0	15	1	3	1	
	女	9	0	0	2	57	4	2	1	自己都合
	計	20	1	0	2	72	5	5	2	

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員														その他						合計実人数
		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	ヘルパー（初研）	ヘルパー（実務研）	喀痰・実践研修	強度行動障害支援者	相談初任研	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	医師	看護師	事務員	栄養士	管理者	サービス管理責任者	
令和３年度	正	5	3	0	1	8	3	7	4	2	0	0	0	0	1		専・兼	専・兼	専・兼	専1兼1	専1兼1	89
	非	8	1	0	1	35	4	0	0	0	0	0	0	0	30	兼	専・兼	専2兼1				
	計	実人数（ 84 人）						総時間数（ 2236.3 h）								1	0	2.5	0	1.5	1.5	
令和４年度	正	7	4	0	1	6	3	7	3	1	0	0	0	0	1		専・兼	専・兼	専・兼	専1兼1	専1兼1	92
	非	8	1	0	1	30	3	1	0	0	0	0	0	0	30	兼	専1	専2兼1				
	計	実人数（ 87 人）						総時間数（ 2034.8 h）								1	1	2.5	0	1.5	1.5	

【事業所名　：太白障害者福祉センター　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	9	14	0	1	死亡	35.0	5.5	242	3.2	3 ： 1	1.7 ： 1	0.8 ： 1
令和4年度	6	13	1	4	他事業所へ異動のため	34.3	5.6	247	2.4	3 ： 1	1.7 ： 1	0.6 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和3年度	男	0	0	0	0	1	1	6	8	7	1	0	0	4	3	1	0	0	0	0	0	8	0	
	女	0	0	0	0	1	2	3	6	6	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	6	0	
	計	0	0	0	0	2	3	9	14	13	1	0	0	5	5	2	2	0	0	0	0	14	0	
	延利用数	0	0	0	0	9	265	504	778															
令和4年度	男	0	0	0	0	1	0	7	8	7	1	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	8	0	
	女	0	0	0	0	1	1	3	5	5	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	5	0	
	計	0	0	0	0	2	1	10	13	12	1	0	0	5	4	3	1	0	0	0	0	13	0	
	延利用数	0	0	0	0	14	91	485	590															

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	7	1	7	1	0	0	5	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
	女	6	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0		0	
	計	13	1	9	1	0	0	7	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0		0	
令和4年度	男	7	1	6	1	0	0	5	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
	女	5	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0		0	
	計	12	1	8	1	0	0	7	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0		0	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	228	337	90	26	0	681	204,300	211,859
令和4年度	264	181	90	0	0	535	160,500	166,439

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
3	3	-	1,301	II	134,914
3	3	-	915	II	94,886

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	2	0	0	0	0	0		I	III	無	無
	女	2	0	1	2	0	0	一身上の都合				
	計	4	0	1	2	0	0					
令和4年度	男	2	0	0	0	0	0		I	III	無	無
	女	2	0	2	2	0	0	一身上の都合				
	計	4	0	2	2	0	0					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0		専・(兼)	専・兼		専・(兼)	専・(兼)	7
	非	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 4 人） 総時間数（ 167.5 h）															0	1	0	0	1	1	
令和4年度	正	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0		専・(兼)	専・兼		専・(兼)	専・(兼)	8
	非	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 5 人） 総時間数（ 162.7 h）															0	1	0	0	1	1	

【事業所名　：宮城野障害者福祉センター　／　事業名　：　　生活介護事業　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和3年度	9	11	3	1	他事業所移行	31.8	4.8	247	3.4	5 ： 1	1.7 ： 1	1 ： 1
令和4年度	8	11	2	2	他事業所移行	30.8	4.8	246	3.5	5 ： 1	1.7 ： 1	1 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者	介護保険
令和3年度	男	0	0	0	0	2	2	2	6	4	1	1	1	1	3	0	1	0	0	0	0	6	0	
	女	0	0	0	0	3	1	1	5	2	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	5	0	
	計	0	0	0	0	5	3	3	11	6	3	2	2	3	4	1	1	0	0	0	0	11	0	
	延利用数	0	0	0	0	276	423	136	835															
令和4年度	男	0	0	0	0	3	2	2	7	5	2	0	0	3	2	1	1	0	0	0	0	7	0	
	女	0	0	0	0	2	1	1	4	2	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	0	
	計	0	0	0	0	5	3	3	11	7	4	0	0	5	4	1	1	0	0	0	0	11	0	
	延利用数	0	0	0	0	249	467	145	861															

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	重度障害者支援加算 人数	給付額(円)
令和3年度	男	5	0	3	0	0	1	3	2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
	女	3	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	計	8	2	4	0	0	1	4	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0		0	
令和4年度	男	5	1	3	0	0	1	3	2	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0
	女	2	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	計	7	3	4	0	0	1	4	3	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	0		0	

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和3年度	512	80	194	0	0	786	235,800	244,524
令和4年度	527	89	193	0	0	809	242,700	251,679

5．送迎サービス状況

車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)
3	3	-	1,508	II	156,379
3	3	-	1,448	II	150,157

6．職員状況

		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	人員配置体制加算	福祉専門職員配置加算	常勤看護職員等配置加算	重度障害者支援加算
令和3年度	男	3	0	0	0	0	0		I	III	無	無
	女	3	0	0	2	1	0					
	計	6	0	0	2	1	0					
令和4年度	男	3	0	0	0	0	0		I	III	無	無
	女	2	0	1	2	1	1	一身上の都合により				
	計	5	0	1	2	1	1					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	保育士実習指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	その他 送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和3年度	正	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0		専 (兼)	専・兼		専 (兼)	専 (兼)	8
	非	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 5 人） 総時間数（ 127.5 h）															0	1	0	0	1	1	
令和4年度	正	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		専 (兼)	専・兼		専 (兼)	専 (兼)	7
	非	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（ 4 人） 総時間数（ 122.7 h）															0	1	0	0	1	1	

【事業所名　：　サポートはぎ　　】　　令和５年3月末日時点

1．短期入所事業利用状況／泊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
令和３年度	128	138	93	82	77	92	93	97	87	71	105	103	1166	97.2
令和４年度	99	79	88	77	88	72	84	76	89	105	125	136	1118	93.2

2．短期入所事業利用状況／内訳

	定員	法人利用者延数	法人外利用者延数	学齢利用者延数	就学前利用者延数	合計	日平均
令和３年度	6	939	709	156	0	1804	4.9
令和４年度	6	1037	687	120	10	1854	5.1

3．地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況/利用回数及び加算

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
令和3年度	４時間未満	128	111	110	80	69	92	87	85	73	78	88	101	1102	91.8
	４時間以上 ８時間未満	41	67	35	44	39	39	40	41	44	30	51	35	506	42.2
	８時間以上	5	5	13	13	7	3	8	14	10	11	15	10	114	9.5
	利用合計回数	174	183	158	137	115	134	135	140	127	119	154	146	1722	143.5
	食事提供加算	10	9	20	20	13	8	9	18	14	14	15	12	162	13.5
	送迎	72	64	93	72	49	53	53	78	58	66	61	69	788	65.7
	1：1加算	130	132	134	106	105	121	119	123	116	109	122	134	1451	120.9
令和4年度	４時間未満	111	100	119	102	100	88	104	86	106	111	113	126	1266	105.5
	４時間以上 ８時間未満	35	36	22	36	41	37	41	32	44	44	52	69	489	40.8
	８時間以上	10	17	13	19	3	11	9	14	9	9	9	9	132	11.0
	利用合計回数	156	153	154	157	144	136	154	132	159	164	174	204	1887	157.3
	食事提供	12	16	15	21	5	16	12	14	13	18	16	18	176	14.7
	送迎	77	89	88	106	82	80	96	90	112	80	90	99	1089	90.8
	1：1加算	136	130	152	138	126	120	142	127	138	117	119	150	1595	132.9

4．日中一時支援（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
令和３年度	174	183	158	137	115	134	135	140	127	119	154	146	1722	143.5
令和４年度	156	153	154	157	144	136	154	132	159	164	174	204	1887	157.3

5．日中一時支援（延べ人数）

	定員	法人利用者延数	法人外利用者延数	学齢利用者延数	就学前利用者延数	合計	日平均
令和3年度	6	1057	574	91	0	1722	4.7
令和4年度	6	992	721	88	4	1805	4.9

6．障害児療育支援事業利用状況

	延べ利用人数	備　　考
令和3年度	25	
令和4年度	7	

7．職員状況

	正規職員（嘱託含）			非正規職員			正規職員退職理由
	総数	新規	退職者	総数	新規	退職者	
令和3年度	18	1	1	18	6	8	一身上の都合のため
令和4年度	19	1	1	17	6	9	一身上の都合のため

８．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・計は実員数となっている）

		相談のみ			サポートはぎ（短期入所事業・相談事業）											栄養士	事務職員	管理者	計
		主任相談支援専門員	相談支援専門員	相談員	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	児童指導員（保育士と重複しないこと）	ヘルパー（初任研）	ヘルパー（実務研）	心理士等（認定・臨床・公認）	強度行動障害支援者（基礎研修・実践研修）	社会福祉士実習指導者講習	資格なし				
令和３年度	正	2	7	0	6	5	1	1	4	4	1	0	5	3	1	0	1	1	
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	（実員数 16 人）（常勤換算数 720 h）														0	1	1	18
令和４年度	正	2	7	0	7	5	1	2	0	4	2	0	8	3	0	0	2	1	
	非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	（実員数 16 人）（常勤換算数 680 h）														0	2	1	19

９．診療所

	法人利用者延べ数	法人外利用者延べ数	学齢児延べ利用数	就学前児利用延べ数	合　計
令和３年度	0	34	1	24	59
令和４年度	2	21	4	31	58

１０．相談支援事業（指定一般・指定特定）

＊指定（一般）とは地域移行・地域定着を指す　＊特定（計画相談）は児者合算数となっている

		登録者数(法人内ｹｰｽ)	新規・更新	モニタリング	延べ件数(新規+ﾓﾆﾀ)
令和３年度	一般	0	0	0	0
	特定	414(339)	417	1449	1866
令和４年度	一般	0	0	0	0
	特定	428(334)	419	1452	1871

○委託相談事業（延べ件数）

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	その他
令和３年度	障害者	394	33	0	276	119	85	2	10	4
	障害児	91	10	16	68	1	20	0	2	1
	計	485	43	16	344	120	105	2	12	5
令和４年度	障害者	474	11	4	87	40	30	2	2	41
	障害児	86	28	1	3	20	0	9	0	0
	計	560	39	5	90	60	30	11	2	41

○委託相談対応手段（延べ件数）

	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
令和３年度	186	95	170	651	54	125	875	30	2186
令和４年度	187	77	141	1330	46	60	762	59	2662

○委託相談支援内容（延べ件数）

	福祉サービス	障害や症状理解	健康医療	不安の解消情緒安定	保育教育	家族関係人間関係	家計経済	生活技術	就労
令和３年度	2402	2113	1982	2169	177	1665	1244	1855	616
令和４年度	1555	1578	1435	1522	219	1265	904	1341	548

	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
令和３年度	920	181	26	15371
令和４年度	605	143	20	11135

○体制加算の取得状況（指定特定・障害児相談支援共通）

	基本報酬区分(新設)	行動障害支援体制加算	要医療児者支援体制加算	精神障碍者支援体制加算	主任相談支援専門員配置加算
令和３年度		有	有	有	有
令和４年度	機能強化型(Ⅰ)	有	有	有	有

【事業所名　：　ヘルパーステーションコスモス　　】　　令和5年3月末日時点

1．利用実績

		居宅介護		通院介助等		行動援護	同行援護	重度訪問介護	移動支援
		身体介護	身体介護なし	身体介護あり	身体介護なし				
延べ利用者数	令和3年度	8,033.0	436.0	453.0	23.0	167.0	48.0	9.0	1,042.0
	令和4年度	9,399.0	326.0	485.0	24.0	136.0	62.0	22.0	1,233.0
延べ利用時間	令和3年度	14,020.0	499.5	1,066.5	91.0	253.0	198.5	32.0	3,199.0
	令和4年度	14,069.5	384.5	1,121.5	89.5	434.0	234.5	66.0	3,758.0

2．状況内訳

		障害支援区分								年金			年齢区分（歳）									
		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	1級	2級	無	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計
令和3年度	男	0	0	1	11	18	17	18	65				3	15	17	12	14	3	1	0	0	65
	女	1	0	3	5	10	7	10	36				0	8	4	11	8	2	1	0	2	36
	計	1	0	4	16	28	24	28	101				3	23	21	23	22	5	2	0	2	101
令和4年度	男	1	0	0	15	15	16	20	67				1	15	15	15	16	1	4	0	0	67
	女	0	0	2	3	7	13	10	35				0	8	4	4	15	0	1	1	2	35
	計	1	0	2	18	22	29	30	102				1	23	19	19	31	1	5	1	2	102

3．障害の状況

		療育手帳		身体障害者手帳(級)												精神手帳	医療ケア				
		A	B	身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7		インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他
令和3年度	男	40	25	0	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	29	7	2	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	計	69	32	2	1	3	0	2	1	0	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
令和4年度	男	48	19	3	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	29	6	5	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	計	77	25	8	0	4	0	4	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0

4.職員状況

		正　規			非正規			正規職員退職理由
		総数	新規	退職者	総数	新規	退職者	
令和3年度	男	5	0	0	2	0	0	
	女	4	0	1	2	0	0	・自己都合(他業種への転職)
	計	9	0	1	4	0	0	
令和4年度	男	5	0	0	2	0	0	
	女	5	1	0	2	0	0	
	計	10	1	0	4	0	0	

5.配置職員取得資格状況（資格は重複記入・計は実員数となっている）

		支援職員										その他							合計実人数
		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	ホームヘルパー初任者研修	ホームヘルパー実務者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	介護福祉士実習指導者	社会福祉士実習指導者	資格なし	看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス提供責任者	
令和3年度	正	2	2	0	0	3	1	2		0	1	0			専・(兼)	専・兼		(専)・兼	(専)・兼	14
	非	1	0	0	0	3	1	0		0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（　10　人）						総時間数（　336 h /週　）							1			1	2	
令和4年度	正	5	2	0	0	3	1	5		0	1	0			専・(兼)	専・兼		(専)・兼	(専)・兼	15
	非	1	0	0	0	3	1	0		0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼		専・兼			
	計	実人数（　11　人）						総時間数（　344 h /週　）							1			1	2	

【事業所名　：おり～ぶ上野山／事業名：児童発達支援・放課後等デイサービス】　　令和５年3月末日時点

１．利用者状況

		利用定員	事業日数	延利延数	１日平均利用数	土曜登録数	送迎利用数	障害児状態区分	個別サポート加算人数	児童指導員等配置	児童指導員等加配体制	強度行動障害体制加算	福祉専門職員配置等	専門的支援加算
児童発達支援	令和3年度	10	294	13	0.04	1	26		1	有	有	無	有	Ⅰ
	令和4年度	10	292	69	0.23	2	110		2	有	有	無	有	Ⅰ
放課後等デイサービス	令和3年度	10	294	3,130	10.6	9	4,477		13	有	Ⅰ理学療法士等	無	Ⅰ	有
	令和4年度	10	292	2,975	10.1	9	4,340		21	有	Ⅰ理学療法士等	あり	Ⅲ	有

２．状況内訳

			5歳未満	5歳	6歳	小学1～2年	小学3～4年	小学5～6年	中学生	高校生	計	合計
児童発達支援	令和３年度	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	令和４年度	男	0	1	1	0	0	0	0	0	2	2
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放課後等デイサービス	令和３年度	男	0	0	0	8	6	7	0	0	21	30
		女	0	0	0	2	2	5	0	0	9	
	令和４年度	男	0	0	0	11	8	6	0	0	25	32
		女	0	0	0	3	0	4	0	0	7	

３．障害の状況

		知的障害		発達障害			身体障害	精神障害	重　症心身障害	医療ケア	合計
		重度	その他	自閉	広汎性	その他					
児童発達支援	令和３年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	令和４年度	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
放課後等デイサービス	令和３年度	7	4	11	5	1	2	0	0	0	30
	令和４年度	11	3	10	5	1	2	0	0	0	32

４．学校内訳

		宮教大附	小松島特支	鶴谷特支	光明特支	名取特支	利府特支	いずみ特支	特別支援学級	その他	合計
児童発達支援	令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	令和４年度	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
放課後等デイサービス	令和３年度	0	1	1	4	5	0	0	18	1	30
	令和４年度	0	3	1	3	5	0	0	18	2	32

５．職員状況

		正　規			非正規			正規職員退職理由
		総数	新規	退職者	総数	新規	退職者	
令和３年度	男	3	0	1	0	0	0	一身上の都合
	女	3	1	1	3	0	0	一身上の都合
	計	6	1	2	3	0	0	
令和４年度	男	2	0	0	0	0	0	
	女	3	0	0	3	0	0	
	計	5	0	0	3	0	0	

６．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・計は実員数となっている）

		支援職員													その他				合計実人員
		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	児童指導員（保育士と重複しないこと）	初任者研修	強度行動障害支援者基礎・実践研修	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	送迎ドライバー	事務員	管理者	児童発達管理責任者	
令和３年度	正	0	1	0	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	7
	非	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	実人数（　7　人）　総時間数（　228　h）													0	1	1	1	
令和４年度	正	0	0	0	3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	7
	非	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	実人数（　7　人）　総時間数（　228　h）													0	1	1	1	

【事業所名　：おり～ぶ五橋／事業名：児童発達支援，放課後等デイサービス】　　令和５年3月末日時点

1．利用者状況

		利用定員	事業日数	延利用数	1日平均利用数	土曜登録	送迎利用数	障害児状態区分	個別サポート加算人数	児童指導員等配置	児童指導員等加配体制	強度行動障害体制加算	福祉専門職員配置等	専門的支援加算
児童発達支援	令和3年度	3	290	266	0.9	2	288		3	有	Ⅰ理学療法士等	無	Ⅲ	無
	令和4年度	3	281	234	0.8	2	245		3	有	Ⅰ理学療法士等	無	Ⅲ	理学療法士等
放課後等デイサービス	令和3年度	7	290	2,187	7.5	6	2,961		12	有	Ⅰ理学療法士等	無	Ⅲ	無
	令和4年度	7	281	2,123	7.3	6	2,560		10	有	Ⅰ理学療法士等	無	Ⅲ	理学療法士等

2．状況内訳

			5歳未満	5歳	6歳	小学1～2年	小学3～4年	小学5～6年	中学生	高校生	計	合計
児童発達支援	令和３年度	男	1	0	1	0	0	0	0	0	2	3
		女	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	令和4年度	男	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
		女	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
放課後等デイサービス	令和３年度	男	0	0	0	8	8	5	1	0	22	26
		女	0	0	0	1	1	2	0	0	4	
	令和4年度	男	0	0	0	8	7	6	0	0	21	24
		女	0	0	0	1	1	1	0	0	3	

3．障害の状況

		知的障害		発達障害			身体障害	精神障害	重症心身障害	医療ケア	合計
		重度	その他	自閉	広汎性	その他					
児童発達支援	令和3年度	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
	令和4年度	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
放課後等デイサービス	令和3年度	1	8	13	0	0	3	0	1	0	26
	令和4年度	0	9	12	0	0	2	0	1	0	24

4．学校内訳

		宮教大附	小松島特支	鶴谷特支	光明特支	名取特支	利府特支	いずみ特支	特別支援学級	その他	合計
児童発達支援	令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
放課後等デイサービス	令和３年度	3	6	1	1	1	0	0	13	2	27
	令和4年度	3	4	2	0	1	0	0	10	4	24

5．職員状況

		正規			非正規			正規職員退職理由
		総数	新規	退職者	総数	新規	退職者	
令和3年度	男	3	0	0	1	0	0	
	女	3	0	0	2	0	1	
	計	6	0	0	3	0	1	
令和4年度	男	3	1	0	1	0	0	
	女	5	0	0	1	0	0	
	計	8	1	0	2	0	0	

6．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・計は実員数となっている）

		支援職員													その他				合計実人員
		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	児童指導員（保育士と重複しないこと）	初任者研修	強度行動障害支援者基礎・実践研修	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	送迎ドライバー	事務員	管理者	児童発達管理責任者	
令和３年度	正	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)	9
	非	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	計	実人数（ 6 人）					総時間数（ 165 h ）								0	1	1	1	
令和４年度	正	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)	10
	非	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	実人数（ 6 人）					総時間数（ 179 h ）								0	2	1	1	

【事業所名：おり～ぶ太白／事業名：放課後等デイサービス】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

		利用定員	事業日数	延利用数	1日平均利用数	土曜登録数	送迎利用数	障害児状態区分	個別サポート加算人数	児童指導員等配置	児童指導員等加配体制	強度行動障害体制加算	福祉専門職員配置等	専門的支援加算
児童発達支援	令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後等デイサービス	令和3年度	10	290	2,704	9.3	12	4,953		20	有	Ⅰ理学療法士等	無	Ⅲ	有
	令和4年度	10	289	3,432	11.8	15	5,715		22	有	Ⅰ理学療法士等	有	Ⅲ	有

2．状況内訳

			5歳未満	5歳	6歳	小学1～2年	小学3～4年	小学5～6年	中学生	高校生	計	合計
児童発達支援	令和３年度	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	令和４年度	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放課後等デイサービス	令和３年度	男	0	0	0	2	0	2	9	8	21	34
		女	0	0	0	0	1	1	9	2	13	
	令和４年度	男	0	0	0	1	1	1	11	9	23	37
		女	0	0	0	3	1	0	8	2	14	

3．障害の状況

		知的障害		発達障害			身体障害	精神障害	重症心身障害	医療ケア	合計
		重度	その他	自閉	広汎性	その他					
児童発達支援	平成3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後等デイサービス	平成3年度	9	22	11	1	2	10	0	2	0	34
	令和4年度	6	28	13	4	0	10	0	2	0	37

4．学校内訳

		宮教大附	小松島特支	鶴谷特支	光明特支	名取特支	利府特支	いずみ特支	特別支援学級	その他	合計
児童発達支援	令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和４年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後等デイサービス	令和３年度	5	8	7	0	2	0	0	7	5	34
	令和４年度	5	7	8	1	2	0	0	9	5	37

5．職員状況

		正規			非正規			正規職員退職理由
		総数	新規	退職者	総数	新規	退職者	
令和３年度	男	2	0	1	1	1	0	一身上の都合
	女	3	2	1	2	0	0	一身上の都合
	計	5	2	2	3	1	0	
令和４年度	男	2	0	0	0	1	1	
	女	3	1	1	3	1	0	転職
	計	5	1	1	3	2	1	

6．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・計は実員数となっている）

		支援職員													その他				合計実人員
		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	保育士と重複しないこと	児童指導員	初任者研修	基礎・実践研修	強度行動障害支援者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	送迎ドライバー	事務員	管理者	児童発達管理責任者	
令和３年度	正	0	0	0	1	3	2	1	1	0	0	0	0	0	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)	9
	非	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	計	実人数（ 7 人） 総時間数（ 230 h ）													0	1	1		
令和４年度	正	0	1	0	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	専・兼	専・(兼)	専・(兼)	専・(兼)	9
	非	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	計	実人数（ 7 人） 総時間数（ 217 h ）													0	1	1		

【事業所名　：おり～ぶ鈎取／事業名：　放課後等デイサービス　】　　令和5年3月末日時点

1．利用者状況

		利用定員	事業日数	延利用数	1日平均利用数	土曜登録数	送迎利用数	障害児状態区分	個別サポート加算人数	児童指導員等配置	児童指導員等加配体制	強度行動障害体制加算	福祉専門職員配置等	専門的支援加算
児童発達支援	令和3年度													
	令和4年度													
放課後等デイサービス	令和3年度	10	298	2,670	8.9	16	4,507		14	有	Ⅰ理学療法士等	有	Ⅰ	無
	令和4年度	10	290	2,216	7.6	10	4,330		9	有	Ⅰ理学療法士等	有	Ⅰ	無

2．状況内訳

			5歳未満	5歳	6歳	小学1～2年	小学3～4年	小学5～6年	中学生	高校生専攻科	計	合計
児童発達支援	令和３年度	男										
		女										
	令和4年度	男										
		女										
放課後等デイサービス	令和３年度	男	0	0	0	0	0	0	6	13	19	32
		女	0	0	0	0	0	0	5	8	13	
	令和4年度	男	0	0	0	0	0	0	8	8	16	26
		女	0	0	0	0	0	0	6	4	10	

3．障害の状況

		知的障害		発達障害			身体障害	精神障害	重　症心身障害	医療ケア	合計
		重度	その他	自閉	広汎性	その他					
児童発達支援	令和3年度										
	令和4年度										
放課後等デイサービス	令和3年度	16	16	9	2	0	6	0	1	0	50
	令和4年度	15	10	7	1	2	6	0	0	0	41

4．学校内訳

		宮教大附	小松島特支	鶴谷特支	光明特支	名取特支	利府特支	いずみ特支	特別支援学級	その他	合計
児童発達支援	令和3年度										
	令和4年度										
放課後等デイサービス	令和3年度	3	6	0	7	6	0	2	3	5	32
	令和4年度	3	6	0	6	4	0	3	3	1	26

5．職員状況

		正　規			非正規			正規職員退職理由
		総数	新規	退職者	総数	新規	退職者	
令和3年度	男	2	0	0	1	0	0	
	女	4	0	0	2	0	0	
	計	6	0	0	3	0	0	
令和4年度	男	2	0	1	1	0	0	自己都合
	女	3	0	0	2	0	1	
	計	5	0	1	3	0	1	

6．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・計は実員数となっている）

		支援職員													その他				合計実人員
		介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	児童指導員（保育士と重複しないこと）	初任者研修	強度行動障害支援者基礎・実践研修	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	看護師	送迎ドライバー	事務員	管理者	児童発達管理責任者	
令和3年度	正	1	1	0	3	1	0	3	0	0	0	0	1	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	10
	非	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	計	実人数（　8　人）　総時間数（　255　h）													0	1	1		
令和4年度	正	2	1	0	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	10
	非	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	計	実人数（　7　人）　総時間数（　215　h）													0	2	1		

【事業所名　：　もくれん　／　事業名　：　就労継続B型事業　】　　令和５年3月末日時点

1．利用者状況

	定員	現員	新入所者	退所者	退所理由	平均年齢	平均支援区分	事業日数	延利用者数	1日平均利用者数	人員配置 国基準	人員配置 指定配置	人員配置 実配置
令和３年度	20	22	0	2	入院治療必要1,他法人異動1	44.4	1.9	310	4,993	16.1	7.5 ： 1	6 ： 1	4.8 ： 1
令和４年度	20	19	0	3	他法人事業所３	42.9	1.7	314	4,550	14.4	7.5 ： 1	6 ： 1	5.8 ： 1

2．状況内訳

		障害支援区分 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	年金 1級	2級	無	年齢区分（歳） 20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75以上	計	利用者 介護保険
令和３年度	男	5	1	8	1	3	0	0	18	1	13	4	0	4	3	4	3	2	2	0	0	18	0
	女	1	0	1	1	0	1	0	4	0	4	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4	0
	計	6	1	9	2	3	1	0	22	1	17	4	0	5	3	5	4	3	2	0	0	22	0
令和４年度	男	5	1	7	0	2	0	0	15	1	10	4	0	4	2	4	3	2	0	0	0	15	0
	女	1	0	1	1	0	1	0	4	0	4	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	4	0
	計	6	1	8	1	2	1	0	19	1	14	4	0	5	2	5	4	2	1	0	0	19	0

3．障害の状況

		療育手帳 A	B	身体障害者手帳(級) 身体	聴覚	視覚	内部	車椅子	1	2	3	4	5	6	7	精神手帳	医療ケア インスリン	人工透析	人工呼吸器	胃ろう	その他	重度加算 人数	補助額(円)	月額平均工賃	1日平均労働時間
令和３年度	男	1	17	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	360,000	22,955	4.9
	女	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	2	20	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
令和４年度	男	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	360,000	24,898	4.9
	女	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

4．食事提供状況

	延べ食数 普通	一口大	柔らか	ペースト	その他	合計	特定費用収益(円)	食事提供加算(円)
令和３年度	2,356	0	0	0	0	2,356	662,200	730,831
令和４年度	2,029	0	0	0	0	2,029	571,520	629,390

5．送迎サービス状況

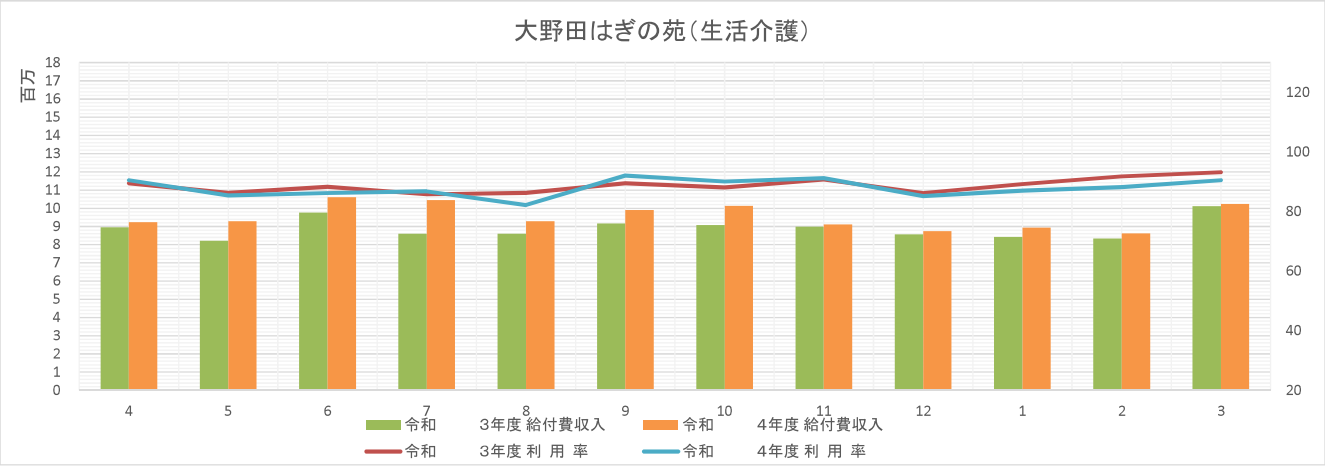
車両数(台)	ルート数	ドライバー数	延利用者数	送迎加算	送迎加算(円)

6．職員状況

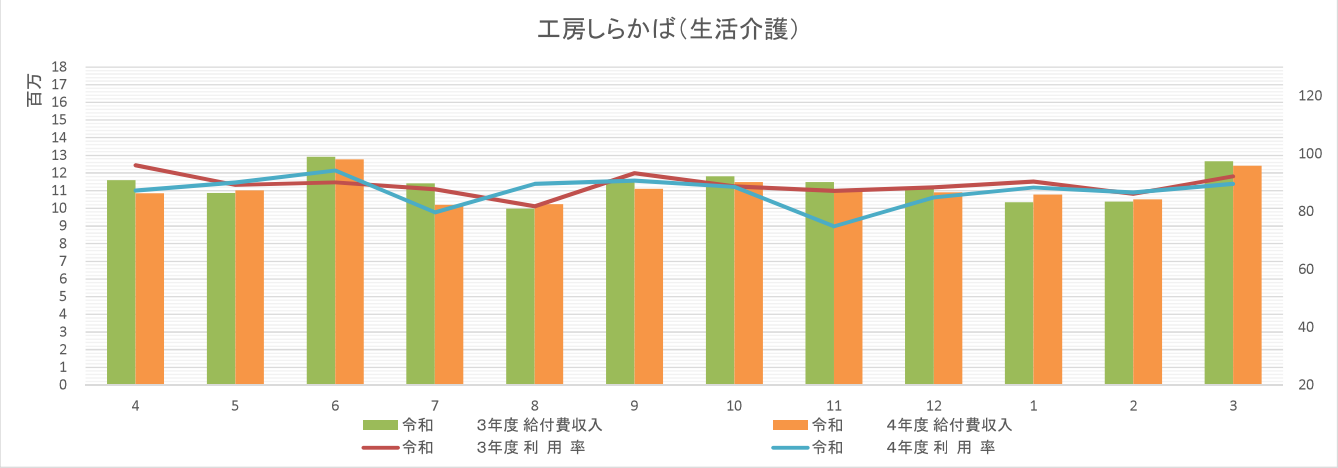
		正規 総数	新規	退職者	非正規 総数	新規	退職者	正規職員退職理由	目標工賃達成指導員配置加算	重度者支援体制加算	福祉専門職員配置加算	移行支援体制加算
令和３年度	男	4	1	0	1	0	0		有	無	Ⅰ	無
	女	2	0	0	1	0	1					
	計	6	1	0	2	0	1					
令和４年度	男	4	0	0	1	0	0		有	無	Ⅰ	無
	女	2	0	1	1	0	0	自己都合により				
	計	6	0	1	2	0	0					

7．配置職員取得資格状況（資格は重複記入・総数は実員数）

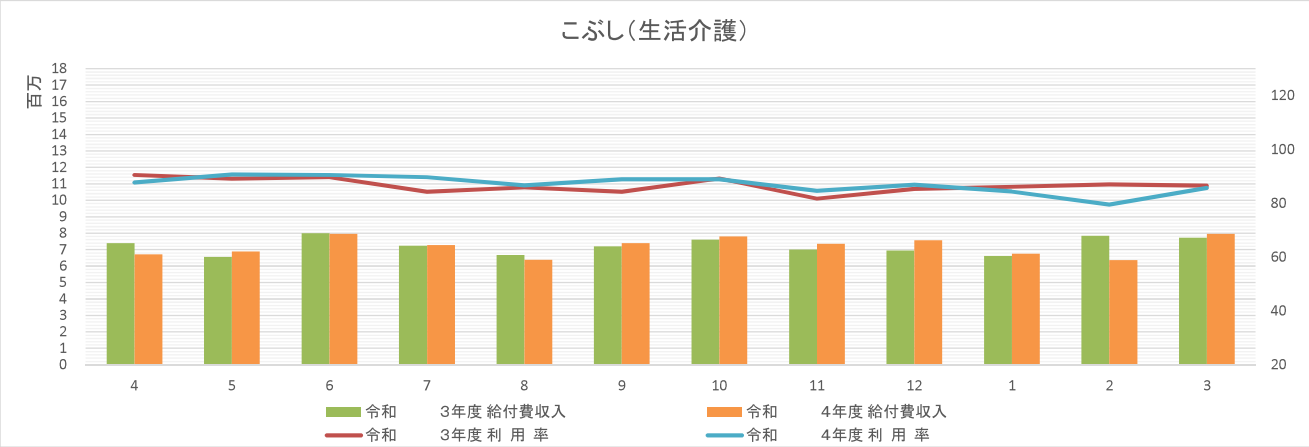
		支援職員 介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保育士	初任者研修	実務者研修	相談初任研	強度行動障害支援者基礎・実践研修	実習指導者	心理士等	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	資格なし	その他 看護師	送迎ドライバー	事務員	栄養士	調理員	管理者	サービス管理責任者	合計実人数
令和３年度	正	2	2	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	8
	非	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 5 人） 総時間数（ 195 h）																1			1	1	
令和４年度	正	2	1	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0			専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	8
	非	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼	専・兼			
	計	実人数（ 6 人） 総時間数（ 235.0 h）																1			1		



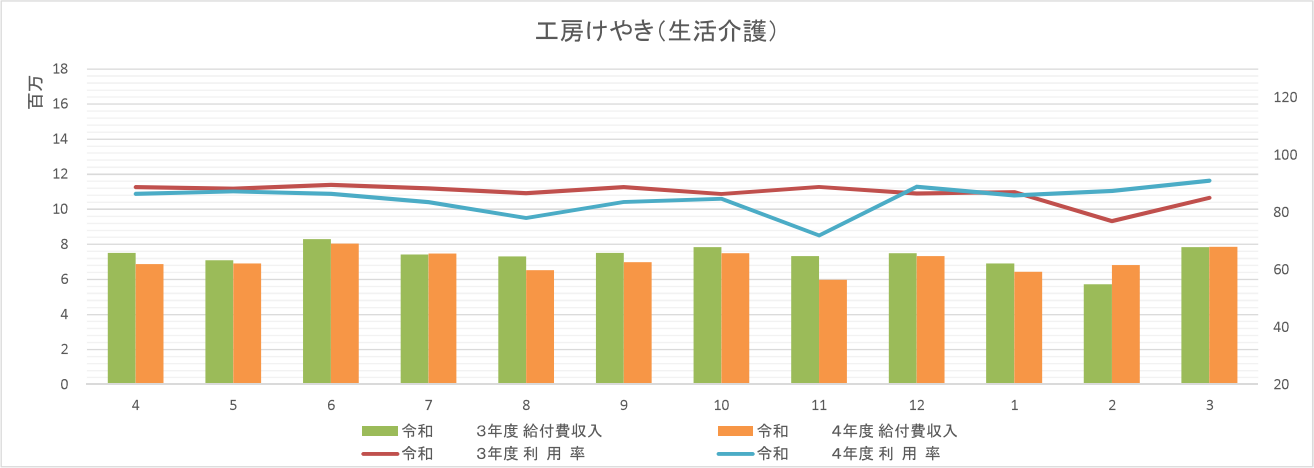
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	19	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	241
	利 用 率	89.5	86.3	88.3	85.8	86.3	89.5	88.1	90.7	86.2	89.2	91.8	93.2	88.7
	給付費収入	8,946,992	8,207,662	9,766,125	8,614,494	8,604,239	9,163,086	9,070,330	8,986,494	8,559,426	8,431,719	8,343,803	10,121,076	106,815,446
令和4年度	事業日数	19	20	22	21	21	20	21	15	17	20	19	22	237
	利 用 率	90.5	85.4	86.2	86.8	82.2	92.1	90.1	91.2	85.2	87.0	88.2	90.5	88.0
	給付費収入	9,227,999	9,278,409	10,604,252	10,441,479	9,294,129	9,900,623	10,144,731	9,118,667	8,754,639	8,931,329	8,616,752	10,247,206	114,560,215



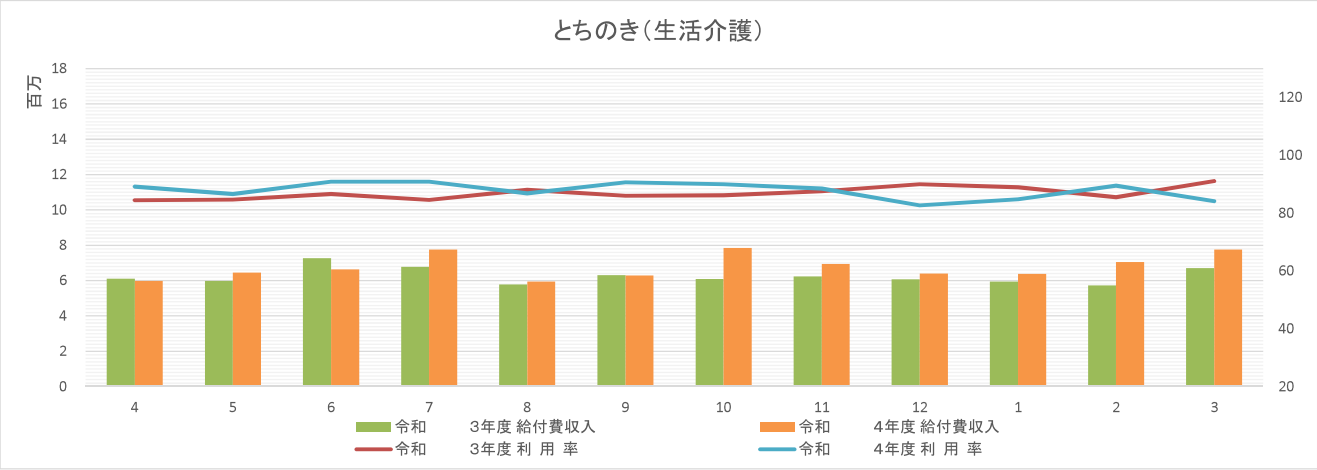
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	19	23	21	20	20	22	22	21	19	19	22	248
	利 用 率	96.0	89.2	90.1	87.7	81.8	93.3	88.7	87.1	88.4	90.4	86.1	92.2	89.3
	給付費収入	11,595,289	10,869,383	12,922,694	11,413,063	9,982,250	11,565,512	11,824,391	11,486,606	11,111,928	10,342,233	10,391,262	12,657,386	136,161,997
令和4年度	事業日数	19	19	22	17	17	20	21	23	20	20	20	23	241
	利 用 率	87.3	90.0	94.2	79.7	89.6	90.7	88.5	74.9	84.9	88.3	86.6	89.6	87.0
	給付費収入	10,847,659	11,004,917	12,782,305	10,199,347	10,241,149	11,108,234	11,494,427	11,061,436	10,902,304	10,784,401	10,497,888	12,418,176	133,342,243



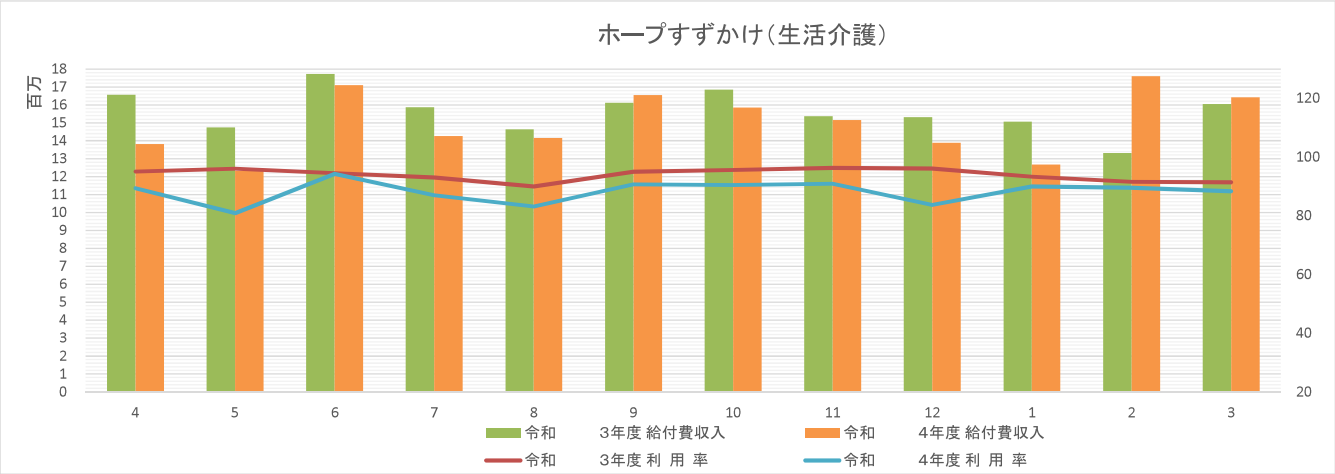
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	18	22	21	19	21	21	22	20	19	18	22	243
	利 用 率	90.5	89.1	89.7	84.3	85.9	84.3	89.2	81.7	85.3	86.1	87.0	86.5	86.6
	給付費収入	7,394,828	6,558,141	7,996,141	7,241,732	6,660,006	7,193,650	7,609,522	7,002,943	6,937,705	6,617,052	7,835,516	7,717,439	86,764,675
令和4年度	事業日数	19	19	22	20	19	20	21	21	21	20	20	23	245
	利 用 率	87.7	90.7	90.5	89.7	86.7	88.9	88.9	84.6	86.9	84.4	79.5	85.7	87.0
	給付費収入	6,715,526	6,887,495	7,967,631	7,273,145	6,383,052	7,393,314	7,798,584	7,359,996	7,571,502	6,738,374	6,353,096	7,968,508	86,410,223



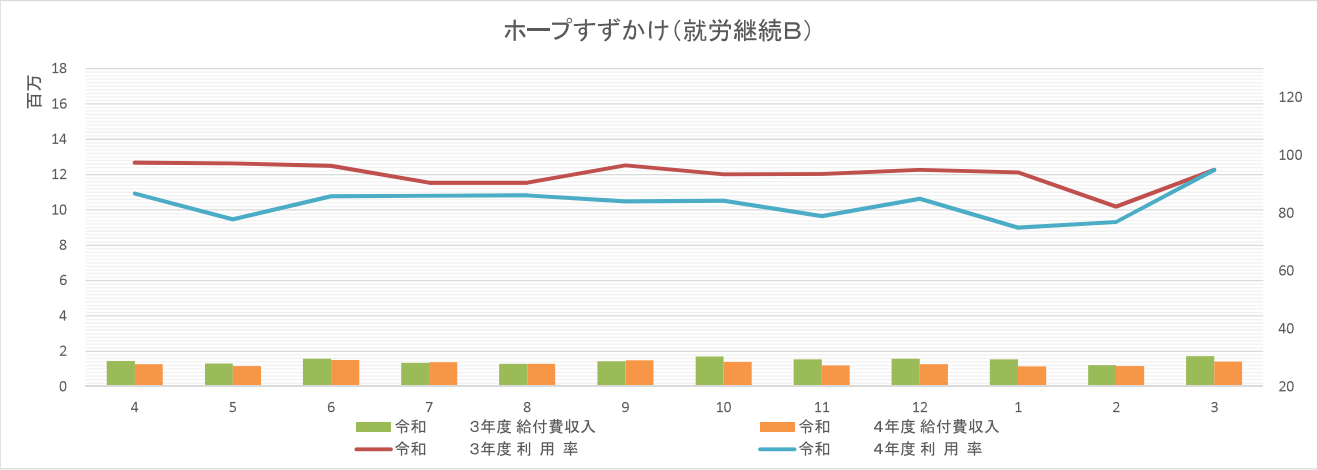
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	19	22	20	20	20	22	20	21	19	18	22	243
	利 用 率	88.8	88.3	89.6	88.4	86.7	88.8	86.4	88.9	86.6	87.1	77.0	85.1	86.8
	給付費収入	7,507,840	7,095,920	8,300,106	7,416,287	7,309,648	7,512,164	7,841,574	7,330,253	7,490,499	6,910,234	5,728,305	7,843,537	88,286,367
令和4年度	事業日数	19	19	22	21	20	20	21	21	21	19	20	22	245
	利 用 率	86.5	87.3	86.5	83.6	78.1	83.7	84.8	72.0	89.0	85.9	87.5	91.1	84.7
	給付費収入	6,873,861	6,912,321	8,049,931	7,478,945	6,523,912	6,977,476	7,491,518	5,968,580	7,330,159	6,440,476	6,822,952	7,872,563	84,742,694



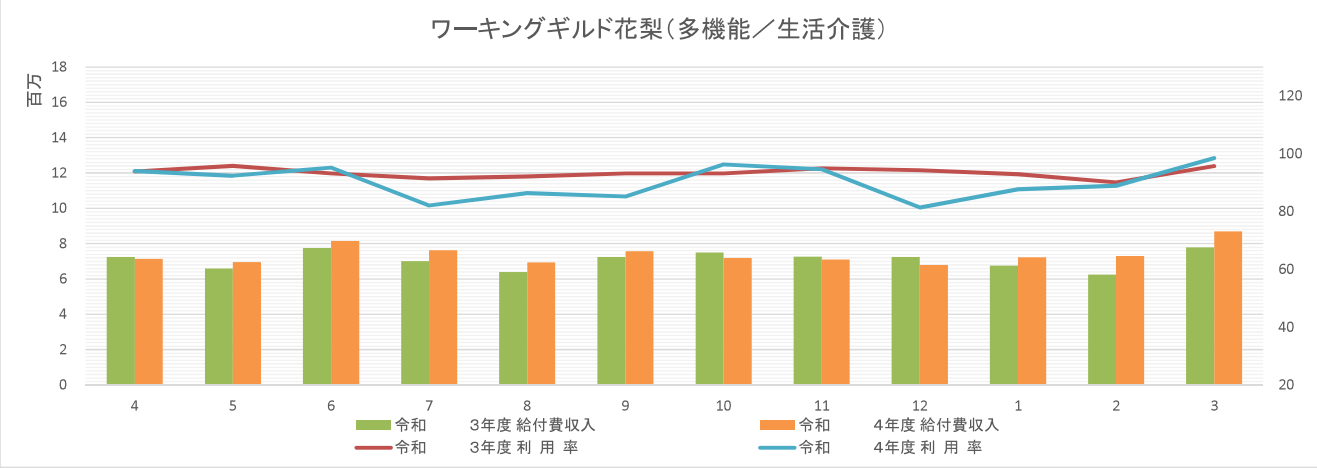
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	19	22	21	18	20	21	21	20	20	20	22	244
	利 用 率	84.5	84.7	86.6	84.6	88.1	86.0	86.2	87.6	90.0	89.0	85.5	91.1	87.0
	給付費収入	6,115,755	5,972,028	7,258,007	6,777,104	5,783,807	6,299,123	6,084,899	6,228,919	6,068,835	5,957,711	5,717,852	6,710,292	74,974,332
令和4年度	事業日数	19	20	22	21	19	19	21	21	21	18	20	19	240
	利 用 率	89.2	86.6	90.9	90.9	86.8	90.7	90.0	88.5	82.7	84.8	89.5	84.2	87.9
	給付費収入	5,989,163	6,465,620	6,642,049	7,765,210	5,937,727	6,287,257	7,847,154	6,933,538	6,398,911	6,377,439	7,050,780	7,757,288	81,452,136



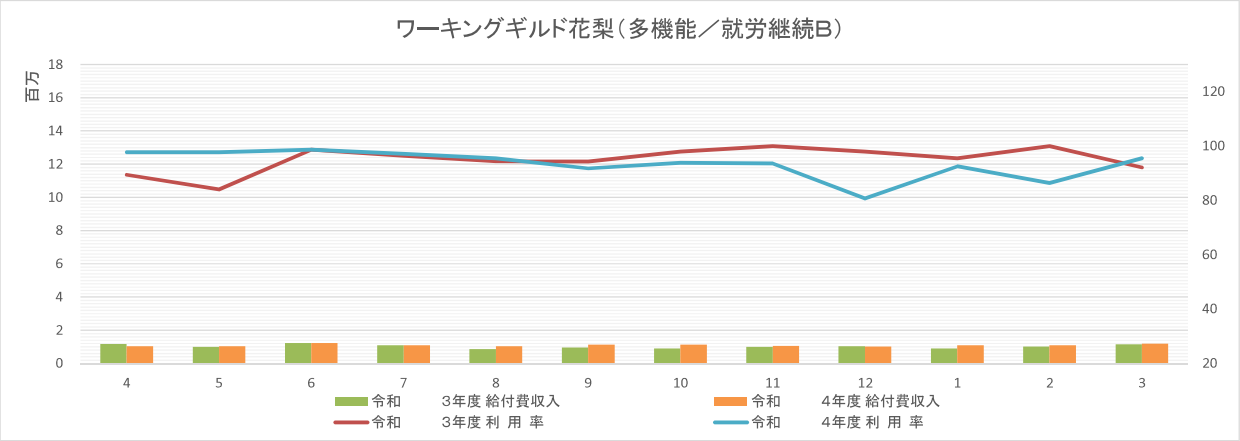
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	18	22	20	19	20	22	20	20	20	18	22	241
	利 用 率	95.1	96.0	94.5	93.0	90.0	95.0	95.6	96.3	96.1	93.3	91.6	91.4	94.0
	給付費収入	16,554,341	14,742,931	17,718,237	15,867,104	14,633,755	16,119,309	16,849,372	15,381,656	15,322,829	15,069,058	13,313,243	16,045,324	187,617,159
令和4年度	事業日数	19	19	22	20	21	22	21	20	20	20	20	22	246
	利 用 率	89.4	80.9	94.3	87.0	83.2	90.7	90.5	90.9	83.7	90.0	89.5	88.4	88.2
	給付費収入	13,829,125	12,313,200	17,114,510	14,271,085	14,156,531	16,542,605	15,856,892	15,167,726	13,894,320	12,664,886	17,595,745	16,429,306	179,835,931



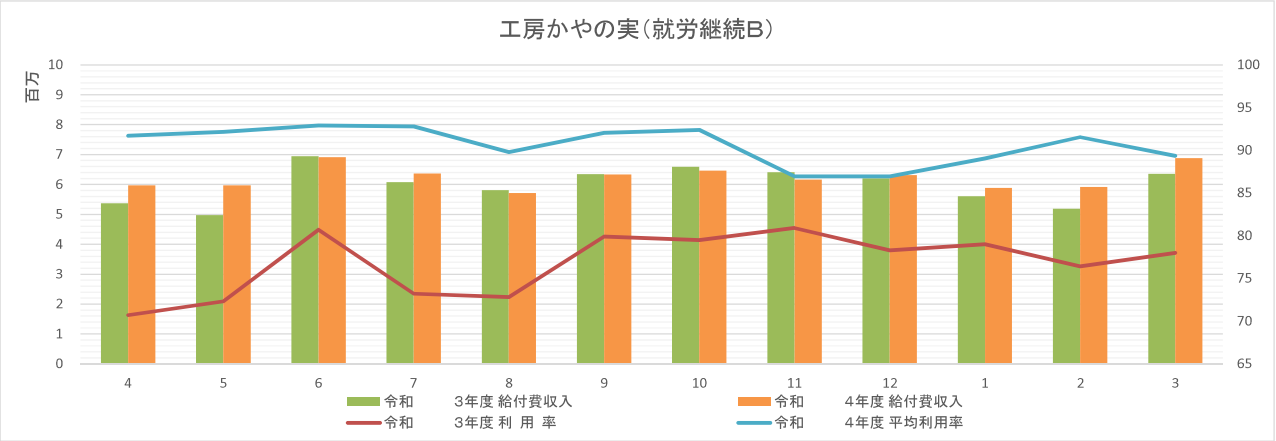
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	18	22	20	19	20	22	20	20	20	18	22	241
	利 用 率	97.5	97.2	96.4	90.5	90.5	96.5	93.4	93.6	95.0	94.1	82.3	95.0	93.5
	給付費収入	1,456,093	1,304,664	1,585,664	1,351,774	1,288,276	1,438,805	1,696,902	1,540,417	1,573,390	1,556,746	1,214,386	1,720,540	17,727,657
令和4年度	事業日数	19	19	22	20	21	22	21	20	20	20	20	22	246
	利 用 率	86.8	77.9	85.9	86.0	86.2	84.1	84.3	79.0	85.0	75.0	77.0	95.0	83.5
	給付費収入	1,275,341	1,160,628	1,520,006	1,378,090	1,283,985	1,492,408	1,411,777	1,204,666	1,279,198	1,141,015	1,168,487	1,420,163	15,735,764



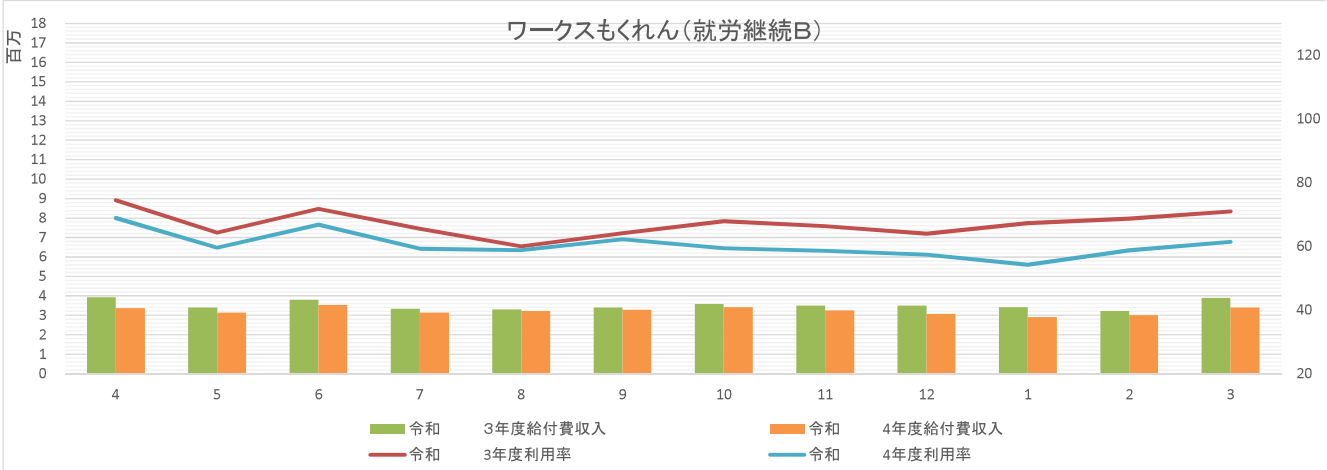
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	18	22	20	18	20	21	20	20	19	18	22	238
	利 用 率	93.9	95.8	93.2	91.5	92.2	93.2	93.2	95.0	94.3	92.9	90.1	95.7	93.4
	給付費収入	7,255,045	6,596,292	7,761,325	7,011,948	6,386,355	7,241,792	7,489,869	7,261,962	7,249,443	6,749,109	6,246,609	7,798,044	85,047,793
令和4年度	事業日数	19	19	22	20	19	21	20	20	20	19	19	22	240
	利 用 率	94.0	92.4	95.2	82.1	86.4	85.2	96.3	94.6	81.4	87.7	88.9	98.5	90.2
	給付費収入	7,142,080	6,951,421	8,146,147	7,622,647	6,931,661	7,570,488	7,194,584	7,108,846	6,794,997	7,225,572	7,303,793	8,698,607	88,690,843



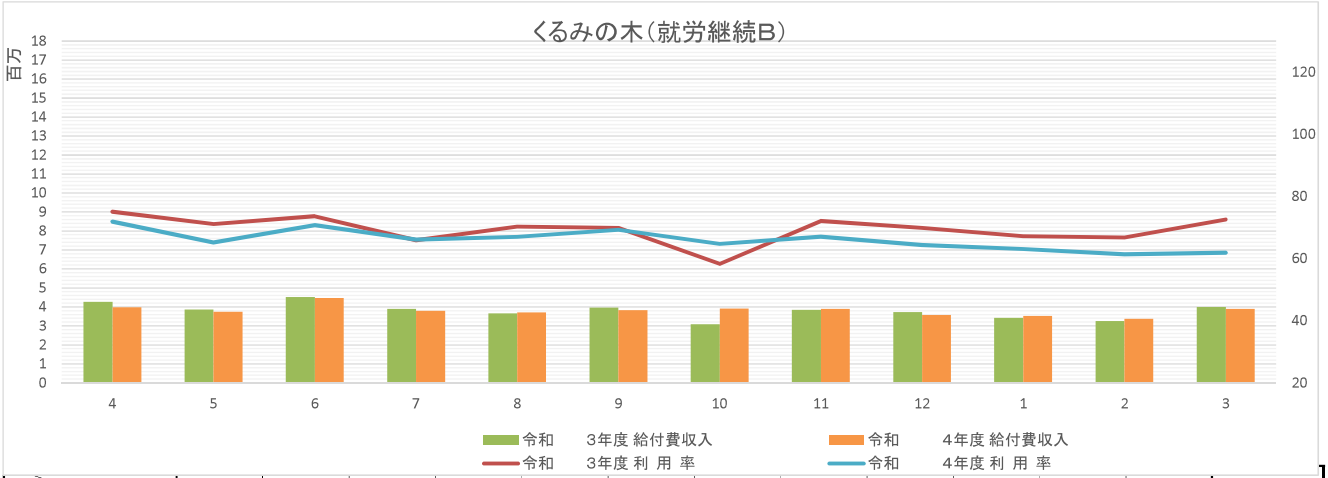
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	20	18	22	20	18	20	21	20	21	19	18	22	239
	利 用 率	89.4	84.0	98.7	96.4	94.4	94.3	98.0	100.0	98.0	95.5	100.0	92.2	95.1
	給付費収入	1,164,644	999,367	1,239,782	1,104,144	859,405	953,759	900,117	1,001,300	1,032,934	913,947	1,013,014	1,154,324	12,336,737
令和4年度	事業日数	19	19	22	20	19	21	21	20	20	19	20	22	242
	利 用 率	97.7	97.7	98.7	97.1	95.5	91.8	93.9	93.6	80.7	92.5	86.4	95.5	93.4
	給付費収入	1,048,194	1,047,853	1,221,629	1,106,788	1,042,092	1,136,940	1,122,788	1,060,591	1,017,566	1,096,430	1,094,342	1,202,859	13,198,072



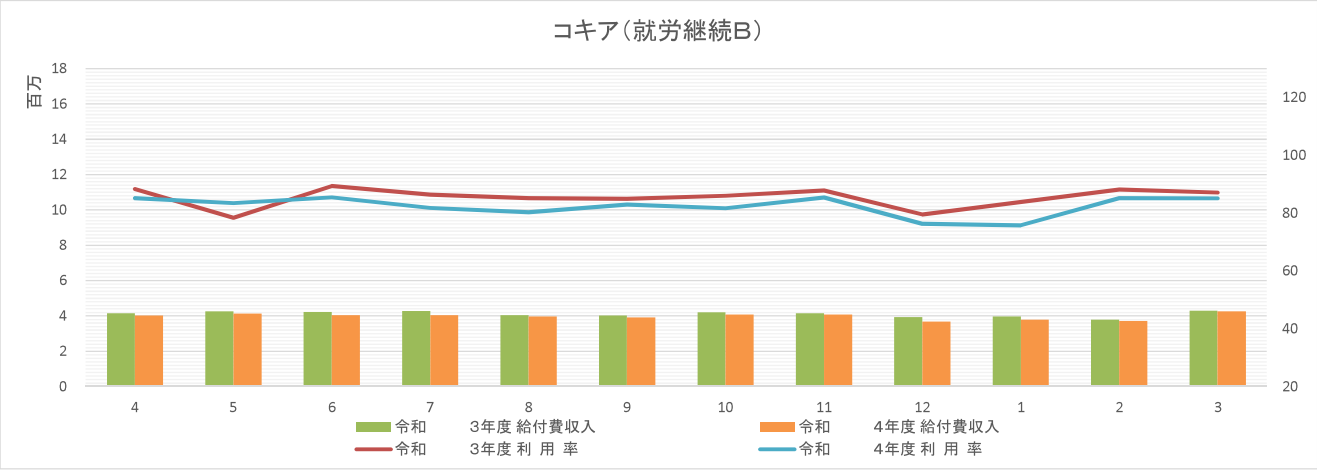
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数		22	20	25	24	23	23	24	23	23	21	20	24	272
	利 用 率		70.7	72.3	80.7	73.2	72.8	79.9	79.5	80.9	78.3	79.0	76.4	78.0	76.8
	給付費収入		5,370,491	4,972,050	6,954,185	6,078,289	5,811,733	6,348,111	6,589,331	6,412,192	6,201,768	5,607,592	5,183,809	6,349,569	71,879,120
令和4年度	平均利用率		91.7	92.2	92.9	92.8	89.8	92.1	92.4	87.0	87.0	89.1	91.6	89.4	90.6
	給付費収入		5,973,939	5,968,366	6,912,250	6,365,678	5,710,793	6,332,729	6,459,360	6,165,373	6,310,652	5,885,318	5,923,590	6,882,140	74,890,188
	内部のみ	事業日数	19	19	22	20	19	21	21	21	22	21	20	23	248
		利 用 率	84.9	84.3	85.8	85.6	81.0	84.1	84.8	80.8	80.8	78.1	83.1	82.9	83.0
	児相清掃	事業日数	22	21	24	23	24	22	23	24	24	21	20	24	272
		利 用 率	98.5	100.0	100.0	100.0	98.6	100.0	100.0	93.1	93.1	100.0	100.0	95.8	98.3



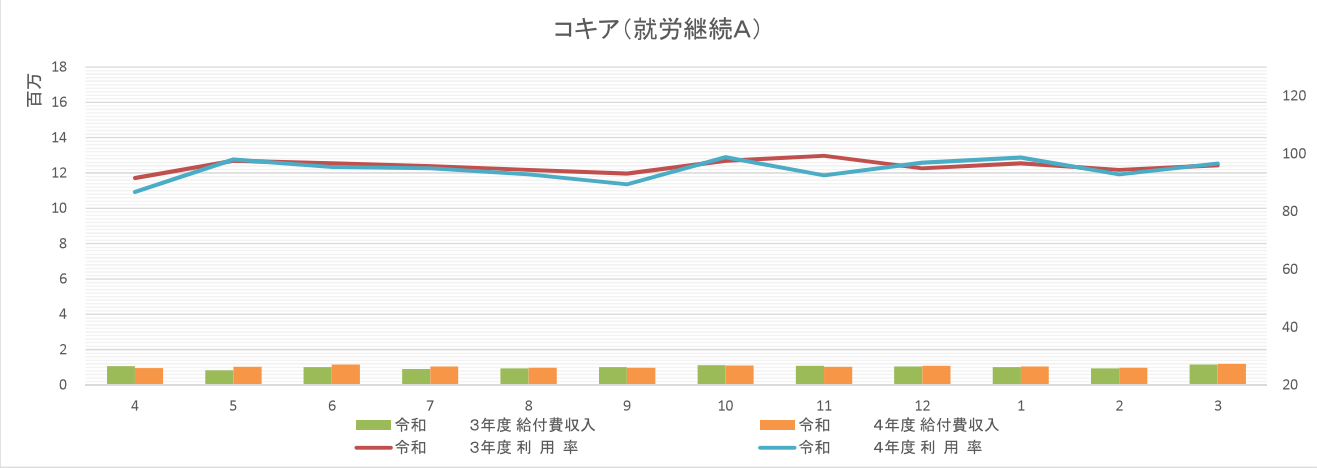
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	26	26	26	25	27	26	26	26	27	25	23	27	310
	利 用 率	74.5	64.3	71.8	65.5	60.0	64.1	67.9	66.3	64.0	67.3	68.7	71.0	67.1
	給付費収入	3,927,077	3,398,825	3,800,922	3,336,763	3,303,813	3,401,821	3,582,675	3,507,377	3,507,485	3,421,559	3,218,842	3,903,826	42,310,985
令和4年度	事業日数	24	26	26	26	27	26	28	27	26	26	25	27	314
	利 用 率	68.9	59.6	66.8	59.3	58.8	62.2	59.4	58.6	57.4	54.2	58.7	61.4	60.4
	給付費収入	3,368,652	3,145,842	3,532,305	3,135,431	3,225,843	3,292,463	3,416,313	3,254,466	3,066,555	2,905,303	3,010,978	3,409,397	38,763,548



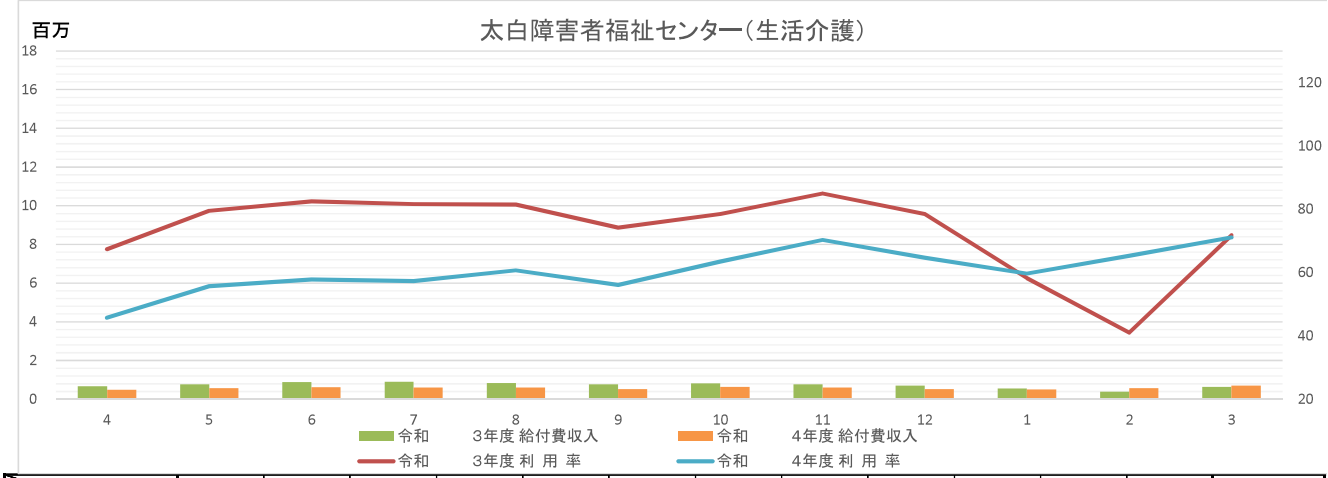
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	24	23	26	25	22	24	24	24	24	23	22	26	287
	利 用 率	75.1	71.1	73.6	65.9	70.3	69.9	58.3	72.1	69.9	67.2	66.8	72.6	69.4
	給付費収入	4,274,084	3,857,467	4,521,003	3,905,321	3,659,789	3,964,595	3,085,184	3,838,860	3,714,858	3,427,881	3,259,156	4,000,659	45,508,857
令和4年度	事業日数	24	25	26	25	24	24	26	25	24	24	24	27	298
	利 用 率	71.9	65.2	70.8	66.1	67.0	69.3	64.7	67.1	64.4	63.1	61.4	61.9	66.1
	給付費収入	3,979,181	3,747,314	4,466,856	3,792,459	3,712,078	3,827,524	3,907,717	3,894,532	3,576,828	3,527,024	3,378,962	3,887,326	45,697,801



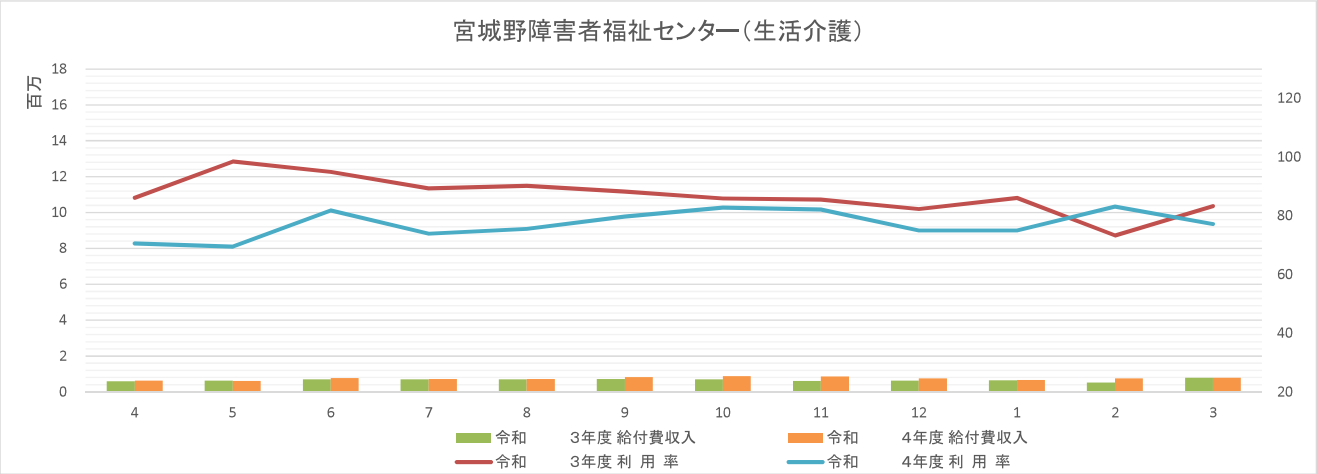
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	22	20	23	268
	利 用 率	88.4	78.4	89.4	86.4	85.2	85	86	87.9	79.6	83.9	88.2	87.1	85.5
	給付費収入	4,151,397	4,270,579	4,232,152	4,278,274	4,040,217	4,024,783	4,205,525	4,159,417	3,936,932	3,967,629	3,791,119	4,305,318	49,363,342
令和4年度	事業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
	利 用 率	85.2	83.5	85.5	81.8	80.3	83.0	81.7	85.4	76.3	75.8	85.2	85.1	82.4
	給付費収入	4,028,956	4,128,812	4,044,280	4,044,396	3,967,634	3,921,523	4,085,642	4,085,596	3,681,753	3,790,486	3,705,060	4,256,517	47,740,655



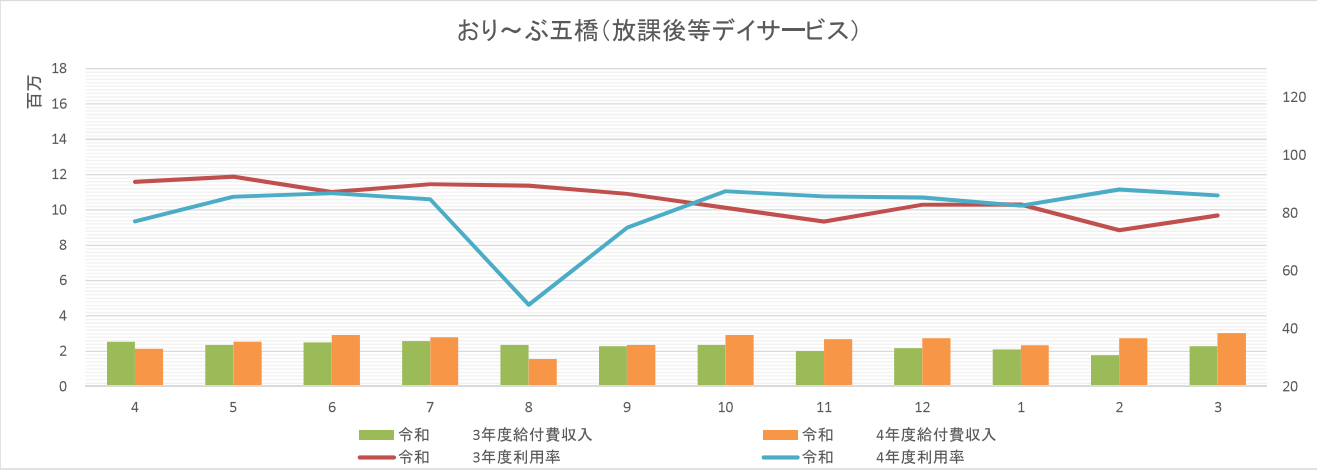
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	21	18	22	20	18	20	21	20	20	19	18	22	239
	利 用 率	91.6	97.6	96.7	95.7	94.4	93.1	97.6	99.3	95	96.7	94.4	96	95.7
	給付費収入	1,071,441	839,764	1,019,276	915,711	933,506	1,019,265	1,121,698	1,087,213	1,038,955	1,013,790	937,884	1,165,471	12,163,974
令和4年度	事業日数	20	19	22	20	19	20	20	20	20	19	19	22	240
	利 用 率	86.8	98.0	95.4	95.0	92.8	89.4	98.8	92.5	96.9	98.7	92.8	96.6	94.5
	給付費収入	958,588	1,033,570	1,158,583	1,048,244	972,358	986,173	1,102,780	1,032,995	1,081,851	1,046,982	984,118	1,186,593	12,592,835



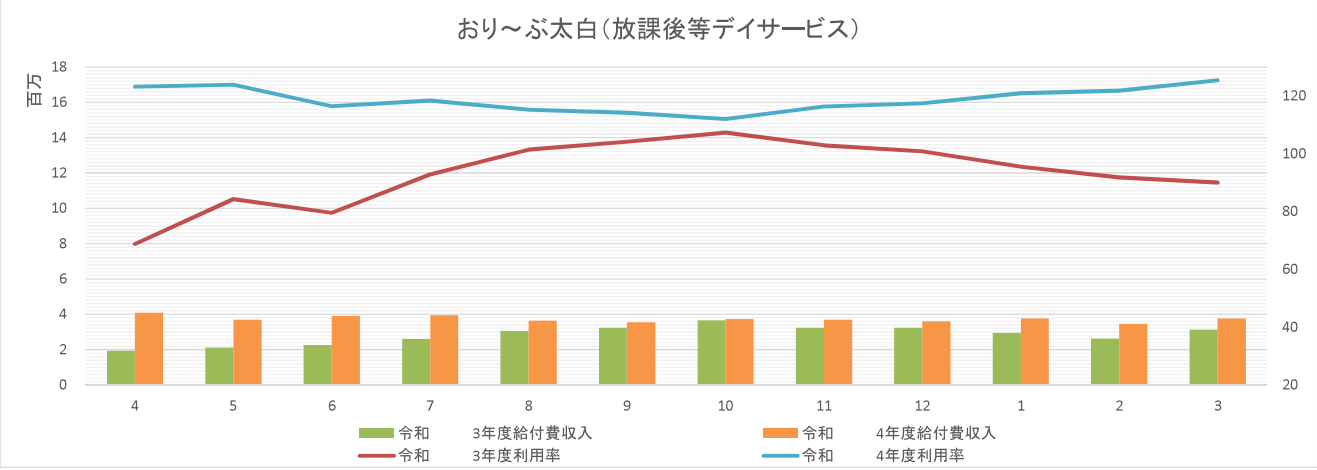
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	21	20	22	22	21	21	22	19	19	16	17	22	242
	利 用 率	67.4	79.5	82.5	81.6	81.5	74.2	78.5	85.0	78.5	58.3	41.0	71.8	73.3
	給付費収入	667,095	761,700	884,803	890,732	845,376	762,446	819,937	758,643	693,829	551,987	394,344	631,852	8,662,744
令和4年度	事業日数	21	20	22	22	21	21	21	20	19	19	19	22	247
	利 用 率	45.7	55.7	57.8	57.3	60.7	56.1	63.5	70.3	64.7	59.7	65.3	71.1	60.7
	給付費収入	491,690	570,439	614,137	596,654	591,947	533,471	630,140	612,213	514,313	510,811	564,709	691,252	6,921,776



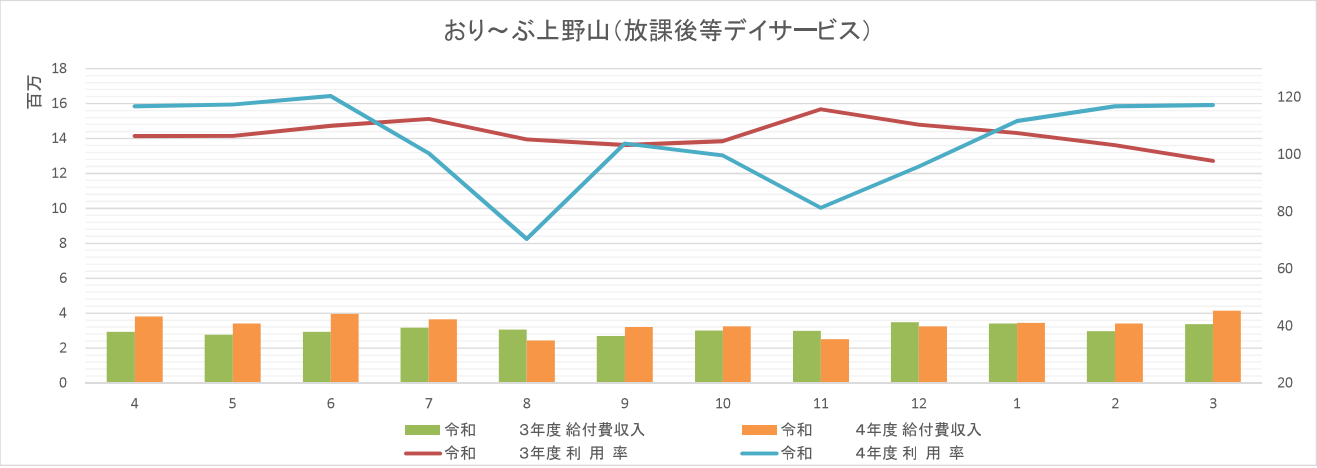
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	21	20	22	22	21	21	22	19	19	19	18	23	247
	利 用 率	86.1	98.5	94.9	89.3	90.2	88.2	85.9	85.5	82.3	86.1	73.3	83.3	87.0
	給付費収入	589,438	627,018	706,730	706,242	700,053	718,967	701,680	611,856	622,412	647,455	517,460	783,293	7,932,604
令和4年度	事業日数	21	20	22	22	21	21	21	20	19	18	19	22	246
	利 用 率	70.6	69.5	81.8	73.9	75.6	79.8	82.9	82.2	75.0	75.0	83.1	77.2	77.2
	給付費収入	632,161	610,571	759,711	719,994	721,654	827,384	889,419	862,020	756,215	658,874	751,228	792,180	8,981,411



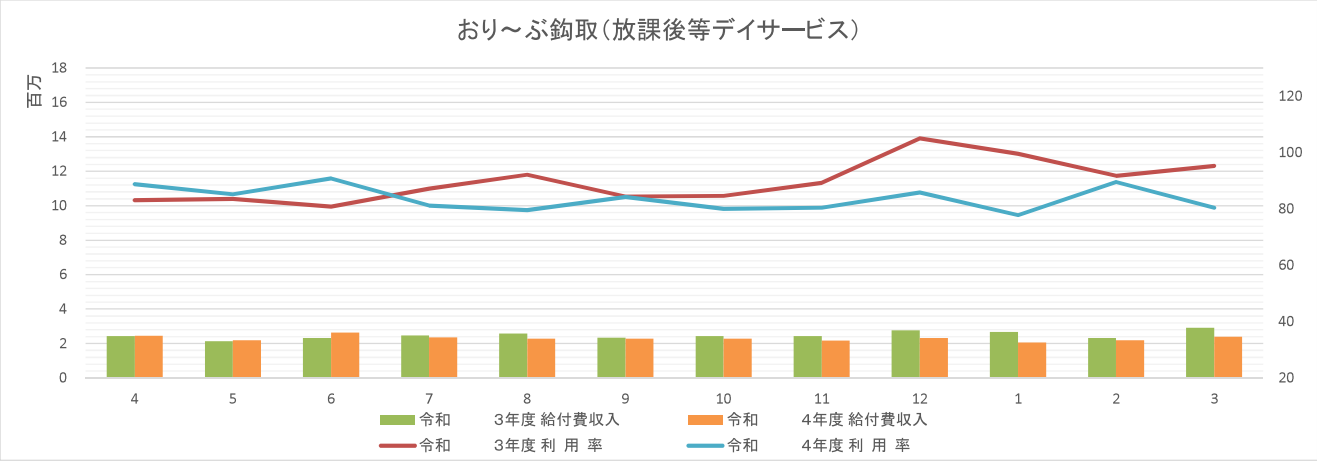
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	25	23	26	25	22	24	26	24	24	23	22	26	290
	利 用 率	90.8	92.6	87.3	90	89.5	86.7	81.9	77.1	82.9	83	74.1	79.2	84.6
	給付費収入	2,542,436	2,367,915	2,504,803	2,580,242	2,350,792	2,279,793	2,346,709	2,017,764	2,182,014	2,107,221	1,772,619	2,297,659	27,349,967
令和4年度	事業日数	25	23	26	25	15	23	25	24	24	23	22	26	281
	利 用 率	77.2	85.7	86.9	84.8	48.3	75.0	87.6	85.8	85.4	82.6	88.2	86.2	81.1
	給付費収入	2,152,390	2,540,540	2,918,840	2,805,185	1,562,010	2,365,432	2,926,310	2,695,046	2,736,844	2,343,761	2,746,100	3,027,533	30,819,991



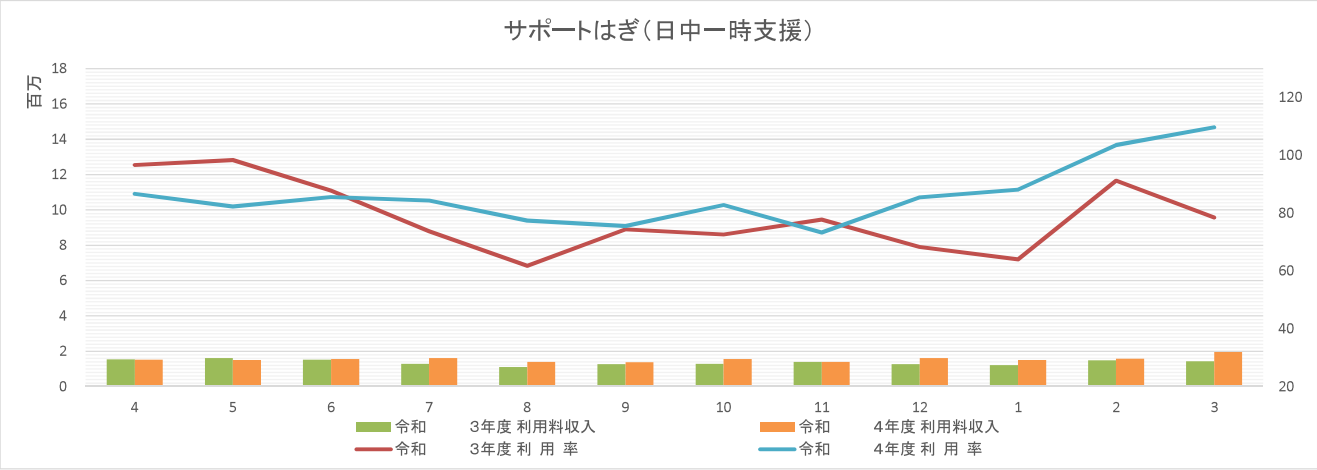
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	25	23	26	25	22	24	26	24	24	23	22	26	290
	利 用 率	68.8	84.3	79.6	92.8	101.4	104.2	107.3	102.9	100.8	95.5	91.8	90	93.3
	給付費収入	1,932,089	2,122,795	2,255,854	2,606,334	3,073,166	3,243,450	3,664,563	3,235,301	3,236,431	2,949,058	2,619,225	3,135,521	34,073,787
令和4年度	事業日数	25	23	26	25	23	24	25	24	23	23	22	26	289
	利 用 率	123.2	123.9	116.5	118.4	115.2	114.2	112.0	116.3	117.4	120.9	121.8	125.4	118.8
	給付費収入	4,092,424	3,695,979	3,910,287	3,945,744	3,641,832	3,550,273	3,730,064	3,692,085	3,598,960	3,760,252	3,450,608	3,774,600	44,843,108



		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	25	23	26	25	25	24	26	24	24	24	22	26	294
	利 用 率	106.4	106.5	110.0	112.4	105.2	103.3	104.6	115.8	110.4	107.5	103.2	97.7	106.9
	給付費収入	2,934,676	2,776,728	2,935,997	3,162,218	3,063,923	2,697,607	3,004,995	2,994,414	3,468,439	3,397,970	2,973,089	3,368,882	36,778,938
令和4年度	事業日数	25	23	26	25	25	24	25	24	24	23	22	26	292
	利 用 率	116.8	117.4	120.4	100.4	70.4	103.8	99.6	81.3	95.8	111.7	116.8	117.3	104.3
	給付費収入	3,810,495	3,407,131	3,951,827	3,648,558	2,434,736	3,219,788	3,235,031	2,504,886	3,244,265	3,445,058	3,401,326	4,132,363	40,435,464

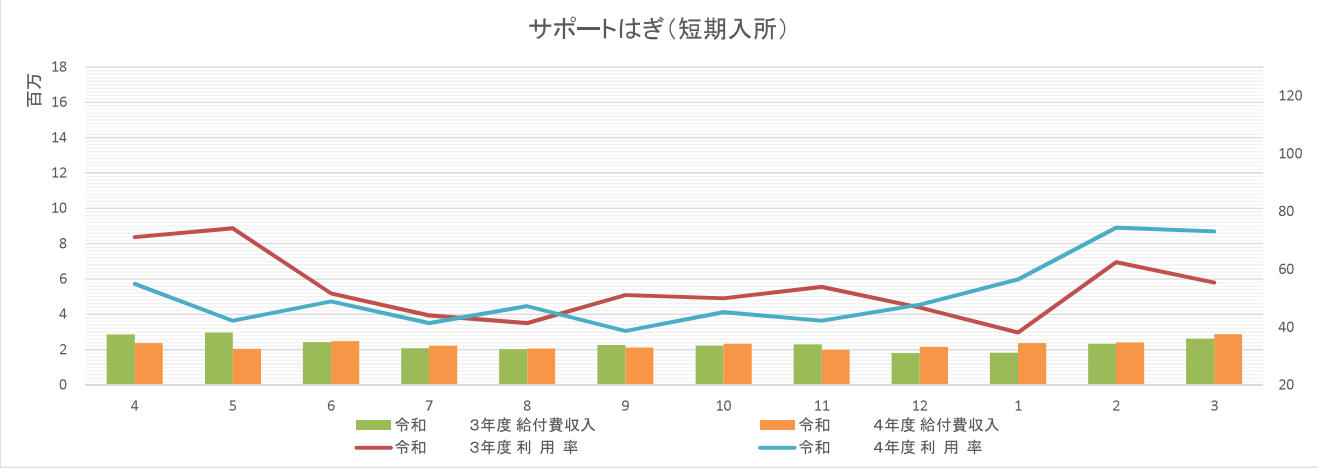


		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	26	23	26	25	24	25	26	25	24	24	23	27	298
	利 用 率	83.1	83.5	80.8	87.2	92.1	84.4	84.6	89.2	105.0	99.6	91.7	95.2	89.7
	給付費収入	2,436,498	2,122,333	2,319,521	2,480,442	2,574,782	2,334,751	2,437,310	2,434,997	2,775,764	2,670,748	2,325,813	2,907,315	29,820,274
令和4年度	事業日数	24	23	26	25	24	24	25	24	24	23	22	26	290
	利 用 率	88.8	85.2	90.8	81.2	79.6	84.2	80.0	80.4	85.8	77.8	89.5	80.4	83.6
	給付費収入	2,455,564	2,188,584	2,637,439	2,364,385	2,293,540	2,287,178	2,275,291	2,167,217	2,312,118	2,048,163	2,189,065	2,400,159	27,618,703

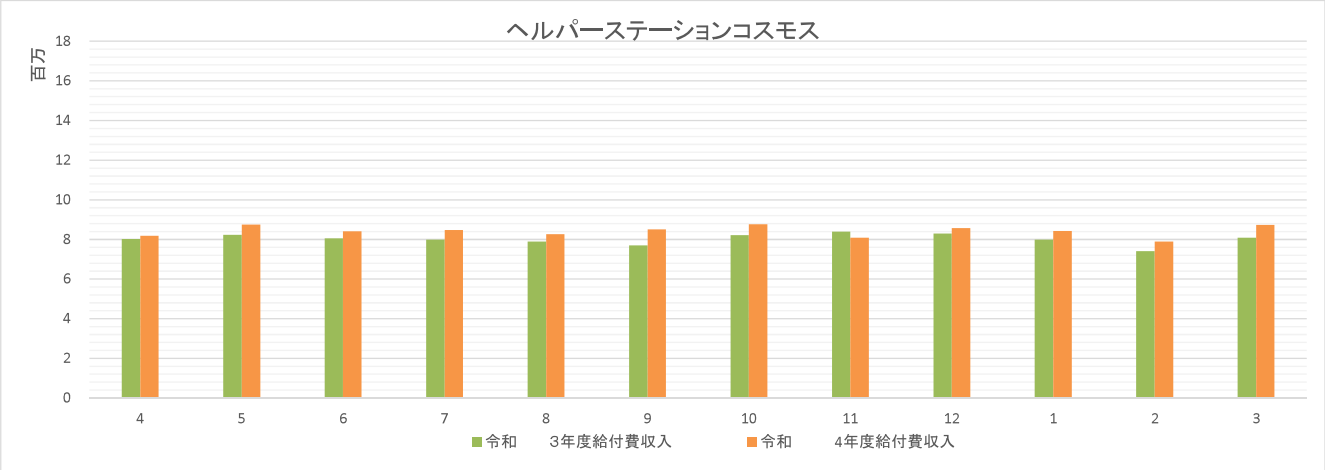


		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数（3床/日）	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190
	利 用 率	96.7	98.4	87.8	73.7	61.8	74.4	72.6	77.8	68.3	64.0	91.2	78.5	78.8
	利用料収入	1,547,188	1,618,032	1,533,014	1,297,134	1,098,267	1,271,442	1,292,088	1,409,334	1,270,624	1,213,593	1,491,967	1,444,381	16,487,064
令和4年度	事業日数（3床/日）	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190
	利 用 率	86.7	82.3	85.6	84.4	77.4	75.6	82.8	73.3	85.5	88.2	103.6	109.7	86.3
	利用料収入	1,524,851	1,521,431	1,566,034	1,611,442	1,394,265	1,385,889	1,564,523	1,403,525	1,623,442	1,498,844	1,586,308	1,962,672	18,643,226

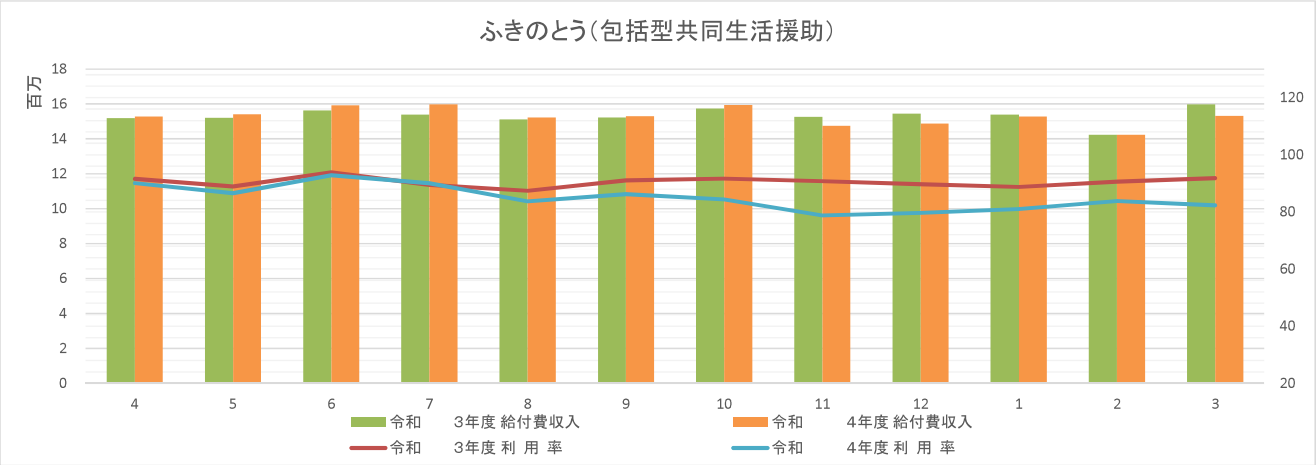
※上記データについて，事業日数及び利用率は宿泊介護のみの実績となる。日中介護（送迎含む）分は除く。
※事業日数：各月日数×3床（宿泊受入可能数）で算出



		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数（3床/日）	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190
	利 用 率	71.1	74.2	51.7	44.1	41.4	51.1	50.0	53.9	46.8	38.2	62.5	55.4	53.4
	給付費収入	2,864,460	2,974,762	2,422,962	2,082,226	2,029,881	2,257,672	2,236,266	2,308,443	1,811,853	1,829,015	2,322,872	2,615,168	27,755,580
令和4年度	事業日数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190
	利 用 率	55.0	42.2	48.9	41.4	47.3	38.7	45.2	42.2	47.8	56.5	74.4	73.1	51.1
	給付費収入	2,371,980	2,043,140	2,477,407	2,227,496	2,065,327	2,118,651	2,328,195	1,990,310	2,143,157	2,375,184	2,399,367	2,875,735	27,415,949



		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	給付費収入	8,027,764	8,238,272	8,055,172	7,994,744	7,886,697	7,693,072	8,213,498	8,384,860	8,299,828	7,992,629	7,406,686	8,099,054	96,292,276
令和4年度	事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	給付費収入	8,193,341	8,752,262	8,407,305	8,468,232	8,265,213	8,503,405	8,765,263	8,087,623	8,566,142	8,427,527	7,902,533	8,727,932	101,066,778



		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	利 用 率	91.6	88.9	93.9	89.5	87.4	91.0	91.7	90.7	89.7	88.7	90.6	91.8	1,086
	給付費収入	15,196,655	15,208,297	15,635,770	15,392,336	15,115,484	15,237,826	15,730,006	15,254,542	15,442,644	15,389,195	14,235,042	15,968,646	183,806,443
令和4年度	事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	利 用 率	90.1	86.6	92.8	90.0	83.7	86.2	84.4	78.8	79.7	81.0	83.8	82.3	1,019
	給付費収入	15,285,841	15,406,314	15,916,723	15,977,137	15,221,630	15,291,881	15,932,050	14,755,043	14,872,012	15,285,604	14,235,725	15,323,519	183,503,479

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には，社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会
理事長　千葉　厚子

監査報告書

令和５年５月23日

社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会
　理事長　千葉　厚子　殿

監事　熊谷真人

監事　庄子清美

私たち監事は，令和４年４月１日から令和５年３月31日までの令和４年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について，次のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

各監事は，理事及び職員等と意思疎通を図り，情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに，理事会その他重要な会議に出席し，理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け，必要に応じて説明を求め，重要な決裁書類等を閲覧し，業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により，当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに，会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い，当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

２　監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は，法令及び定款に従い，法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については，法人の財産，収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以　上